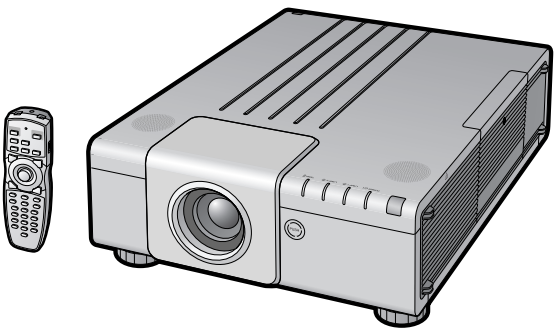
SHARP

データプロジェクター

形名 エックスジー ピー ダブル
XG-P560W
（標準ズームレンズ付き）

エックスジー ピー ダブル エヌ
XG-P560W-N
（レンズ別売）

取扱説明書



このたびはデータプロジェクターをお買いあげいただき、まことにありがとうございました。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
ご使用の前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。·····**9**ページ

- 保証書は、必ず購入店名·購入日などの記入を確かめてお受け取りください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- なお、この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

Conference Series

もくじ

まず

ご使用になる前に「安全に正しくお使いいただくために」（9〜13ページ）を必ずお読みください。

はじめに

ページ

もくじ 2
PDF取扱説明書の見かた（Windows®, Macintosh®） 5
この取扱説明書の見かた 6
付属品について 7
安全に正しくお使いいただくために 9
使用上のご注意 14

ページ

各部のなまえとはたらき 17
リモコンの使いかた 20
・リモコンの使用範囲 20
・乾電池の入れかた 20
・ワイヤードリモコンの使いかた 21
・リモコンモードの切り換え 21
・リモコンをワイヤレスマウスとして使用する 22

基本的な使いかた

基本的な使いかた 23

設置する

本機を設置する 25
・本機の設置のしかた 25
・画面サイズと投映距離 26
・反転映像を投映するとき 27

接続する

外部機器と接続する 28
プロジェクターをコンピュータで制御する 31

さあ

使ってみる

ページ

電源の入れかた/切りかた 32
投映のしかた 33
・レンズシフト機能を使って投映位置を調整する 33
・アジャスターを使って投映角度を調整する 34
・フォーカス（ピント）を調整する 35
・投映画像の大きさを調整する 35
・画面の台形歪みを補正する（キーストーン補正） 36

ページ

・入力を切り換える 40
・本体の音量を調整する 40
・出力した音声を一時的に消す 41
・画像の一部を拡大表示する 41
・画像を静止状態にする 42
・投映する画像に合わせた映像モードを選ぶ 42
・入力信号に合わせた画面サイズを選ぶ 43
・投映画像を遮光する（シャッター機能） 45
・休憩時間を表示する 45

便利な機能

ページ

メニュー内容一覧 46
メニュー操作のしかた 51
・メニュー画面で調整する 51
投映した映像を調整・設定する（映像調整メニュー） 53
・映像モードを選ぶ 53
・見やすい映像に調整する 53
・色味を変える（色温度設定） 54
・プログレッシブモードを選択する 54
・ドットのちらつきやノイズを軽減する（DNR） 54
・入力信号タイプを設定する 55
・ダイナミックレンジを設定する 55
・色空間を設定する 55
カラーマネージメント機能（C.M.S.メニュー） 56
・カラー設定モードを選ぶ 56
・ユーザー設定で6色それぞれの特性を個別に調整する対象の色を選ぶ 56
・対象色の明度を設定する 56
・対象色の彩度を設定する 56
・対象色の色相を設定する 56
・色の設定をリセットする 56
・色の設定値を確認する 56
コンピュータの画面を調整・設定する（同期調整メニュー） 57
・縦縞模様やチラツキを軽減する（同期調整） 57
・画面調整の内容を登録する 57
・登録した調整内容を呼び出す 57
・入力信号に合わせた解像度を選ぶ 57
・入力信号の情報を確認する（入力信号確認） 58
・コンピュータの画面を自動調整する（自動同期調整機能） 58
・自動同期調整時の画面表示機能 58
出力した音声を調整・設定する（音声調整メニュー） 59
・音声を調整する 59
・音声出力を設定する（音声出力設定） 59
・内蔵スピーカーの入／切を設定する（スピーカー設定） 59
本機を楽しむための設定をする（オプション1メニュー） 60
・2つの画像を表示する（P in P） 60
・入力信号の種類によって、画像の表示を切り換える（画面サイズ設定） 60
・映像を上下にシフトする（デジタルシフト） 61
・画面に表示されている情報を消す（画面表示） 61
・VIDEO、S-VIDEO端子に接続した機器の映像信号方式を設定する（映像信号方式設定） 61
・投映画像を取り込む（画像取込み） 61
・無信号時に投映する画面を設定する（無信号時画面設定） 62
・オープニング時に投映する画面を設定する（オープニング画面設定） 62
・消費電力を低減する（エコモード設定） 62
・入力信号を自動的に検出する（自動入力サーチ） 62
・無信号状態が続くときに電源を自動的に待機状態にする（無信号電源オフ機能） 62
・プロジェクターを不正に使用できないようにする（システムロック設定） 62
キーコードを設定する 63
キーコードを変更する 64
システムロックを設定したとき 64
設置時に設定しておくと便利な機能（オプション2メニュー） 65
・「オプション2」メニューを有効にするためにパスワードを設定する（パスワード設定） 65
・ランプモードを設定する（ランプモード設定） 66
・レンズタイプを選択する（レンズタイプ設定） 66
・投映環境に合わせた投映方式を選択する（投映方式設定） 66
・複数のプロジェクターを一括制御する（スタック設定） 66
・2台のプロジェクターでスタック投映するための設定を簡単に行う（簡単スタック設定） 67
・プロジェクターの操作ボタンをロックする（キーロック） 67
・使わない入力モードをスキップする（入力設定） 67
・ファンモードを設定する 67
・自動復帰モード 67
・RS-232Cの通信速度を設定する（RS-232C設定） 68

つづく

もくじ(つづき)

便利な機能

ページ

・電源が待機状態時の消費電力をおさえる（モニター出力設定） 68
・電源が待機状態時の消費電力をおさえる（LAN/RS232C設定） 68
・DHCPクライアント設定 68
・TCP/IP設定 69
・プロジェクター修理時に使う設定（サービスモード） 69
・設定値を工場出荷状態に戻す 69

その他の機能

（言語選択メニュー／一覧メニュー）...69
・画面に表示する言語を選択する（言語選択）....69
・調整内容やランプ残時間を一覧で確認する（一覧） 69

こんなときは

付録

ページ

お手入れのしかた 70
ダストフィルターのお手入れと交換について 71
・ダストフィルターのお手入れ 71
・ダストフィルターを交換する 72
お知らせ表示について 73
ランプを交換する 75
・ランプについて 75
・ランプ使用上のご注意 75
・ランプ交換時のご注意 75
・ランプ交換のしかた 76
・ランプ使用時間をリセットする..... 78
入力信号（推奨信号）一覧表 79
故障かな?と思ったら 81
アフターサービスについて 83
お客様ご相談窓口のご案内 84
別売レンズの取り付けかた 85
寸法図 87
仕様 90
索引 91

XG-P560W-N(レンズ別売)/XG-P560W(標準ズームレンズ付き)をご購入のお客様へ

別売レンズは**8**ページに紹介しております。用途に合わせてご購入いただきますようお願いいたします。

PDF取扱説明書の見かた(Windows®, Macintosh®)

本機に付属のCD-ROMの中には、PDF取扱説明書が収録されています。このPDF取扱説明書を見るためには、Adobe社のAdobe® Reader®が必要です。お持ちのコンピュータ（Windows®やMacintosh®コンピュータ）にAdobe® Reader®がインストールされていない場合は、インターネット（http://www.adobe.co.jp）からAdobe® Reader®をダウンロードしてください。

PDF取扱説明書にアクセスする

Windowsコンピュータの場合

① CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。

② “マイコンピュータ” アイコンをダブルクリックする。

③ “CD-ROM” ドライブをダブルクリックする。

④ プロジェクターの取扱説明書を見たいときは

1) “MANUALS” フォルダをダブルクリックする。

2) “JAPANESE” フォルダをダブルクリックする。

3) PDFファイルをダブルクリックする。

セットアップ説明書を見たいときは

1) “SETUP” フォルダをダブルクリックする。

2) “JAPANESE” フォルダをダブルクリックする。

3) PDFファイルをダブルクリックする。

Macintoshコンピュータの場合

① CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。

② “CD-ROM” ドライブをダブルクリックする。

③ プロジェクターの取扱説明書を見たいときは

1) “MANUALS” フォルダをダブルクリックする。

2) “JAPANESE” フォルダをダブルクリックする。

3) PDFファイルをダブルクリックする。

セットアップ説明書を見たいときは

1) “SETUP” フォルダをダブルクリックする。

2) “JAPANESE” フォルダをダブルクリックする。

3) PDFファイルをダブルクリックする。

メモ

- マウスを使ってダブルクリックしてもPDFファイルを開くことができない場合は、Adobe Readerをまず起動させてから、“ファイル” “開く” メニューを使ってPDFファイルを開いてください。

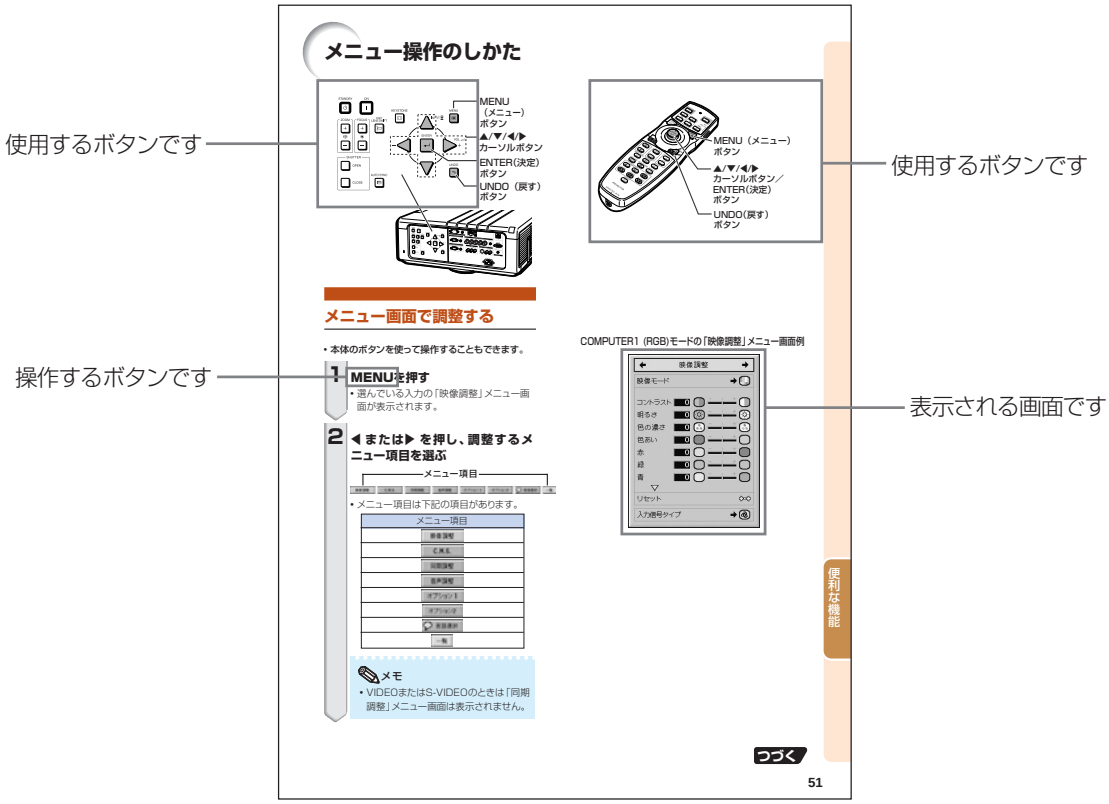
セットアップ説明書（PDFファイル）のもくじ

セットアップ説明書はCD-ROMに入っています。

スクリーンを設置する 2
画面サイズと投映距離 3
本体のコネクターのピン配置 11
ワイヤードリモコン入力端子の仕様 13
RS-232C仕様とコマンド 14
本機のネットワーク設定をする 20
本機をLAN経由で制御する 26
RS-232CまたはTelnet経由で
本機を設定する 31
RS-232CまたはTelnet経由で
本機を制御する 34
スタック投映 41
ビデオウォール投映 44
LAN経由で本機のランプタイマーを
リセットする 53
困ったときは 55
寸法図 58

この取扱説明書の見かた

※画面表示やイラストは、説明のために簡略化してありますので、実際とは多少異なります。



お知らせ
- 特に気をつけていただきたい内容について説明しています。

メモ
- 操作や設定時の制限事項や注意する内容について説明しています。

こんなときは

お手入れをするときは
70ページ

故障かな？と思ったら
81、82ページ

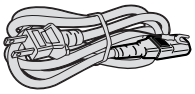
索引
91ページ

付属品について

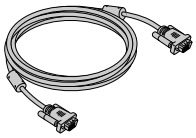
付属品

リモコン

単3形乾電池（2本）
※電池を交換する際は
アルカリ電池をご使
用ください。



電源コード（1.8m）
（この電源コードは本機
専用品です）



RGBケーブル（3m）

レンズ用キャップ（XG-P560W装着出荷）
防塵キャップ（XG-P560W-N装着出荷）

- 取扱説明書（本書）
- CD-ROM
- 保証書（箱に貼り付け）

お知らせ

XG-P560W-N（レンズ別売）をご購入のお客様へ

- レンズ（別売品）装着時は、レンズに付属のレンズ用キャップを使用してください。
- 防塵キャップは、レンズ未装着時のみプロジェクター本体に装着できます。（レンズ装着時は防塵キャップを装着しないでください。）

別売品のご案内

■ランプユニット	AN-P610LP
■天吊り用取付アダプター	AN-P610T
■天井用取付ユニット	AN-TK201(高天井用) AN-TK202(低天井用)
■リモートレシーバ	AN-MR2
■3RCA（コンポーネント）／ミニD-sub15ピン変換ケーブル（3m） ・コンピュータ側の接続端子の変更等により、そのままでは接続できない場合がありますので、コンピュータの仕様をご確認ください。変換コネクター（市販品）が必要な場合があります。	AN-C3CP2

- 本製品のICチップの中には、米国テキサスインスツルメンツ社の営業秘密が含まれているICチップがありますので、その内容をコピー、改変、適応、翻訳、配布、リバースエンジニアリング、リバースアセンブリングもしくはディスアセンブリングをすることは禁じられております。
- DLP®およびDLPロゴは、テキサス・インスツルメンツ社の登録商標です。
- DLP®チップはテキサス・インスツルメンツ社の商標です。
- Microsoft®、Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国々における登録商標です。
- PC/ATは米国IBM社の登録商標です。
- Macintosh®はアップルコンピュータ・インクの米国および、その他の国における登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴおよび高品位マルチメディアインターフェイスは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- PJLink商標は、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。
- Adobe®、Adobe® Reader®はAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標または商標です。
- その他の製品名等の固有名詞は各社の商標または登録商標です。

つづく

付属品について(つづき)

別売レンズ のご案内

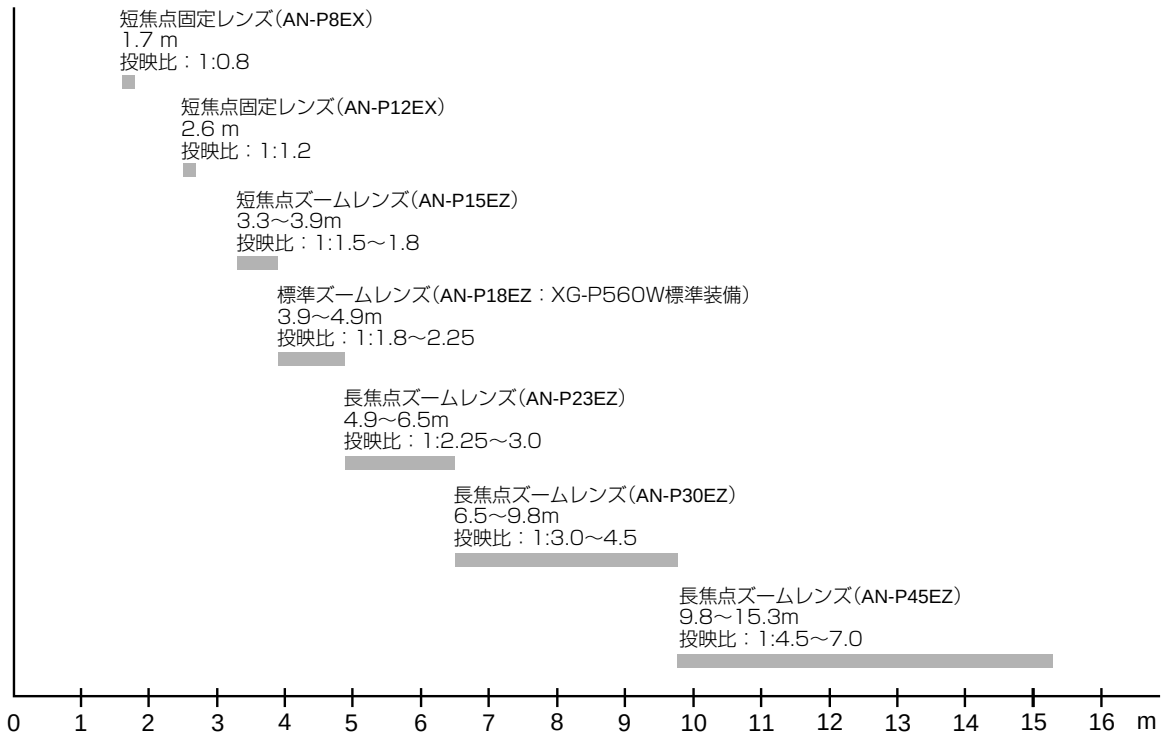
XG-P560W-N(レンズ別売)、XG-P560Wの使用用途に合わせた7種類の別売レンズがあります。別売レンズのご購入は、販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。(レンズ使用時には、レンズに付属の取扱説明書をご覧ください。)(XG-P560Wに標準装備しているレンズは、AN-P18EZ標準ズームレンズです。)

レンズ			100型画面投映時の距離
短焦点固定レンズ	(0.8倍)	AN-P8EX	1.7m
短焦点固定レンズ	(1.2倍)	AN-P12EX	2.6m
短焦点ズームレンズ	(1.5～1.8倍)	AN-P15EZ	3.3～3.9m
標準ズームレンズ	(1.8～2.25倍)	AN-P18EZ	3.9～4.9m(XG-P560W標準装備)
長焦点ズームレンズ	(2.25～3.0倍)	AN-P23EZ	4.9～6.5m
長焦点ズームレンズ	(3.0～4.5倍)	AN-P30EZ	6.5～9.8m
長焦点ズームレンズ	(4.5～7.0倍)	AN-P45EZ	9.8～15.3m

• レンズについて詳しくは、同梱のCD-ROMに収録の「セットアップ説明書」をご覧ください。

投映距離(16:10標準モードで100型画面のとき)

スクリーン



安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。
その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ 警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠ 注意 人がケガをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

記号は、気をつける必要があることを表しています。

記号は、してはいけないことを表しています。

記号は、しなければならないことを表しています。

⚠ 警告

煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のときは電源プラグを抜く

● 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

● 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて修理を販売店にご依頼ください。

キャビネットは絶対にあけない

● この機器のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分がありますので感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

高圧注意

● サービスマン以外のかたはキャビネットをあけないでください。内部には高電圧部分が多くあり、さわると危険です。

● この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

つづく

安全に正しくお使いいただくために（つづき）

⚠警告

表示された電源電圧で使用する

● 表示された電源電圧（交流100～240ボルト）以外で使用すると、火災･感電の原因となります。

プロジェクターを落としたときは

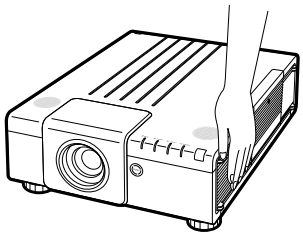
● この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

レンズをのぞかない

● 投映中にレンズをのぞかないでください。
眼を傷める原因となります。
特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

高温部には触れない

● 投映中は、排気孔、ランプユニットカバーやその周辺は高温になります。表面が十分冷えるまで触れないでください。



不安定な場所に置かない

● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてケガの原因となります。

天井へ取り付けるときは

● この機器を天井へ設置する場合は、必ず販売店へご依頼ください。
取り付けが不確実ですと、落下などにより感電･ケガの原因となります。

内部にものや水などを入れない

● この機器の開口部(通風孔など)から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災･感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● 異物や水がこの機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災･感電の原因となります。

上には水の入ったものや小さな金属物を絶対に置かない

● こぼれたり、中に入った場合、火災･感電の原因となります。

● 水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災･感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

● 感電の原因となります。

⚠警告

電源プラグの刃および刃の付近にホコリや金属物が付着した状態では使用しない

ほこりを取る

● ホコリや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室での使用禁止

● 火災・感電の原因となります。

電源コードを破損するようなことはしない

禁止

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに、重いものをのせてしまうことがあります。

禁止

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

交換を依頼する

● 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠注意

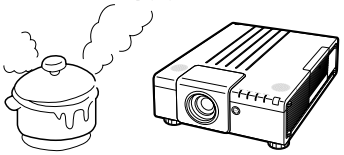
油煙、湯気、湿気、ホコリなどが多い場所に置かない

禁止

● 湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

禁止

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



通風孔をふさがない

禁止

● この機器の通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
冷却ファン部〔排気側〕は、壁などから30cm以上はなして設置してください。

禁止

● 次のような使い方はしないでください。
この機器を横倒しや、レンズを下にむけて逆さまにする。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。じゅうたんや布団の上に置く。テーブルクロスなどを掛ける。

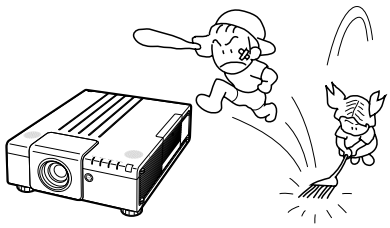
重いものを置かない

禁止

● この機器の上に重いものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。

禁止

● この機器に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
倒れたり、こわれたりしてケガの原因となることがあります。



置台に据えつけるときは

転倒防止

● キャスター付き置台にこの機器を設置する場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

つづく

安全に正しくお使いいただくために（つづき）

⚠注意

設置場所を変える場合は必ず接続線をはずす

●設置場所を変える場合は、機器本体の電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線等外部の接続線を外したことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災･感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない

●コードの被覆が溶けて、火災･感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災･感電の原因となることがあります。

旅行などで長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く

●安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

お手入れのときは電源プラグを抜く

●安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

●差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

●電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

3年に一度は機器内部の清掃を販売店に依頼する

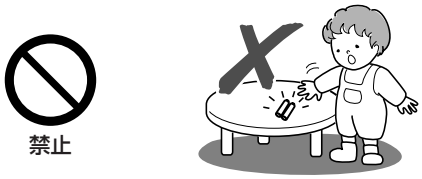
●内部にホコリがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店などにご相談ください。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

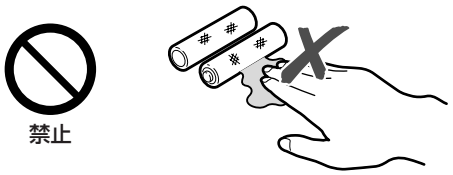
⚠注意

電池は幼児の手の届く所に置かない



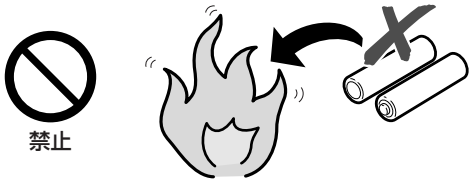
●電池は飲み込むと、窒息の原因や胃などに止まると大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

電池の液が漏れたときは素手でさわらない



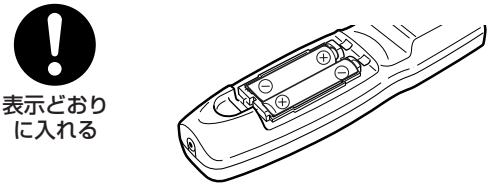
●電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
●皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない 乾電池は充電しない



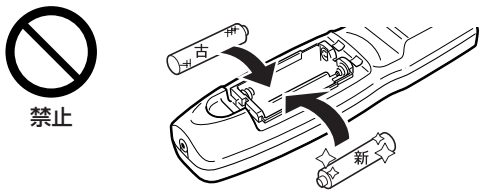
●電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる



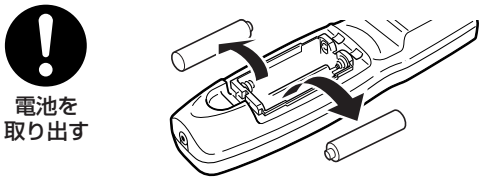
●間違えると電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の電池を使わない 新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない



●電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す



●電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ故障、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

使用上のご注意

設置するときは次の点にご注意ください

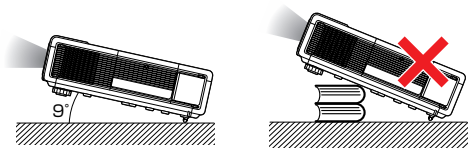
湿気、ホコリの少ないところへ

■湿気やホコリの多い場所、油煙やタバコの煙の当たるような場所に置くと、レンズ・ミラー等の光学部品に汚れが付着し、映像がぼやけたり、暗く見にくくなります。また、故障の原因となる場合があります。

直射日光や、照明の光はさけてください

■ スクリーンに直接光があたると画面が白っぽくなり見にくくなります。明るい光が入る部屋ではカーテンを引くようにしてください。(できるだけ、暗い環境でお使いいただくことをおすすめします。)

本機を設置するときは



■ プロジェクターは9°以上傾けないようにしてください。設置範囲は9°までです。

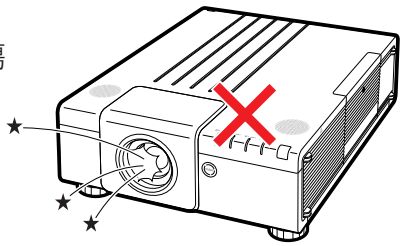
■ プロジェクターをお買い上げ後、最初に電源を入れたとき、排気孔からわずかに匂いがする場合がありますが、故障や異常ではありません。ご使用にともないなくなります。

山岳など高地（標高約1500m）以上でご使用になるとき

■ 空気の希薄な高地などでご使用になるときは、ファンモードを「高」に設定してください。「標準」のまま使用すると、部品の寿命などに影響を及ぼす恐れがあります。

衝撃を与えないでください

■ レンズには、特にご注意いただき表面を打ったり傷をつけたりしないようご注意ください。



高温、低温の場所はさけてください

■ 使用温度範囲　5℃～40℃

■ 保管温度範囲　－20℃～60℃

排気孔や吸気孔をふさがないように

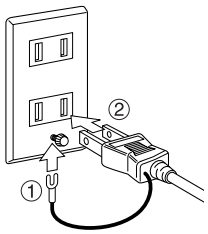
■ 排気孔側に壁やモノがある場合は、30cm以上の隙間をあけて設置してください。
■ 本体の排気孔付近で空気の滞留が起こらないように設置してください。また、排気孔から出る熱が吸気孔付近に回り込むことを避けるために、吸気孔と周囲の壁やモノとの間には30cm以上の隙間を確保するようにしてください。
■ 冷却ファンがふさがれると、内部温度上昇のため保護回路が働き自動的に待機状態になる場合があります。このようなときはプロジェクターの電源コードをコンセントから抜き、10分以上そのままにしてください。その後排気孔や吸気孔をふさがない場所に設置してもう一度電源コードをつなぎ電源を入れます。

取り扱い時のご注意

■ 取り扱うときは、衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となります。レンズには特にご注意ください。また、長時間使用しない、または収納する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線をはずしたことを確認の上行ってください。
■ 取り扱うときは、レンズやレンズカバー部を持たないでください。
■ 使用しないときや、収納するときは、レンズ用キャップまたは防塵キャップを取り付けてください。(**17**ページ)
■ 直射日光の当たる場所や、熱器具などの近くに放置しないでください。キャビネットの変形・変色の原因になります。

電源コードの接続について

■ 電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。
■ アースコードを取り外すときは、必ずプラグをコンセントから抜いた後、行ってください。



接続機器について

■ プロジェクターにコンピュータやAV機器を接続するときは、プロジェクターおよび接続する各機器の電源を必ず切ってから接続してください。
■ 接続のしかたは、プロジェクターおよび接続する各機器の取扱説明書をご覧ください。

使用時のご注意

目をときどき休めてください

■ 連続して長い時間画面を見ていると目が疲れますので、ときどき目を休めてください。

つづく

使用上のご注意（つづき）

ランプ交換に関しての注意

■「ランプについて」（**75**ページ）もご覧ください。

■ 廃棄の方法について

このプロジェクターに使用している高輝度放電ランプ（HIDランプ）は、微量な水銀を含有しています。これらの含有物は、環境考慮の観点から法的に規制されている場合があります。廃棄やリサイクルについては、関連法規およびお住まいの地域の条例などに従って処理してください。

ランプユニットに関しての注意

■ ランプが破裂するとガラス破片でけがをするおそれがあります。ランプが破裂した場合には、お近くの販売店にご連絡ください。

海外でご使用になるときは

■ お使いになる国や地域によって、電源電圧やプラグの形状が異なります。海外でご使用になるときは、その国に合った電源コード（別売品）をご使用ください。

別売レンズを取り付けるときは

■ 別売レンズを取り付けるときは、「別売レンズの取り付けかた」（**85**、**86**ページ）、またはレンズ設置手順書（別売レンズ付属）をよくお読みになり、取り付けてください。

■ 持ち運びの際は、別売レンズを取り外してください。別売レンズを取り付けたまま持ち運ぶと、振動などにより故障の原因となる場合があります。

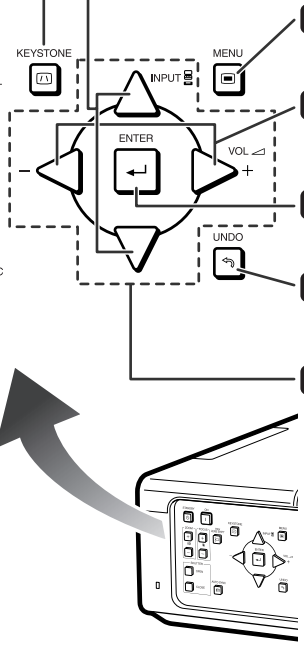
・この製品は、クラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

各部のなまえとはたらき

■の中の数字は参照ページを示します。

本体

操作部（後面）



H&V LENS SHIFT(縦横レンズシフト)ボタン ■34
レンズを上下左右にシフトします。

ON(電源入)ボタン ■32
電源を入れます。

STANDBY(スタンバイ)ボタン ■32
電源を待機状態にします。

ZOOM(ズーム)ボタン ■35
投映画像の拡大／縮小（ズーム）をするときに押します。

FOCUS(フォーカス)ボタン ■35
投映画像のピント（フォーカス）合わせをするときに押します。

SHUTTER(シャッター)ボタン ■45
・OPEN: シャッターを開きます。
・CLOSE:シャッターを閉じ、投映映像を遮光します。

AUTO SYNC(自動同期調整)ボタン ■58
コンピュータ接続時の同期を自動で調整します。

KEYSTONE(キーストーン補正)ボタン ■36
投映角度により生じる台形歪みを補正する画面を表示します。

INPUT(入力切換)ボタン ■40
入力モードを切り換えます。

MENU(メニュー)ボタン ■51
各種設定・調整用の画面を表示します。

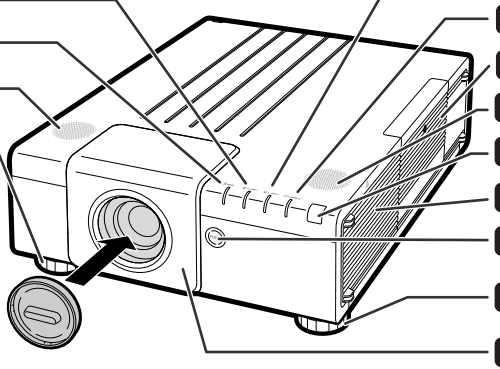
VOLUME(音量)ボタン ■40
スピーカーからの音量を調整します。

ENTER(決定)ボタン ■51
メニューで選択調整した項目を決定します。

UNDO(戻す)ボタン ■51
1つ前の操作状態や前画面に戻します。

カーソルボタン(▲/▼/◀/▶) ■51
メニュー設定や、その他の設定に使用します。

前面／側面



ランプ表示2 ■73

温度モニター表示 ■73

スピーカー ■59

アジャスター（プロジェクターの底部） ■34

レンズ用キャップまたは防塵キャップの取り付け
レンズ用キャップまたは防塵キャップをまっすぐはめ込みます。

レンズ用キャップまたは防塵キャップの取り外し
レンズ用キャップまたは防塵キャップをまっすぐ引き抜きます。

ランプ表示1 ■73

電源表示 ■73

ランプユニットカバー ■76

スピーカー ■59

リモコン受信部 ■20

排気孔 ■70

レンズカバー取り外しボタン ■85

アジャスター（プロジェクターの底部） ■34

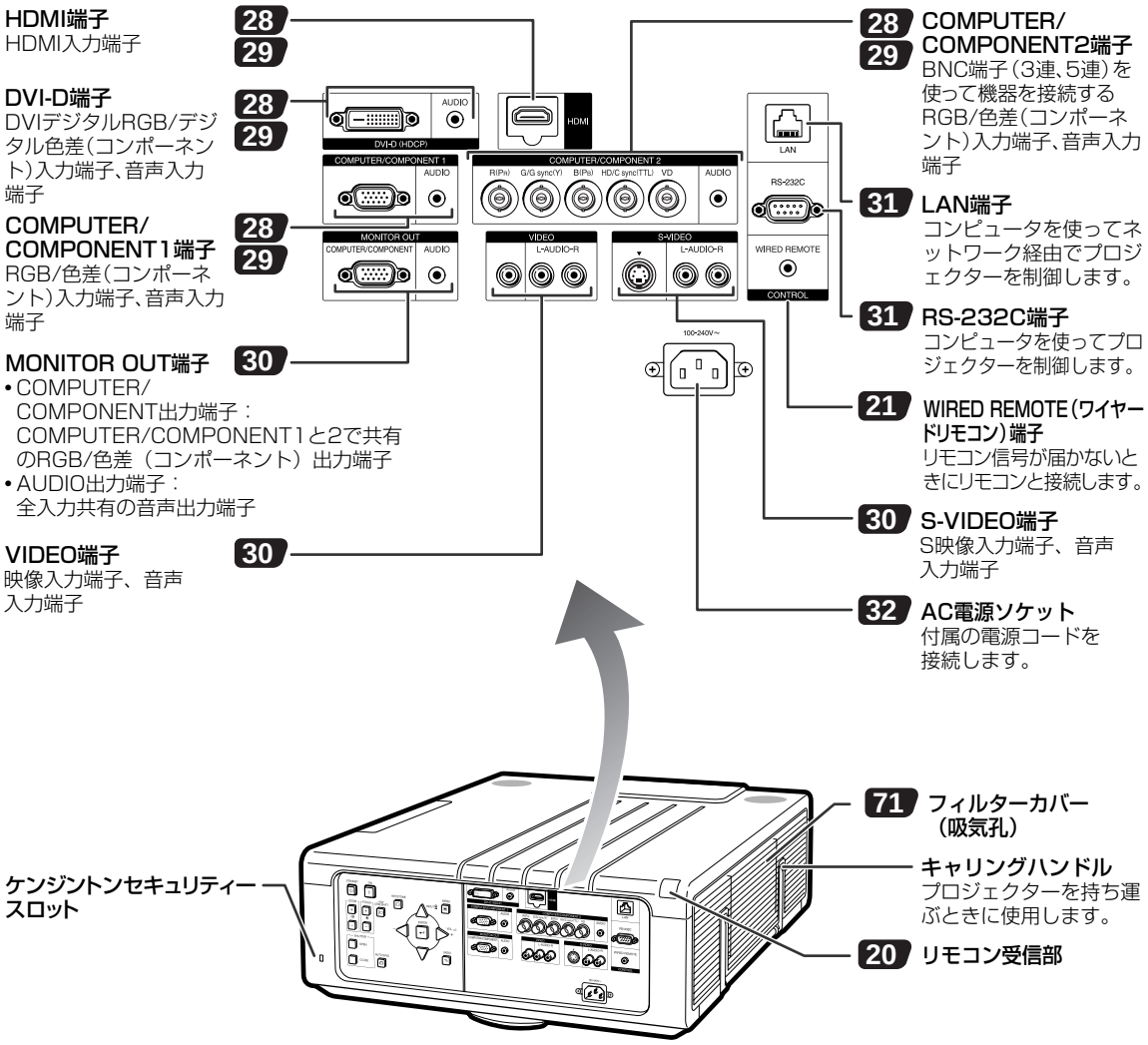
レンズカバー ■85

つづく

各部のなまえとはたらき（つづき）

の中の数字は参照ページを示します。

後面端子 …… 接続する機器については28～30ページの「外部機器と接続する」をご覧ください。



ケンジントンセキュリティースロットについて

- このケンジントンセキュリティースロットは、Kensington社製セキュリティーケーブルに対応しております。接続のしかたはケーブルに付属の取扱説明書をご覧ください。
- ケンジントンセキュリティースロットおよびセキュリティーケーブルは盗難を抑止するもので、万一発生した盗難事故による被害については責任を負いかねます。

■の中の数字は参照ページを示します。

リモコン

FOCUS(フォーカス)ボタン
投映画像のピント(フォーカス)を合わせます。

STANDBY(スタンバイ)ボタン
電源を待機状態にします。

ZOOM(ズーム)ボタン
投映画像を拡大／縮小します。

KEYSTONE(キーストーン補正)ボタン
投映角度により生じる台形歪みを補正する画面を表示します。

マウス／カーソルボタン(▲/▼/◀/▶)
- ADJ./MOUSE(調整／マウス)切換スイッチがMOUSEのときに、マウスボタンとして働きます。
- ADJ./MOUSE(調整／マウス)切換スイッチがADJ.のときに、カーソルボタンとして働きます。

ENTER(決定)ボタン
メニューで選択・調整した項目を決定します。

L-CLICK(左クリック)ボタン
ADJ./MOUSE(調整／マウス)切換スイッチがMOUSEのときに、左クリックボタンとして働きます。

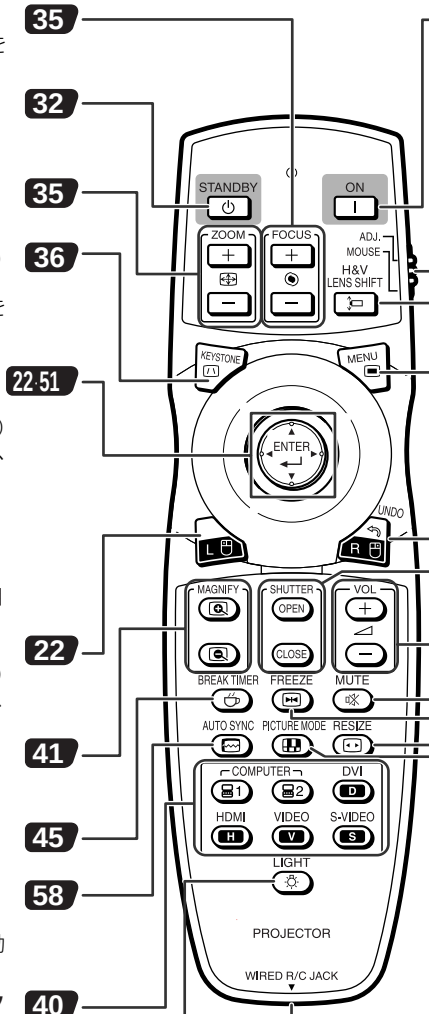
MAGNIFY +／−(拡大／縮小)ボタン
投映画像を部分拡大／縮小します。

BREAK TIMER(休憩時間)ボタン
休憩時間を設定します。

AUTO SYNC(自動同期調整)ボタン
コンピュータ接続時の同期を自動で調整します。

COMPUTER1/2(コンピュータ1/2)、DVI、HDMI、VIDEO(映像)、S-VIDEO(S映像)ボタン
入力モードを切り換えます。

LIGHT(ライト)ボタン
このボタンを押すとリモコンの各ボタンが点灯します。



32 ON(電源入)ボタン
電源を入れます。

21 ADJ./MOUSE(調整/マウス)切換スイッチ
リモコンのモードを切り換えます。

34 H&V LENS SHIFT(縦横レンズシフト)ボタン
レンズを上下左右にシフトします。

51 MENU(メニュー)ボタン
各種設定・調整用の画面を表示します。

22 51 R-CLICK／UNDO(右クリック／戻す)ボタン
- ADJ./MOUSE(調整／マウス)切換スイッチがMOUSEのときに、右クリックボタンとして働きます。
- ADJ./MOUSE(調整／マウス)切換スイッチがADJ.のときに、1つ前の操作状態や前画面に戻します。

45 SHUTTER(シャッター)ボタン
·OPEN: シャッターを開きます。
·CLOSE: シャッターを閉じ、投映映像を遮光します。

40 VOLUME(音量)ボタン
スピーカーからの音量を調整します。

41 MUTE(ミュート)ボタン
プロジェクターの音声を一時的に消します。

42 FREEZE(静止画)ボタン
映像を静止画の状態にします。

43 RESIZE(画面サイズ切換)ボタン
映像に合わせて画面サイズを切り換えます。

42 PICTURE MODE(映像モード)ボタン
映像に合わせて映像モードを切り換えます。

21 WIRED R/C JACK(ワイヤードリモコン端子)
リモコン信号が届かないときに、プロジェクターと接続します。

メモ
- LIGHT(ライト)ボタンは、暗いところでも見やすい蓄光ラバーを採用しています。(蓄光ラバーの発光の強さは、時間の経過とともに減衰します。)

リモコンの使いかた

リモコンの使用範囲

リモコンの使用範囲は図のとおりです。

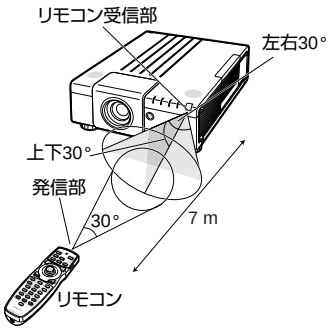
メモ

- リモコンをスクリーンに反射させて、リモコン信号を受信することもできますが、信号が届く距離はスクリーンの材質によって異なります。

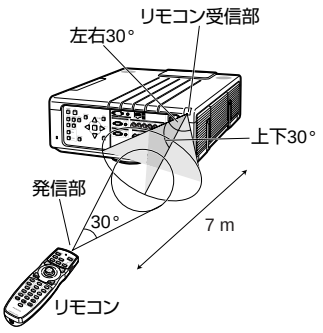
リモコン使用上のご注意

- 衝撃を与えたり、水にぬらしたり、温度の高いところには置かないでください。
- 蛍光灯の下では、リモコンの働きが悪くなる場合があります。そのようなときは、本体を蛍光灯から離してご使用ください。

前面



後面



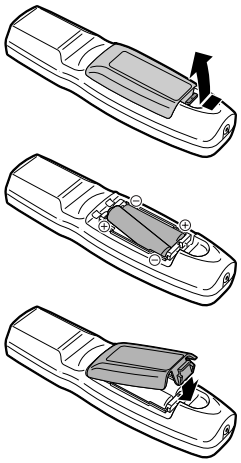
乾電池の入れかた

1 カバーのツメを押して、矢印の方向に開ける

2 付属の乾電池を入れる

- プラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。
- 新しい電池と交換する際は、アルカリ電池をご使用ください。

3 カバーの突起をリモコンの穴に差し込み、矢印の方向に閉める



乾電池は誤った使いかたをしますと液もれや破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。

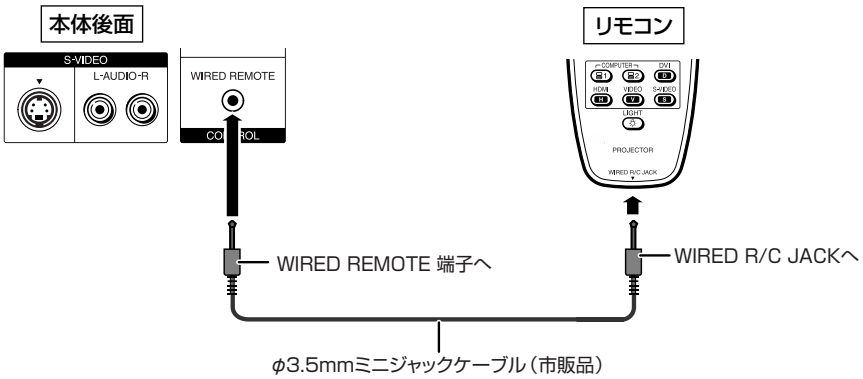
⚠注意

- 誤った電池交換を行うと、乾電池が破裂するなどの危険性があります。乾電池は、同じ種類のものをお使いください。
- 乾電池の⊕極と⊖極は、表示どおり正しく入れてください。
- 乾電池はショートさせたり、充電したり、分解したりしないでください。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しないときや乾電池を使い切ったときは、液がもれて故障の原因となる恐れもありますので、リモコンから乾電池を取り出しておいてください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。

- 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- 不要となった乾電池を廃棄する場合は、各自治体の指示（条例）に従って処理してください。

ワイヤードリモコンの使いかた

プロジェクターの設置位置や設定方法により、リモコン信号が届かない場合は、市販のφ3.5mmミニジャックケーブルを使ってリモコンをプロジェクターに接続してください。ワイヤードリモコンとしてお使いになれます。



メモ

- φ3.5mmミニジャックケーブルがプロジェクターに接続されていると、ワイヤレス機能は働きません。ワイヤレスリモコンとして使用する場合は、プロジェクターからケーブルを抜いてください。

リモコンモードの切り換え

リモコンには、プロジェクター操作のための調整モードと、コンピュータのマウス操作のためのマウスモードがあります。モードの切り換えは、リモコン側面のADJ./MOUSE（調整/マウス）切換スイッチで行います。

お知らせ

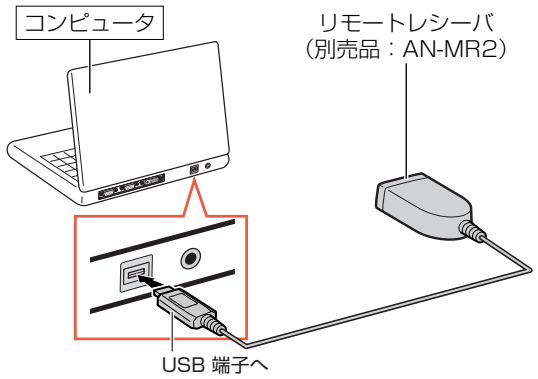
- リモコンをワイヤレスマウスとして使用するときは、別売のリモートレシーバ（AN-MR2）をコンピュータに接続してください。接続のしかたは**22**ページをご覧ください。

つづく

リモコンの使いかた（つづき）

リモコンをワイヤレスマウスとして使用する

別売のリモートレシーバ（AN-MR2）をコンピュータに接続すると、コンピュータのマウス操作を付属のリモコンで行うことができます。



1 リモートレシーバ（別売品）をコンピュータのUSB端子に接続する

2 リモコン側面のADJ./MOUSE（調整/マウス）切換スイッチをMOUSE（マウス）の位置にスライドする

3 マウス機能を使う

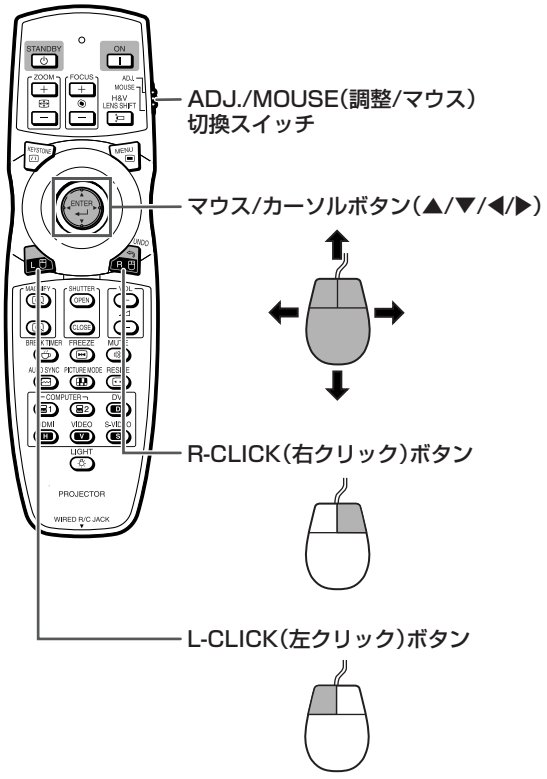
• リモコンをリモートレシーバに向けて操作します。

■ポインタを動かすとき
▲/▼/◀/▶を押します。

■左クリックするとき
L-CLICKを押します。

■右クリックするとき
R-CLICKを押します。

■クリックボタンがひとつのマウス（Macintoshなど）の場合
L-CLICKまたは**R-CLICK**を押します。
（**L-CLICK**、**R-CLICK**は同じ働きをします。）



メモ

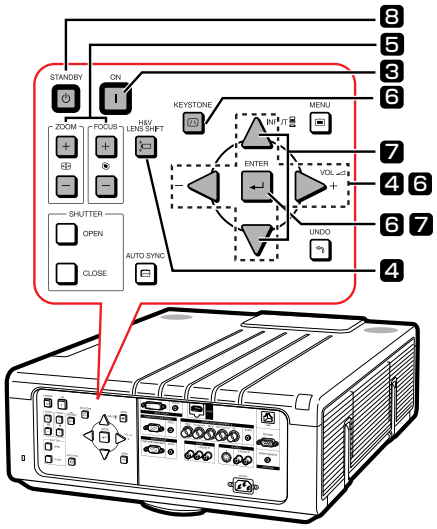
- この機能はMicrosoft® Windows® OSとMac® OSでのみ働きます。
- ただし、OSがWindows® 95以前、Windows® NT4.0以前または、Mac® OS 8.5以前の場合は、USBをサポートしていないため働きません。
- コンピュータ側でUSB接続が認識されたことを確認してください。
- ワイヤードリモコンとして使用しているときは、ワイヤレスマウス機能は使用できません。

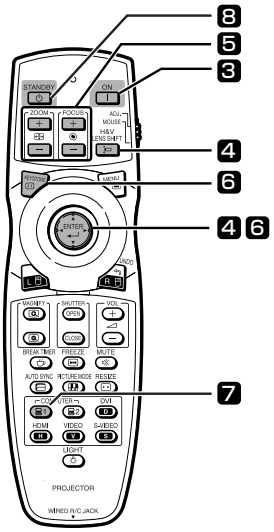
基本的な使いかた

このページでは、本機の基本的な使いかた（コンピュータを接続して投映）を説明しています。詳しくは各項目に記載されているページをご覧ください。

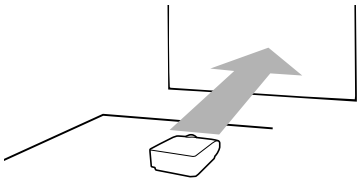
設置から投映まで

ここでは、本機とコンピュータの接続を例に説明します。



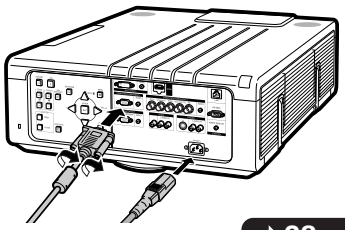


1. 本体を映したいスクリーンに向けて置く



➡25ページ

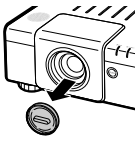
2. 電源コードおよびコンピュータを接続する



ほかの機器を接続する場合は、28〜30ページをご覧ください。

➡28、32ページ

3. レンズ用キャップを外し、電源を入れる



本体またはリモコンの**ON**を押す

➡32ページ

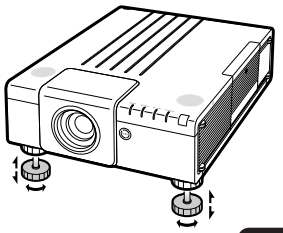
つづく

基本的な使いかた(つづき)

4. 投映角度を調整する

投映角度を調整する

- レンズを上下左右にシフトする
  - ① 本体またはリモコンの**H&V LENS SHIFT**を押す
  - ② 本体またはリモコンの▲/▼/◀/▶を押して調整する
- アジャスターで調整する



➡33、34ページ

5. 投映された画像のフォーカス(ピント)とサイズを調整する

1. 本体またはリモコンの**FOCUS +/−**を押してフォーカス(ピント)を合わせる
2. 本体またはリモコンの**ZOOM +/−**を押して画面サイズを合わせる

➡35ページ

6. 台形歪みを補正する(4点補正)

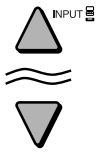
1. 本体またはリモコンの**KEYSTONE**を押す
2. 本体またはリモコンの**ENTER**を押す
3. 本体またはリモコンの▲/▼/◀/▶を押して、投映画面の左上の位置を指定する
4. 本体またはリモコンの**ENTER**を押して位置を確定する
5. 手順3、4を行い、投映画面の右上、右下、左下の位置も指定する
   - 左下の位置を確定すると、画面の補正が行われ終了します。

➡37ページ

7. 入力モードを選ぶ

本体の**INPUT**またはリモコンの**COMPUTER1**を押して「COMPUTER1」を選ぶ

本体



リモコン

入力切換リスト

画面表示(RGB信号入力時)

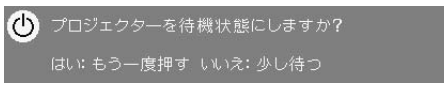
- 本体の**INPUT**を押すと、入力切換リストが表示されます。▲/▼で選び、**ENTER**を押して、入力モードを切り換えてください。
- リモコンで入力モードを切り換えるときは、**COMPUTER1/2, DVI, HDMI, VIDEO, S-VIDEO**を押して切り換えます。

➡40ページ

8. 電源を切るときは

本体またはリモコンの**STANDBY**を押し、確認画面が表示されている間にもう一度、**STANDBY**を押す

▼画面表示



- 本機が作動中であっても電源コードを抜くことができます。
- 本機から電源コードを抜いたあとも、冷却ファンはしばらく作動し続けます。

➡32ページ

本機を設置する

本機の設置のしかた

プロジェクターを水平な状態にして（アジャスターを使わない状態）、スクリーンに対して垂直に設置してください。キーストーン補正を行う必要がなく、最良の映像が得られます。

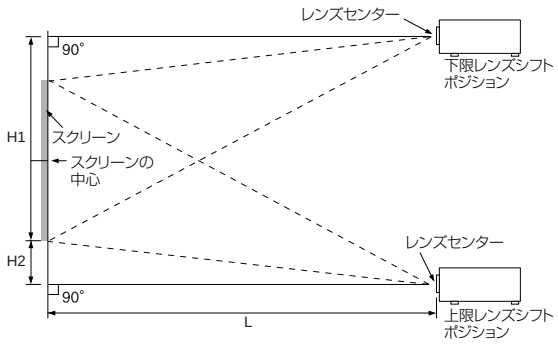
メモ

- プロジェクターのレンズがスクリーンの中心（水平方向）にくるように設置してください。レンズの中心を通る水平ラインが、スクリーンに対して垂直になっていないと、映像が歪んで見にくくなります。
- スクリーンを直射日光や照明の光のあたる場所に設置しないでください。スクリーンに直接あたる光で画面が白っぽくなり、見にくくなります。明るい光が入る部屋では、カーテンを引いて、照明を暗くしてください。

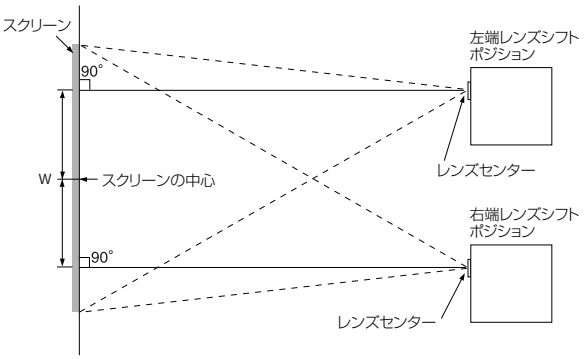
基本的な設置（前面からの投映）

■投映したい画面サイズに合わせて、スクリーンから必要な距離をとってプロジェクターを設置してください。（同梱のCD-ROMに収録の「セットアップ説明書」をご覧ください。）

横から見たとき



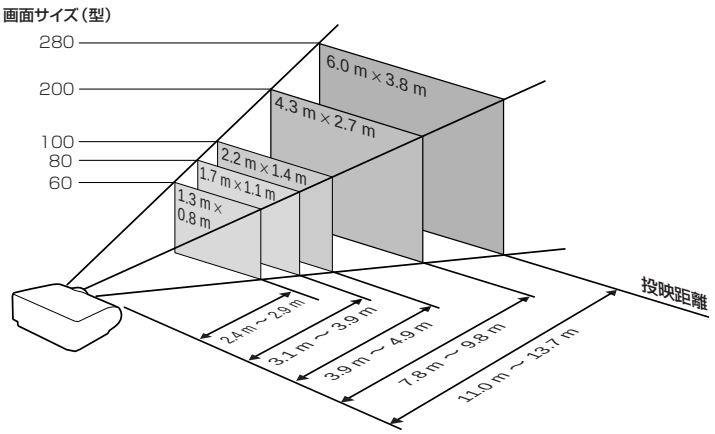
上から見たとき



投映画像の大きさと設置距離のめやす

詳細については、同梱のCD-ROMに収録の「セットアップ説明書」をご覧ください。

例：　コンピュータ入力時の「標準」モード（ビデオ入力時は「ズーム」モード）で標準ズームレンズ（AN-P18EZ）を使用した場合



つづく

本機を設置する(つづき)

画面サイズと投映距離

標準ズームレンズ(AN-P18EZ:XG-P560W標準装備)

16：10信号入力時（標準モード）※ビデオ入力時は、ズームモードとなります。（**44**ページ）

画面サイズ			投映距離 (L)		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (H)		レンズセンター位置から画面の中心までの距離 (W) (cm)
x：対角(型)	幅(m)	高さ(m)	L1：最短(m)	L2：最長(m)	H1：下限(cm)	H2：上限(cm)	
280	6.03	3.77	11.0	13.7	−439.1	62.2	± 211.1
250	5.38	3.37	9.8	12.3	−392.0	55.5	± 188.4
200	4.31	2.69	7.8	9.8	−313.6	44.4	± 150.8
150	3.23	2.02	5.9	7.4	−235.2	33.3	± 113.1
120	2.58	1.62	4.7	5.9	−188.2	26.7	± 90.5
100	2.15	1.35	3.9	4.9	−156.8	22.2	± 75.4
80	1.72	1.08	3.1	3.9	−125.5	17.8	± 60.3
60	1.29	0.81	2.4	2.9	−94.1	13.3	± 45.2

x ：画面サイズ(型)
L1：最短投映距離(m)
L2：最長投映距離(m)
H1：レンズセンター位置から画面の最下端までの下限距離(cm)
H2：レンズセンター位置から画面の最下端までの上限距離(cm)
W ：レンズセンター位置から画面の中心までの距離(cm)

画面サイズと投映距離の近似式
L1＝0.0392*x*
L2＝0.0491*x*
H1＝−1.56815*x*
H2＝0.2221*x*
W＝±0.75379*x*

4：3信号入力時 ※ビデオ入力時は、ズームモードとなります。（**44**ページ）

画面サイズ			投映距離 (L)		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (H)		レンズセンター位置から画面の中心までの距離 (W) (cm)
x：対角(型)	幅(m)	高さ(m)	L1：最短(m)	L2：最長(m)	H1：下限(cm)	H2：上限(cm)	
240	4.88	3.66	10.7	13.3	−426.1	60.3	± 204.8
200	4.06	3.05	8.9	11.1	−355.1	50.3	± 170.7
150	3.05	2.29	6.7	8.3	−266.3	37.7	± 128.0
120	2.44	1.83	5.3	6.7	−213.0	30.2	± 102.4
100	2.03	1.52	4.4	5.6	−177.5	25.1	± 85.3
80	1.63	1.22	3.6	4.4	−142.0	20.1	± 68.3
70	1.42	1.07	3.1	3.9	−124.3	17.6	± 59.7
60	1.22	0.91	2.7	3.3	−106.5	15.1	± 51.2

x ：画面サイズ(型)
L1：最短投映距離(m)
L2：最長投映距離(m)
H1：レンズセンター位置から画面の最下端までの下限距離(cm)
H2：レンズセンター位置から画面の最下端までの上限距離(cm)
W ：レンズセンター位置から画面の中心までの距離(cm)

画面サイズと投映距離の近似式
L1＝0.04438*x*
L2＝0.05559*x*
H1＝−1.77527*x*
H2＝0.25143*x*
W＝±0.85344*x*

メモ

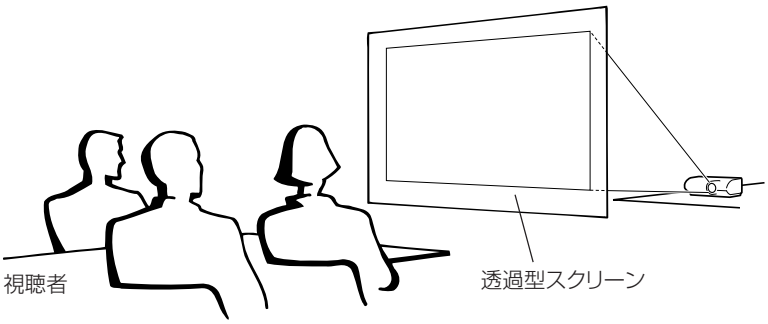
- 表中の寸法は若干の誤差があります。
- 表中に“−”(マイナス記号)がついた値は、画面の最下端がレンズセンター位置より下になることを示しています。
- 投映距離(L)とレンズセンター位置から画面最下端までの距離(H)の関係については**25**ページをご覧ください。

反転映像を投映するとき

スクリーン背後からの投映

■ 透過型スクリーンをプロジェクターと視聴者の間に設置してください。

■ 「オプション2」メニューの「投映方式」で「リア」に設定して、画面の左右を反転してください。（**66**ページ）



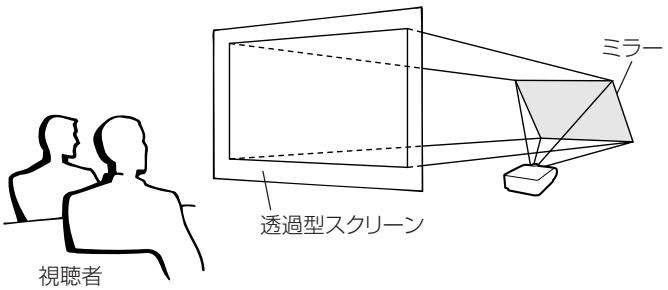
ミラーを使った投映

■ レンズの正面にミラー（表面鏡）を設置してください。

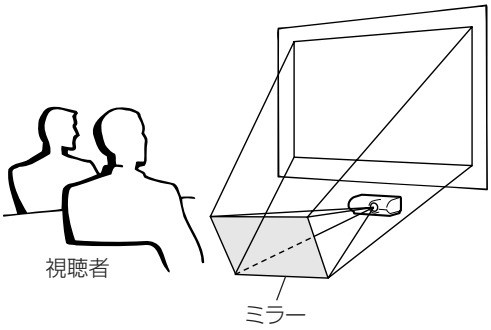
■ 図のように透過型スクリーンを視聴者とミラーの間に設置し投映するときは、「オプション2」メニューの「投映方式」で「フロント」に設定してください。（**66**ページ）

■ 視聴者側にミラーを置くときは、「オプション2」メニューの「投映方式」で「リア」に設定してください。（**66**ページ）

「フロント」に設定



「リア」に設定



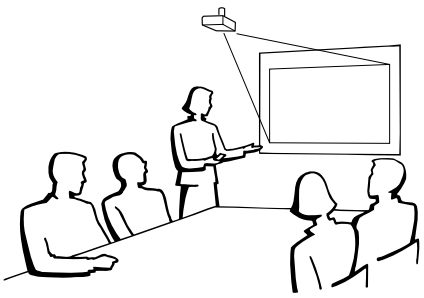
お知らせ

- ミラーを使用する場合は、プロジェクターとミラーの位置に注意して、視聴者の目に光が入らないようにしてください。

天井取り付けによる投映

■ 天井に取り付ける場合は、別売の取付ユニットおよび天吊り用取付けアダプター「AN-P610T」が必要です。また、取り付けの際は、必ずお買いあげの販売店にご相談ください。
別売の天吊り用取付けアダプター「AN-P610T」の取り付けは、天吊り用取付けアダプターに付属されている説明書をご覧ください。

■ 「オプション2」メニューの「投映方式」で「天吊り」に設定して、画面の上下を反転してください。（**66**ページ）



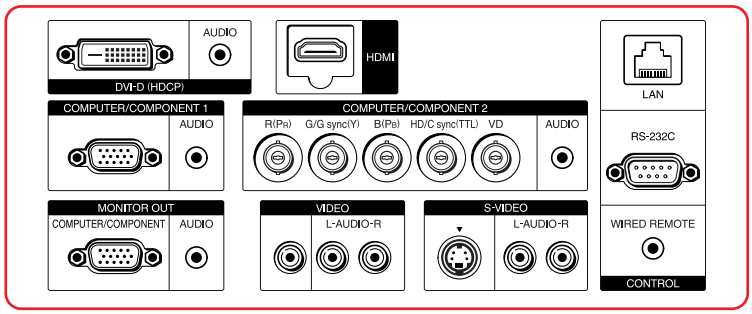
外部機器と接続する

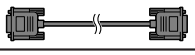
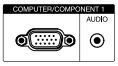
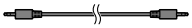
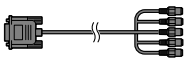
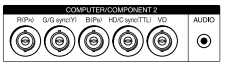
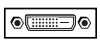
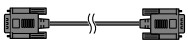
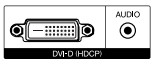
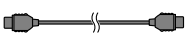
接続を始める前に、必ずプロジェクターや接続する機器の電源を切ってください。すべての接続が終わったあとで、プロジェクターおよび周辺機器の電源を入れます。コンピュータと接続した場合、コンピュータの電源は接続後、一番最後に入れてください。

注意:接続した機器の電源は、必ずプロジェクターで入力を選択した後に入れてください。

・使用しているケーブル名称は一例です。接続する機器によっては機器専用のケーブルを使用したり、変換プラグやアダプターが必要となる場合があります。詳しくは本機に接続する機器の取扱説明書で確認してください。

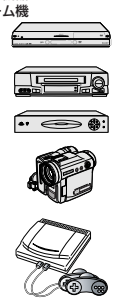
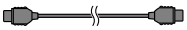
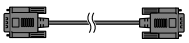
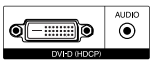
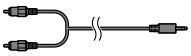
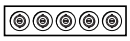
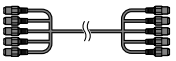
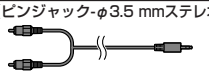
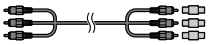
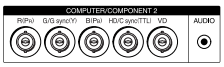
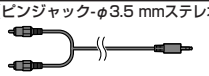
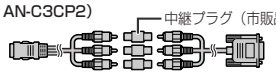
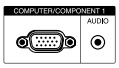
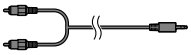
本体側端子



接続機器	接続機器側端子	変換ケーブル/接続ケーブル	本体側端子
コンピュータ	RGB映像出力端子	RGBケーブル（付属品） 	COMPUTER/COMPONENT1 
	コンピュータ音声出力端子	コンピュータ音声ケーブル（φ3.5 mmステレオミニタイプ、市販品） 	
	RGB映像出力端子	ミニD-Sub15ピン/5BNCケーブル（市販品） 	COMPUTER/COMPONENT2 
	コンピュータ音声出力端子	コンピュータ音声ケーブル（φ3.5 mmステレオミニタイプ、市販品）	
	DVIデジタル出力端子 	DVIデジタルケーブル（市販品） 	DVI-D 
	コンピュータ音声出力端子	コンピュータ音声ケーブル（φ3.5 mmステレオミニタイプ、市販品）	
	HDMIデジタル出力端子	HDMIケーブル（市販品） 	HDMI

メモ

- 本機をIBM-PC(VGA/SVGA/XGA/SXGA/UXGA)または互換機（ワークステーション）に接続する場合は、別ケーブルが必要になる場合があります。詳細は販売店にお問い合わせください。
- 本機とコンピュータをDVIデジタルケーブルまたはHDMIケーブルで接続したときは、「映像調整」メニューの「入力信号タイプ」を「D. PC RGB」に設定してください。
- 対応しているコンピュータの表示モードについては、「入力信号（推奨信号）一覧表」（**79**ページ）をご覧ください。一覧表に記載のない表示モードで使用すると、本機の機能の一部が使用できない場合があります。
- Macintoshと接続する場合、コンピュータケーブルにアダプターが必要になる場合があります。販売店、またはもよりのシャープお客様相談センター（**84**ページ）へお問い合わせください。
- **お使いのコンピュータによっては、外部出力ポートを有効にしないと映像が表示されない場合があります。シャープ製のノート型コンピュータでは、Fnキーと F5キーを同時に押すと外部出力ポートが有効になります。詳しくはお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。**

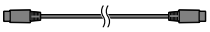
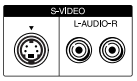
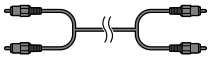
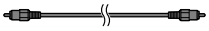
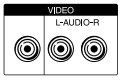
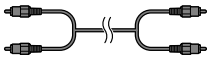
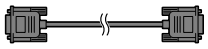
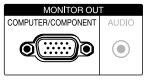
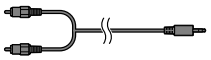
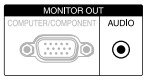
接続機器	接続機器側端子	変換ケーブル/接続ケーブル	本体側端子
映像機器、カメラ、ゲーム機 	HDMIデジタル出力端子	HDMIケーブル（市販品） 	HDMI
	DVIデジタル出力端子	DVIデジタルケーブル（市販品） 	DVI-D 
	音声出力端子	音声ケーブル（ピンジャック-φ3.5 mmステレオミニタイプ、市販品） 	
	RGB映像出力端子 	5BNCケーブル（市販品） 	COMPUTER/COMPONENT2
	音声出力端子	音声ケーブル（ピンジャック-φ3.5 mmステレオミニタイプ、市販品） 	
	コンポーネント映像出力端子	コンポーネントケーブル（市販品）＋ BNC/RCA変換プラグ（市販品） 	COMPUTER/COMPONENT2 
	音声出力端子	音声ケーブル（ピンジャック-φ3.5 mmステレオミニタイプ、市販品） 	
	D映像出力端子	D/コンポーネント変換ケーブル（市販品）＋ 3RCA/ミニD-sub15ピン変換ケーブル （別売品：AN-C3CP2） 中継プラグ（市販品） 	COMPUTER/COMPONENT1 
	音声出力端子	音声ケーブル（ピンジャック-φ3.5 mmステレオミニタイプ、市販品） 	

メモ

- COMPUTER1/2、DVI-D、HDMI接続したときは、映像機器に合わせて、「映像調整」メニューの「入力信号タイプ」を設定してください。詳しくは **55**ページをご覧ください。
- プロジェクターに接続するRGBアナログ出力端子付き機器の仕様によっては、HD/CやVD端子を使用する場合があります。詳しくはビデオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- 5BNC端子のHD/C sync端子はTTL信号専用の入力端子です。
- 必要に応じて「同期調整」メニューの「解像度」を「480P」や「576P」に設定してください。（**57**ページ）
- HDMI機器をDVI/HDMIデジタルケーブルを使用して、DVIデジタル端子に接続したとき、接続するAV機器や変換ケーブルの仕様によっては、正常に動作しない場合があります。（DVI/HDMIデジタル変換ケーブルを使用した接続は、HDMI規格の認証外であり、全てのHDMIデジタル出力端子付きAV機器との接続を保証するものではありません。）接続に関する互換性について詳しくは、接続するAV機器製造元のDVI接続のサポート情報で確認してください。

つづく

外部機器と接続する（つづき）

接続機器	接続機器側端子	変換ケーブル/接続ケーブル	本体側端子
映像機器、カメラ、ゲーム機	S映像出力端子	S映像ケーブル（市販品） 	S-VIDEO 
	音声出力端子	音声ケーブル（市販品） 	
	映像出力端子	映像ケーブル（市販品） 	VIDEO 
	音声出力端子	音声ケーブル（市販品） 	
モニター	RGB映像入力端子	RGBケーブル（付属品または市販品） 	MONITOR OUT 
アンプ、オーディオ機器	音声入力端子	音声ケーブル（ピンジャック/φ3.5 mmステレオミニタイプ、市販品） 	MONITOR OUT 

メモ

- コンピュータ音声ケーブルはφ3.5ステレオミニタイプ（市販品）をご使用ください。モノラル音声ケーブルを使用した場合、ステレオ音声ケーブルに比べ音量レベルが約半分になります。
- モニター出力できる映像信号はアナログRGB信号およびコンポーネント（色差）信号（COMPUTER1/2）です。DVIやHDMI入力の映像信号は出力されません。
- HDMI入力の音声をMONITOR OUT-AUDIO端子から出力したときは、リニアPCM音声出力となります。
- HDMI(High Definition Multimedia Interface)は、ハイビジョン映像信号、マルチチャンネルオーディオ信号、双方向伝送対応のコントロール信号を1本のケーブルで接続できるデジタルAVインターフェースです。
- HDMI端子は著作権保護技術(High-bandwidth Digital Content Protection system)に対応しているため、デジタルビデオ信号をデジタルのまま劣化させることなく伝送するので、高品位な画質をシンプルな接続で楽しむことができます。
- HDMI端子はCECには対応しておりません。

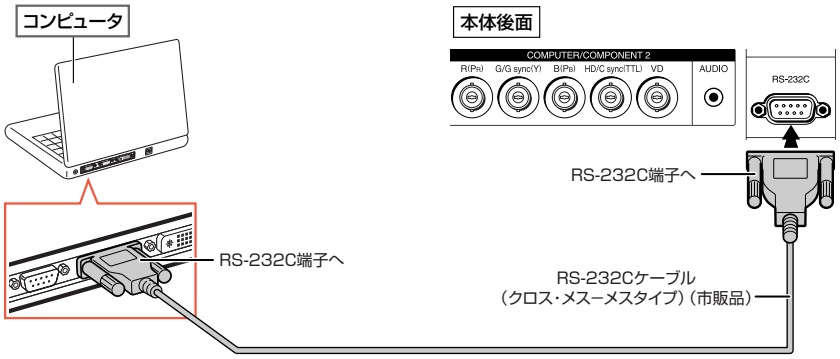
HDMI機器と接続したとき本機が対応している信号について

- 映像信号：詳しくは入力信号（推奨信号）一覧表（**79**～**80**ページ）のHDMIサポート信号をご確認ください。
- 音声信号の種類：リニアPCM音声
- サンプリング周波数：48kHz/44.1kHz/32kHz

プロジェクターをコンピュータで制御する

プロジェクターのRS-232C端子とコンピュータのシリアル（RS-232C）ポートを接続すると、コンピュータからプロジェクターを操作することができます。また、LAN端子にLANケーブルを接続すると、ネットワーク経由でプロジェクターを制御することができます。詳しくは同梱のCD-ROMに収録の「セットアップ説明書」をご覧ください。

コンピュータをRS-232Cケーブルを使って接続するとき



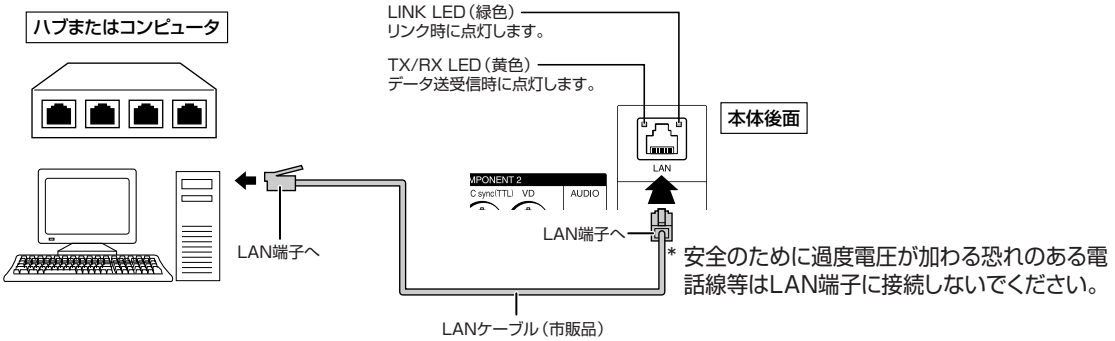
メモ

- RS-232C端子からの制御は、お使いのコンピュータポートが正しく設定されていないと機能しない場合があります。詳しくはお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- **RS-232Cの仕様とコマンドについては、同梱のCD-ROMに収録の「セットアップ説明書」をご覧ください。**

お知らせ

- コンピュータ側のシリアル（RS-232C）ポート以外には接続しないでください。コンピュータまたは、プロジェクターが破損する恐れがあります。
- コンピュータの電源が入っているときにRS-232Cケーブルを抜き差ししないでください。コンピュータの故障の原因となることがあります。

プロジェクターのLAN端子にLANケーブルを接続するとき



メモ

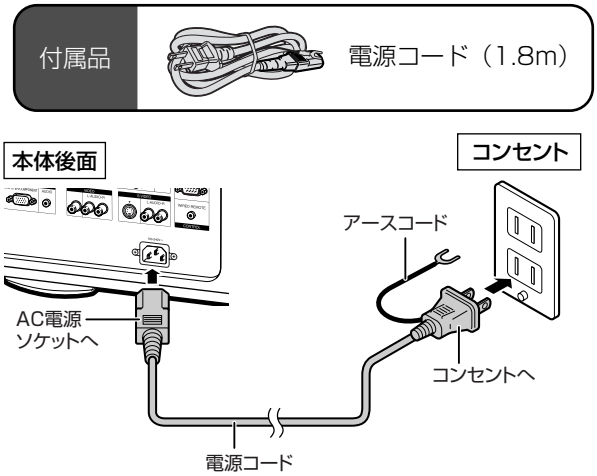
- LANケーブルはカテゴリー5を使用してください。
- **コンピュータと本機を1対1で接続する場合には、クロスタイプのケーブルを使用してください。**
- **ハブに本機を接続する場合には、ストレートタイプのケーブルを使用してください。**

電源の入れかた/切りかた

電源コードを接続する

AC電源ソケットに電源コードを接続する

- 電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。
- アースコードを取り外すときは、必ずプラグをコンセントから抜いた後、行ってください。



電源を入れるとき

操作を始める前に、外部機器との接続を済ませておいてください。（**28**～**31**ページ）

レンズ用キャップを外し、本体またはリモコンのONを押す

- 電源表示が緑色で点灯します。
- ランプが点灯するとランプ表示が緑色点灯します。ランプ表示が緑色点灯してから、プロジェクターの操作を始めてください。
- システムロックが設定されているときは、キーコード入力画面が表示されます。解除するには、設定したキーコードを入力してください。詳しくは**63**ページをご覧ください。

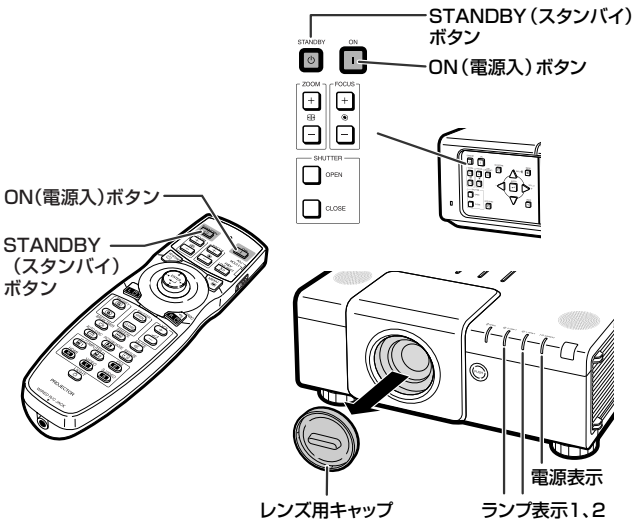
メモ

ランプ表示について

- 動作状況を以下のようにお知らせします。
  緑色点灯：ランプ点灯中
  緑色点滅：ランプ起動中
  赤色点灯：ランプが正常に起動しない（点灯しない）/ランプ交換
- 電源を入れ、ランプが起動してから約1分間は、まれに投映画像がちらつくことがあります。これはランプ制御回路が出力を安定させるための動作であり、故障ではありません。
- プロジェクターを待機状態にした直後に再び電源を入れると、ランプ（光源）が起動するまで多少時間がかかる場合があります。

お知らせ

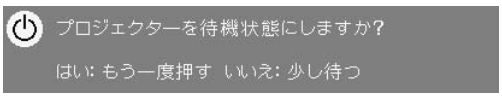
- **「自動復帰モード」が「入」に設定されているとき：**
  プロジェクターが電源オン状態で電源コードをコンセントから抜いたとき、あるいはブレーカーを切った場合、再び電源コードをコンセントに差し込む、またはブレーカーを入れたときに、プロジェクターは自動的に起動します。



電源を切る（待機状態にする）とき

本体またはリモコンのSTANDBYを押し、確認画面が表示されている間にもう一度、同じボタンを押す

▼画面表示

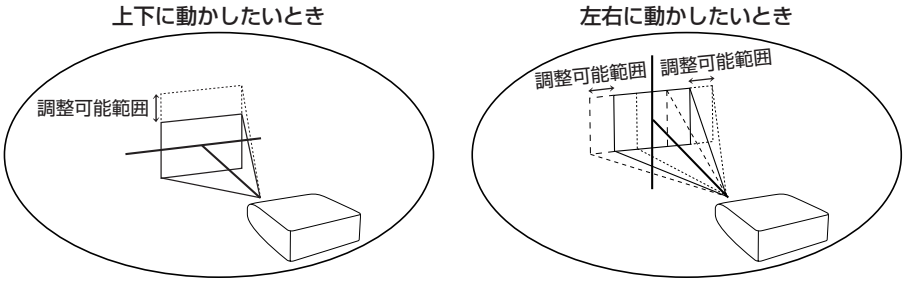


お知らせ

- 本機が作動中であっても電源コードを抜くことができます。本機から電源コードを抜いたあとも、冷却ファンはしばらく作動し続けます。

レンズシフト機能を使って投映位置を調整する

ズーム機能やアジャスターを利用した投映角度調整に加え、光学レンズシフト機能により、投映位置を調整できます。設置場所の条件によりスクリーンを動かせない場合などに便利な機能です。

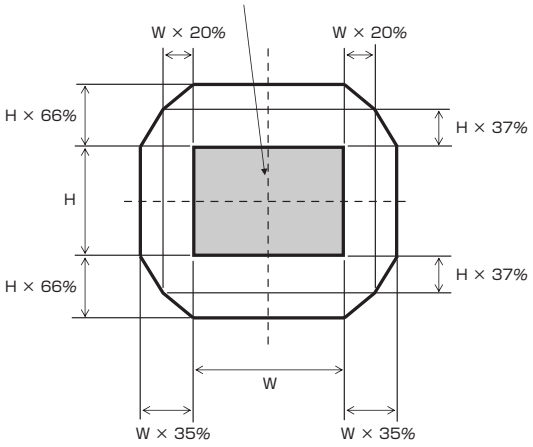


レンズの調整可能範囲

- 本機のレンズシフトの調整可能範囲は、以下のようになります。
  水平方向：±35%
  垂直方向：±66%
  上記範囲内であっても一部制限があります。
  本機に装着しているレンズに合わせ、正しいレンズタイプを選択してください。（**66**ページ）
- イメージは図のようになります。
- 数値は若干の誤差があります。

AN-P15EZ, AN-P18EZ, AN-P23EZ, AN-P30EZ, AN-P45EZ

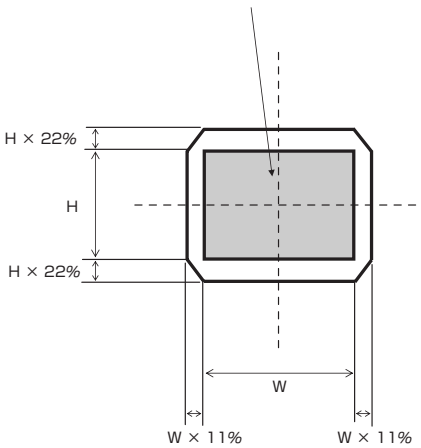
レンズシフトの水平位置と垂直位置が中央のときの画面位置



H：投映画像の高さ
W：投映画像の幅

AN-P8EX, AN-P12EX

レンズシフトの水平位置と垂直位置が中央のときの画面位置



H：投映画像の高さ
W：投映画像の幅

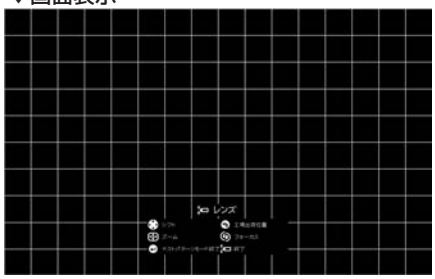
つづく

投映のしかた（つづき）

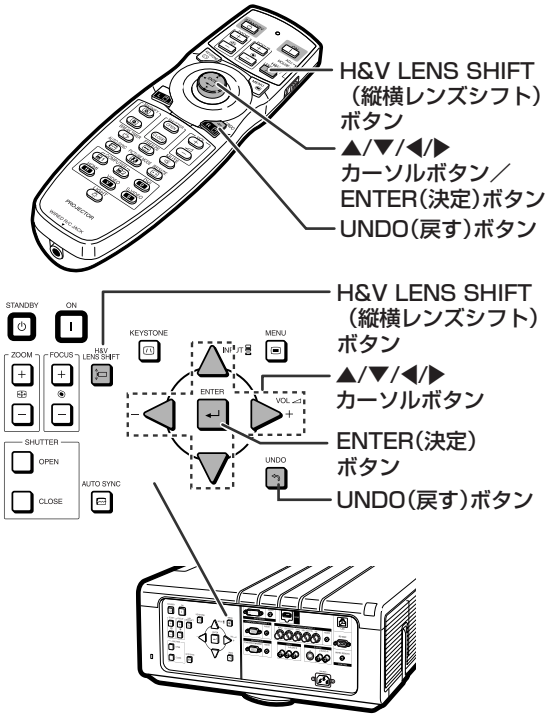
1 本体またはリモコンのH&V LENS SHIFTを押す

• 本体またはリモコンの**ENTER**を押すと、テストパターンが表示されます。テストパターンはより正確な調整をするときに便利です。

▼画面表示



2 本体またはリモコンの▲/▼/◀/▶を押し、調整する



メモ

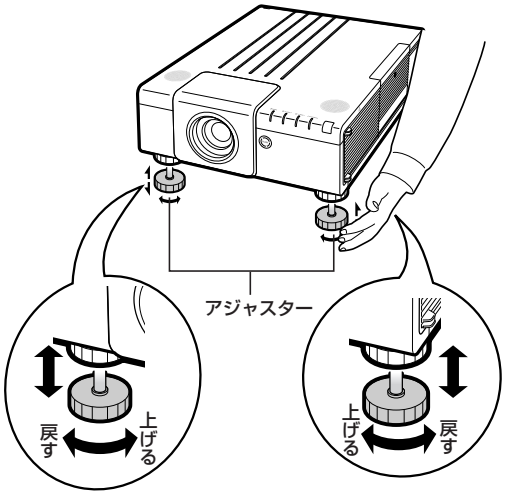
• **UNDO**を押すと、レンズシフトリセット画面が表示されます。レンズシフトを工場出荷状態に戻せます。

アジャスターを使って投映角度を調整する

• レンズシフト機能を使っても投映位置が調整できないようなときにアジャスターを使って角度を調整します。
• プロジェクターよりスクリーンが高い位置にあるときや、スクリーンに傾斜があるとき、または設置面が少し傾いているときなど、アジャスターを使ってプロジェクターの傾きを調整することができます。
• プロジェクターは、できるだけスクリーンと直角になるように設置してください。

1 アジャスターを回し、角度調整を行う

• 設置位置から約5度まで角度調整ができます。



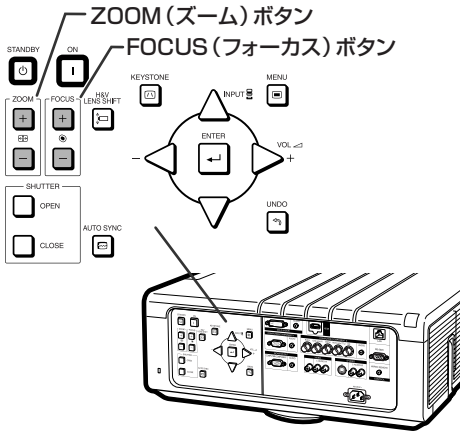
• プロジェクターを上下するとき、レンズやレンズカバーを持たないでください。
• プロジェクターを下げるとき、アジャスターとプロジェクターのすき間に指を挟まないようにご注意ください。

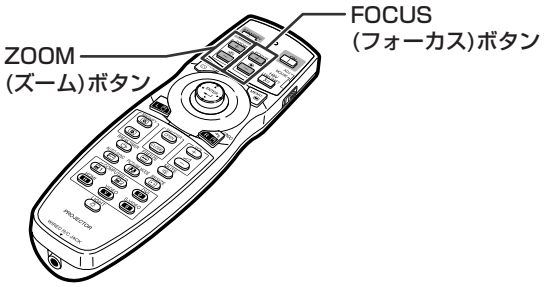
⚠注意

フォーカス(ピント)を調整する

本体またはリモコンのFOCUS +/−を押してフォーカス(ピント)を合わせる

▼画面表示





お知らせ

- フォーカス調整は、ウォームアップ時間が30分以上経過した後に行うことをおすすめします。

投映画像の大きさを調整する

本体またはリモコンのZOOM +/−を押して画面サイズを合わせる

▼画面表示

メモ

- 本体またはリモコンの**FOCUS**や**ZOOM**を押した後に**ENTER**を押すと、テストパターンを表示できます。より正確な調整をするときに便利です。
- **H&V LENS SHIFT**、**FOCUS**、**ZOOM**を使って調整するとき、ボタンを押してから約1秒間は微調整のため小さく動きます。大きく動かしたいときは、ボタンを押し続けてください。

つづく

画面の台形歪みを補正する（キーストーン補正）

映像をスクリーンに対して上下から角度をつけて投映すると、映像が台形に歪みます。
この台形の歪みを補正する機能がキーストーン補正です。

キーストーン補正には2つの方法があります。
1）画面上の4点を指定して台形歪みを補正する「4点補正」方式
2）2軸（水平/垂直）の補正量を数値指定する「H&Vキーストーン」方式

補正の方法を選択する

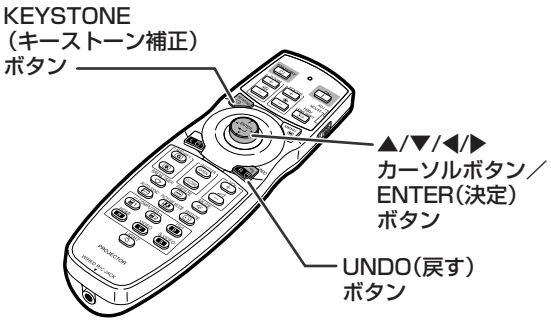
キーストーン補正をする方法を選択します。

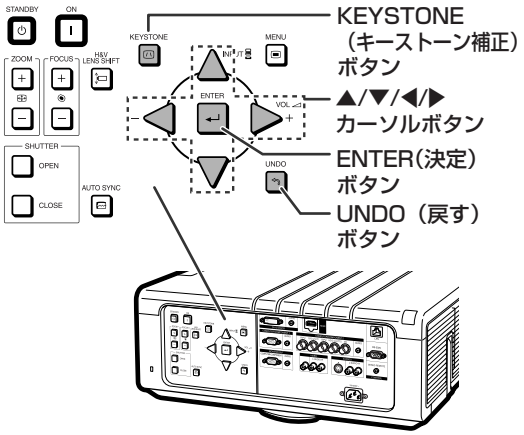
本体またはリモコンのKEYSTONEを押す

- 「4点補正」画面が表示されます。
- **KEYSTONE**を押すたびに、以下の順番で切り換わります。

「4点補正」 → 「H&Vキーストーン」
↑ ↓
補正メニュー終了 ← 「イメージリサイズ」 *

4点補正	画面の4点を指定し、歪みを補正する機能です。
H&Vキーストーン	H ： 水平方向の歪みを補正します。 V ： 垂直方向の歪みを補正します。
イメージリサイズ	「H&Vキーストーン」で補正し切れない歪みを調整します。 *「H&Vキーストーン」の値が「0」以外のときに調整できます。（「4点補正」方式で補正した場合は使用しません。）





4点補正を行う

1 **「4点補正」画面が表示されるまで、本体またはリモコンのKEYSTONEを繰り返し押す**

2 **下記のボタンを押して、投映画像の位置/大きさ/ピントの調整を行う**

- スクリーンの縁が緑色の領域に重なるように調整してください。
- ▲/▼/◀/▶を押したときは、レンズシフトが行えます。
- 本体またはリモコンの**ZOOM +/−**を押したときは、ズーム調整が行えます。
- 本体またはリモコンの**FOCUS +/−**を押したときは、ピント調整が行えます。

3 **本体またはリモコンのENTERを押す**

4 **本体またはリモコンの▲/▼/◀/▶を押して、投映したい画面の左上の位置を調整する**

- 黄色枠の左上がスクリーンの左上に合うように調整してください。

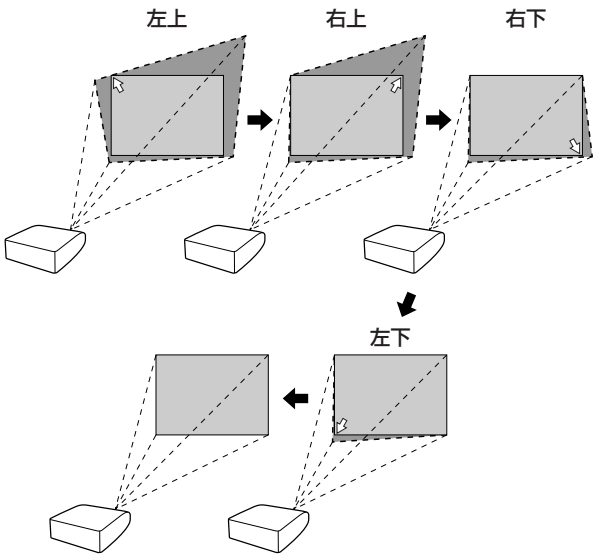
5 **ENTERを押して位置を確定する**

6 **同じ手順で、投映したい画面の右上、右下、左下の位置も調整する**

- このとき本体またはリモコンの**UNDO**を押すと、1つ前の画面に戻ります。
- 左上を調整する前に**UNDO**を押すと、リセット確認画面が表示されます。
- **左下の位置を調整すると画面の補正が行われ「4点補正」モードを終了します。**
- 「補正できません。」のメッセージが表示される場合は、手順**2**の調整が正しく行われていません。手順**2**から操作しなおしてください。

▼画面表示

4点補正



つづく

投映のしかた（つづき）

H&Vキーストーンを行う

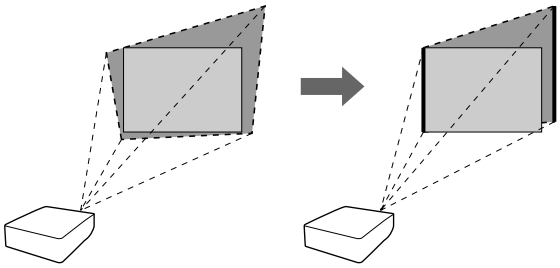
1 **「H&Vキーストーン」画面が表示されるまで、本体またはリモコンのKEYSTONEを繰り返し押す**

- 「4点補正」モードで補正済みの場合は、「H&Vキーストーン」に入る前に、リセットするかどうかの確認画面が表示されますので、リセットしてください。

▼画面表示

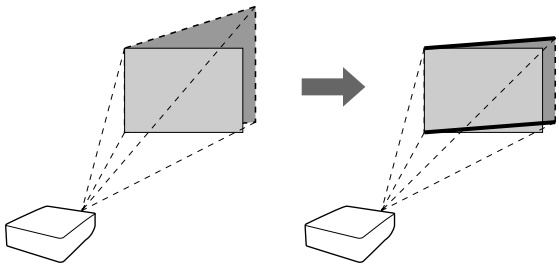
2 **本体またはリモコンの▲/▼を押して、投映画面の左右の辺が平行になるように調整する**

V（縦）キーストーン（▲/▼で調整）



3 **本体またはリモコンの◀/▶を押して、投映画面の上下の辺が平行になるように調整する**

H（横）キーストーン（◀/▶で調整）



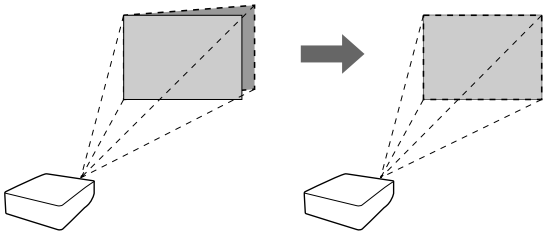
4 **KEYSTONEを押して「イメージリサイズ」モードにする**

- 「H&Vキーストーン」の値が「0」以外のときに働きます。

▼画面表示

5 本体またはリモコンの▲/▼/◀/▶を押して、投映画面の歪みを調整する

イメージリサイズ（▲/▼/◀/▶で調整）



6 KEYSTONEを押して「イメージリサイズ」モードを終了する

つづく

投映のしかた（つづき）

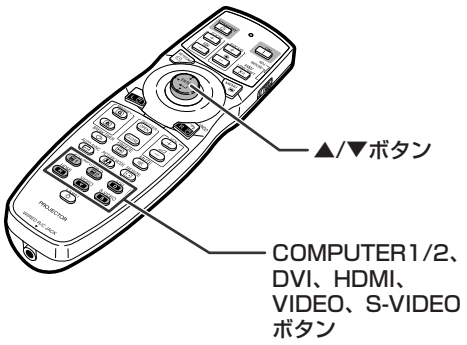
入力を切り換える

接続した機器に合わせて、入力モードを選択します。

リモコンのCOMPUTER 1/2、DVI、HDMI、VIDEO、S-VIDEOを押し、入力モードを選ぶ

■ 本体の**INPUT**▲/▼またはリモコンの▲/▼で入力を切り換えるとき

- ▲/▼を押した場合は、入力切換リストが表示されます。入力切換リスト表示中に、次の操作をすると、入力切換が行えます。
  - ▲/▼を押して希望の入力を選び、**ENTER**を押します。
    - 「自動入力サーチ」を選択すると、自動的に入力信号を検出します。
    - **ENTER**を押さなかった場合は、数秒後に選んだ入力に切り換わります。



入力切換メニュー

メモ

- DTV信号が入力されている入力モードを選んだときに表示される入力表示は有効走査線数です。
- 信号が入力されていないと、「入力無信号」と画面表示されます。プロジェクターで認識できない信号を受けとると、「判別不能」と画面表示されます。
- 「オプション1」メニューの「画面表示」が「レベルA」または「レベルB」に設定されていると、入力モードは表示されません。（**61**ページ）
- P in P機能（**60**ページ）を「入」にしているときは、本体での入力モード切換は行えません。子画面の位置移動ボタンとなります。

本体の音量を調整する

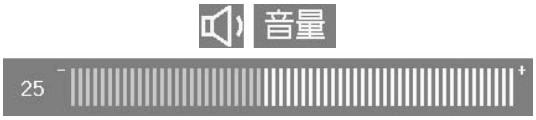
リモコンのVOL +/−を押し、スピーカーの音量を調整する

- 本体では、**−**◀または▶**+**を押してスピーカーの音量を調整することができます。

メモ

- **VOL −**または**−**◀を押すと音量が小さくなります。**VOL +**または▶**+**を押すと音量が大きくなります。
- P in P機能（**60**ページ）を「入」にしているときは、本体での音量調整は行えません。子画面の位置移動ボタンとなります。

▼画面表示



出力した音声を一時的に消す

音声を一時的に消したいときはリモコンのMUTEを押す

メモ

- もう一度**MUTE**を押すと、音声がもとに戻ります。

▼画面表示

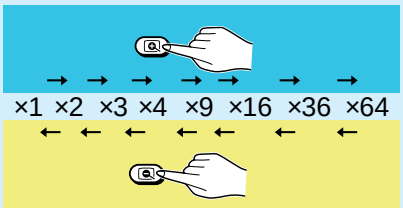
画像の一部を拡大表示する

グラフや表など画像の一部を拡大することができます。より詳しい説明をするときに便利です。

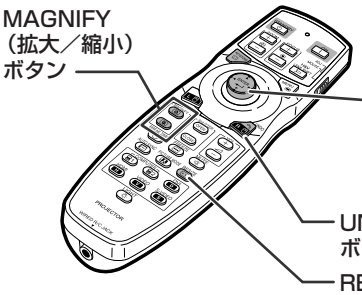
1 リモコンのMAGNIFY を押す

- ×2の倍率に拡大されます。
- （拡大）または （縮小）で、投映画像の拡大、縮小が行えます。

メモ



- ▲/▼/◀/▶を使って拡大部分の位置を移動することができます。



2 リモコンのUNDOを押し解除する

- 倍率は×1に戻ります。

メモ

次の場合、拡大された画像がもとの大きさ（×1）に戻ります。

— 入力切換を行ったとき
— **UNDO**を押したとき
— **RESIZE**を押したとき
— 入力信号を変更したとき
— 入力信号の解像度やリフレッシュレート（垂直周波数）が変わったとき

つづく

投映のしかた（つづき）

画像を静止状態にする

投映中の画像を静止画にすることができます。より詳しい説明をするときに便利です。

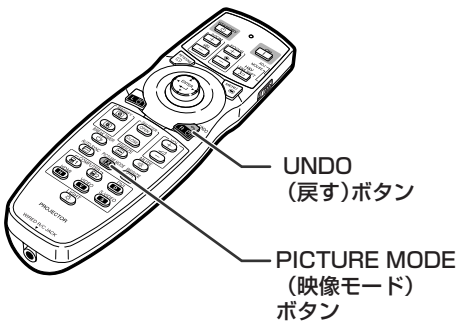
1 リモコンのFREEZEを押す

• 投映中の画像が静止画になります。

2 FREEZEを再度押すと、接続した機器の現在の画像に戻る

投映する画像に合わせた映像モードを選ぶ

映画やゲームなど投映する画像に合わせた映像モードを選ぶことができます。



リモコンのPICTURE MODEを押す

• 押すたびに

→標準→ プレゼンテーション →シネマ→ユーザー設定

の順番で切り換わります。

メモ

• 選択した映像モードを表示中に**UNDO**を押すと「標準」に戻ります。

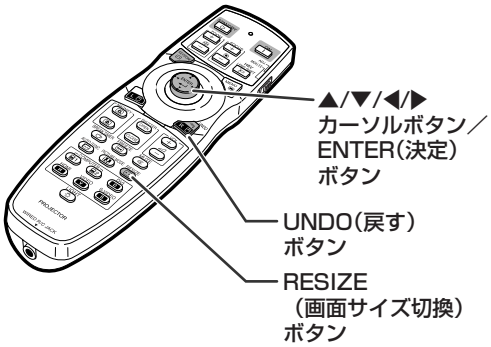
• 映像モードについて、詳しくは**53**ページをご覧ください。

入力された信号の種類に合わせて、お好みの画面サイズに切り換えることができます。表を参考に最適な画面サイズを選んでください。

入力信号に合わせた画面サイズを選ぶ

リモコンのRESIZEを押す

- 押すたびに、画面サイズは表のように変わります。
- 初期の状態に戻すには、「画面サイズ」が画面に表示されているときに**UNDO**を押してください。
- メニューで操作する場合は**60**ページを参照してください。



コンピュータ

		標準	フル	ドットバイドット	スクイーズ
縦横比4：3	SVGA (800×600)	1068×800	1280×800	800×600	1280×720
	XGA (1024×768)			1024×768	
	SXGA (1152×864)			1152×864	
	SXGA+ (1400×1050)			1400×1050	
その他	SXGA (1280×1024)	1000×800		1280×1024	
	1280×720	1280×720		—	—
	1360×768	1280×722		1360×768	
	1366×768	1280×720		1366×768	
	1280×768	1280×768		—	1280×720
	1280×800	1280×800	—		

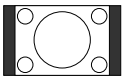
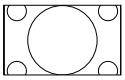
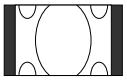
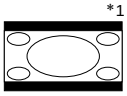
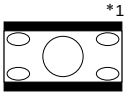
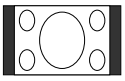
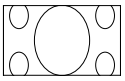
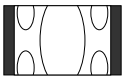
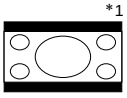
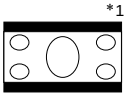
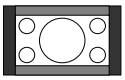
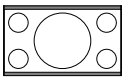
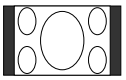
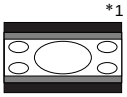
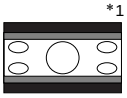
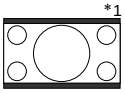
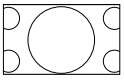
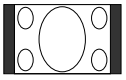
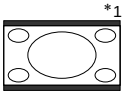
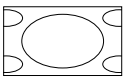
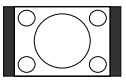
入力信号		表示イメージ			
コンピュータ	画像タイプ	標準	フル	ドットバイドット	スクイーズ
XGAまたはXGAより解像度が低い	縦横比 4:3				*1
XGAより解像度が高い				*3	
SXGA (1280×1024)	縦横比 5:4				*1
1280×720	縦横比 16:9	*1		— *2	— *2
1360×768 1366×768					
1280×768	縦横比 15:9	*1		— *2	*1
1280×800	縦横比 16:10		— *2		*1

■ : マスクされ映像がない部分
⬚ : パネルからはみ出た信号部分
*1 これらの画像でイメージシフト機能を使用できます。
*2 標準モードと同じになります。
*3 SXGA+入力の場合です。

つづく

投映のしかた（つづき）

DTV／ビデオ

入力信号		表示イメージ				
DTV/ビデオ	画像タイプ	ズーム／標準	エリアズーム	V－ストレッチ	スクイーズ	ワイド
525I、525P、625I、625P、NTSC、PAL、SECAM	縦横比 4:3				 *1	 *1
	スクイーズ				 *1	 *1
	レターボックス				 *1	 *1
750P、1125I、1125P	縦横比 16:9	 *1			—*2	—*3
	縦横比 16:9	 *1				

■：マスクされ映像がない部分
■：元の信号自体に映像がない部分
*1 これらの画像でイメージシフト機能を使用できます。
*2 標準モードと同じになります。
*3 対応していないモードです。

著作権について

- 本機のRESIZE（画面サイズ切換）機能を使うとき、テレビ番組やビデオソフトなど、オリジナル映像の画面比率と異なる画面サイズ（表示イメージ）を選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。この点にご留意の上、画面サイズ（表示イメージ）を選択してください。
- 映像を営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、RESIZE（画面サイズ切換）機能やキーストーン補正機能を利用して映像の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

投映画像を遮光する(シャッター機能)

一時的に投映画像を遮光したいときに使います。

1 SHUTTER CLOSEを押す
- 投映画像が遮光されます。

2 遮光を解除するときは、SHUTTER OPENを押す

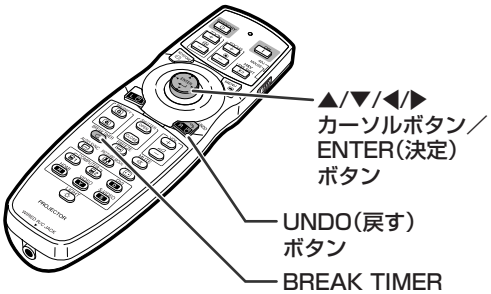
メモ
- 下記のときは、自動的に遮光が解除されます。
  - 本体またはリモコンの**STANDBY**を押したとき。
  - 警告表示、お知らせメッセージが表示されたとき。
  - 電源を入れたとき。

休憩時間を表示する

この機能は、会議中に休憩の残り時間を表示したいときに使います。

1 BREAK TIMERを押す
- 休憩時間のカウントが始まります。

2 「☕」が表示されているときに▲または▼、◀、▶を押し、休憩時間を設定する。
- 1分から60分の間で設定できます。(1分単位)
- 休憩時間は▲、▼、◀、▶を押すとすぐに秒読みを始めます。



▼表示画面

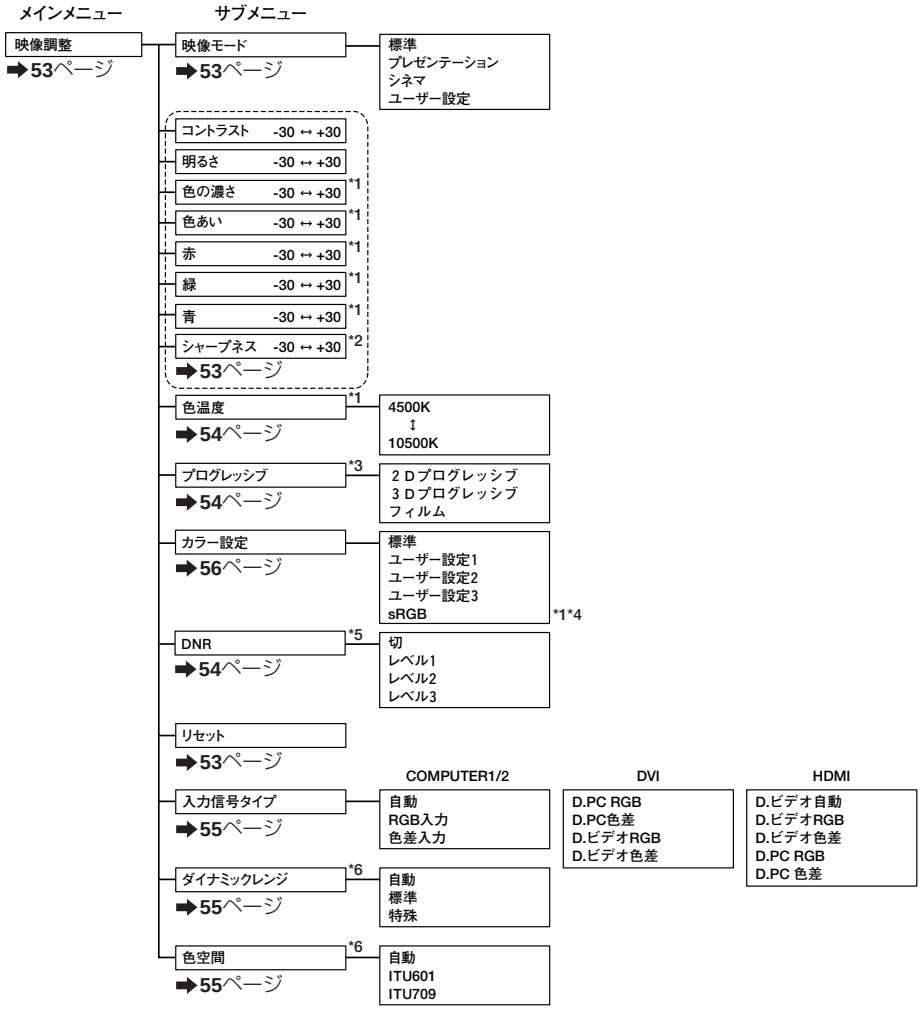
メモ
- **UNDO**を押すと休憩時間表示が解除されます。
- 休憩時間中は無信号電源オフ機能が一時無効になります。休憩終了後に無信号状態が15分続くと、電源が自動的に待機状態になります。
- 休憩時間は、オープニング画面の上に表示されます。休憩時間中に表示されている画面を変更したいときは、オープニング画面を設定し直してください。(**62**ページ)
- スタック設定(**66**ページ)で本機をスレーブに設定した場合、休憩時間は表示されません。

メニュー内容一覧

次の項目が本機で設定できます。

「映像調整」メニュー

COMPUTER1/2、DVI、HDMI



*1「カラー設定」が「sRGB」に設定されているときは、以下の項目の調整は行えません。
「色の濃さ」「色あい」「赤」「緑」「青」「色温度」

*2「シャープネス」は、480I、480P、576I、576P、720P、1035I、1080I、1080Pのいずれかの信号が入力されているときのみ設定できる項目です。

*3「プログレッシブ」は480I、576I 信号が入力されているときのみ設定できる項目です。

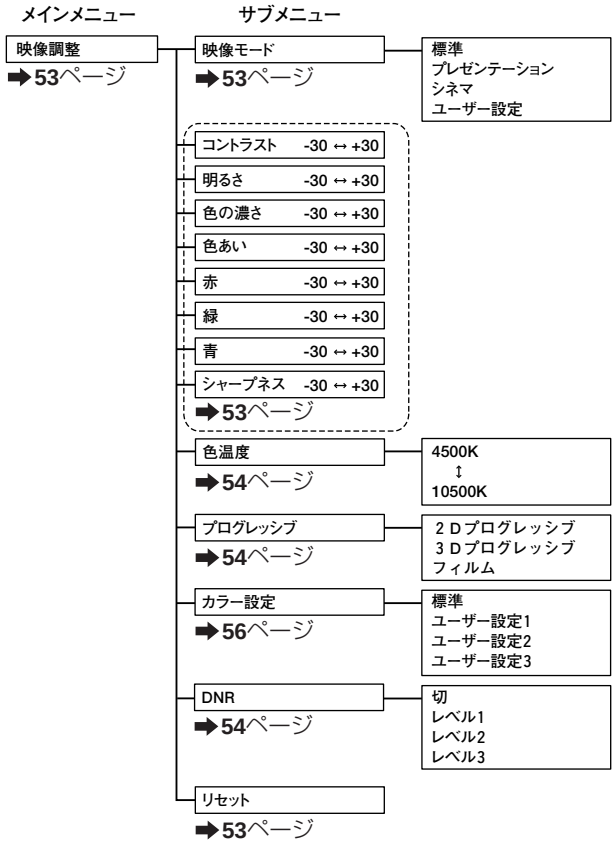
*4「sRGB」は以下のいずれかのときのみ選択できる項目です。
- 「入力信号タイプ」が「RGB入力」「D.PC RGB」「D.ビデオRGB」のいずれかに設定されている場合。
- 「入力信号タイプ」が「自動」「D.ビデオ自動」に設定されていて、かつ入力されている信号が「RGB入力」と判別された場合。

*5「DNR」は以下の信号が入力されているときのみ設定できる項目です。
480I、480P、576I、576P

*6「ダイナミックレンジ」、「色空間」はDVI、HDMI信号入力時のみ働きます。

「映像調整」メニュー

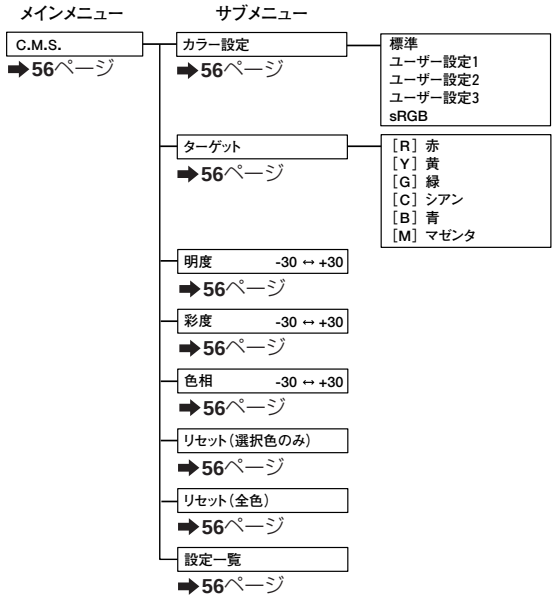
VIDEO/S-VIDEO



つづく

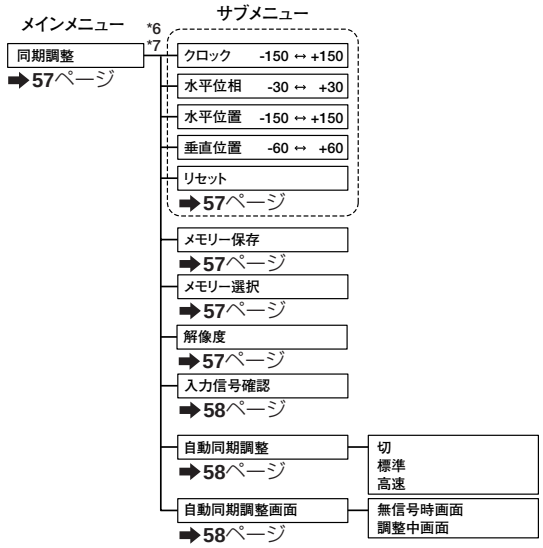
メニュー内容一覧（つづき）

「C.M.S.」メニュー



「同期調整」メニュー

COMPUTER1/2、DVI、HDMI

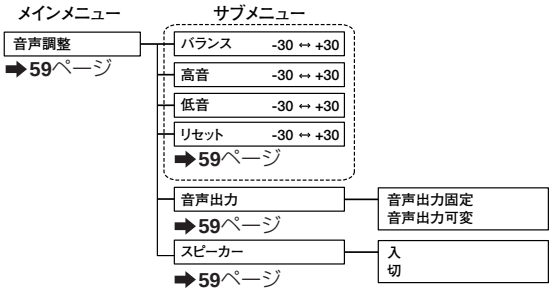


*6「同期調整」メニューは本機の入力がCOMPUTER1/2、DVI、HDMIのときのみ表示されます。

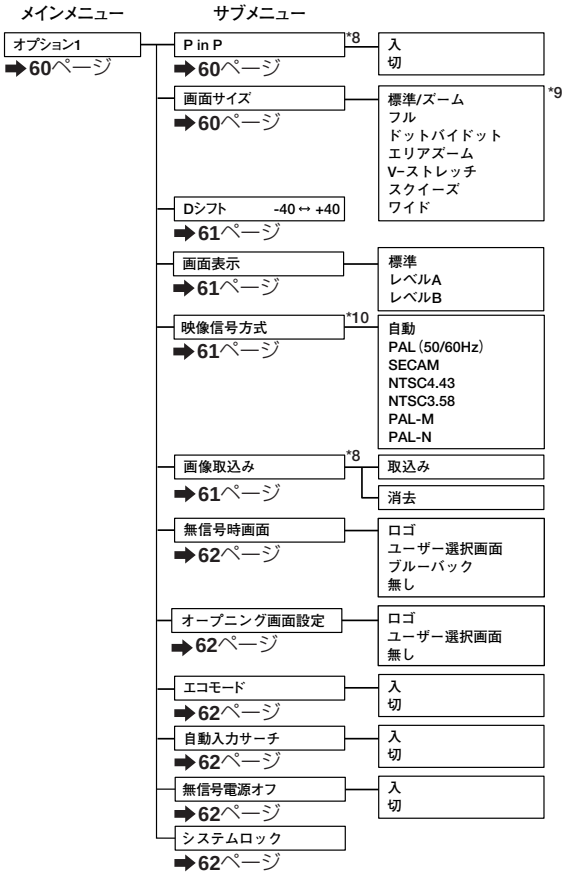
*7 以下の項目は、COMPUTER1あるいは 2 のときのみ設定できる項目です。

「クロック」「水平位相」「水平位置」「垂直位置」「リセット」
「メモリー保存」「メモリー選択」「解像度」

「音声調整」メニュー



「オプション1」メニュー



*8 COMPUTER1/2、DVIあるいはHDMIにRGB信号が入力されているときに設定できる項目です。

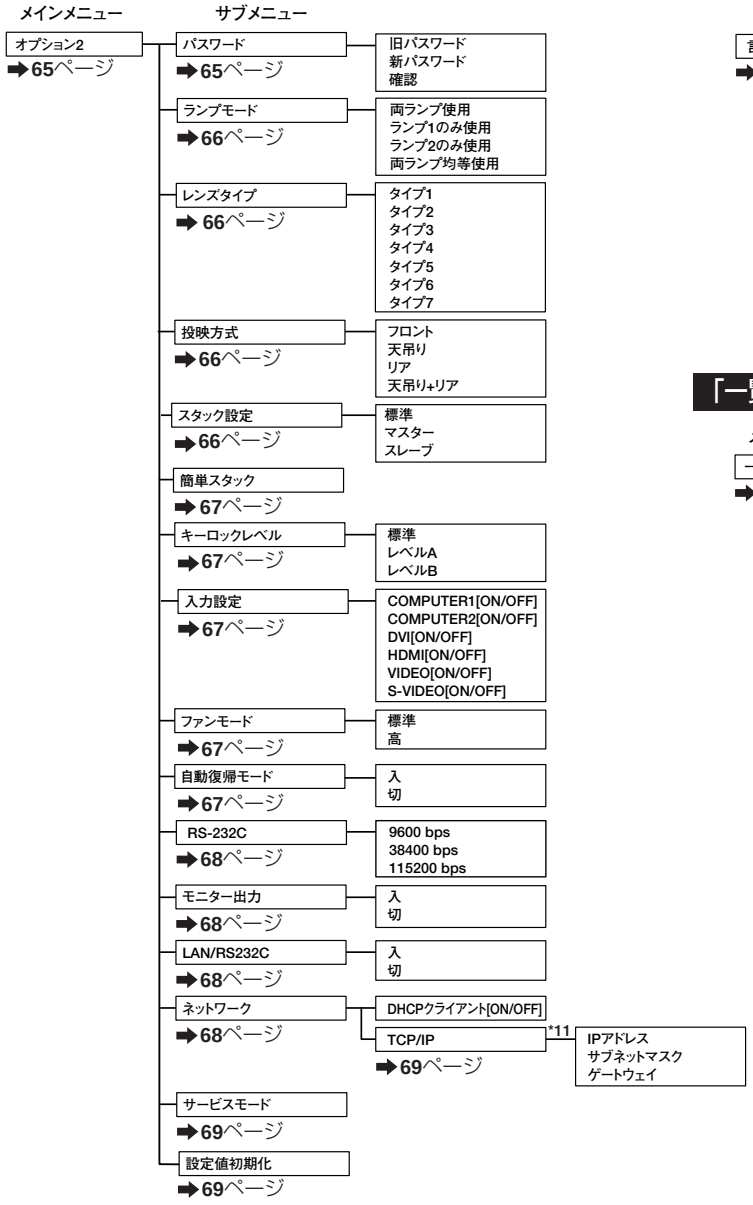
*9 画面サイズで選択できるモードは信号によって異なります。

*10 VIDEOあるいはS-VIDEOを選択しているときに設定できる項目です。

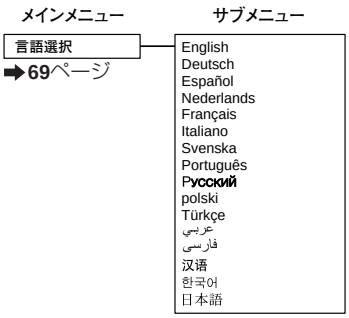
つづく

メニュー内容一覧（つづき）

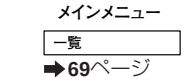
「オプション2」メニュー



「言語選択」メニュー

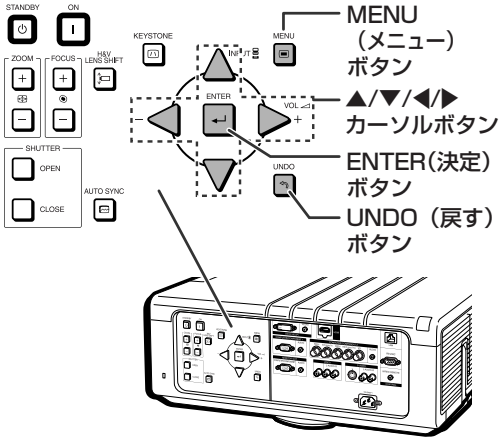


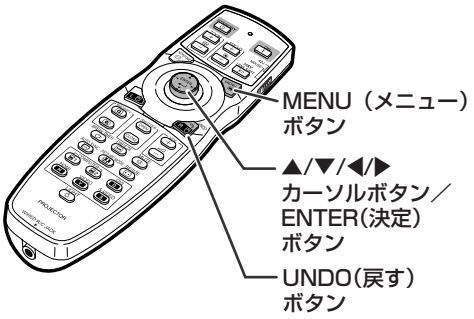
「一覧」メニュー



*11「DHCPクライアント」が「OFF」に設定されているときのみ調整可能です。

メニュー操作のしかた





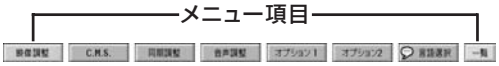
メニュー画面で調整する

• 本体のボタンを使って操作することもできます。

1 MENUを押す

• 選んでいる入力の「映像調整」メニュー画面が表示されます。

2 ◀ または▶ を押し、調整するメニュー項目を選ぶ



• メニュー項目は下記の項目があります。

メニュー項目
映像調整
C.M.S.
同期調整
音声調整
オプション 1
オプション2
言語選択
一覧

メモ

• VIDEOまたはS-VIDEOのときは「同期調整」メニュー画面は表示されません。

COMPUTER1（RGB)モードの「映像調整」メニュー画面例

つづく

メニュー操作のしかた(つづき)

メニュー項目により設定方法が異なります。例1または例2を参考に設定します。

例1:「明るさ」を調整するとき

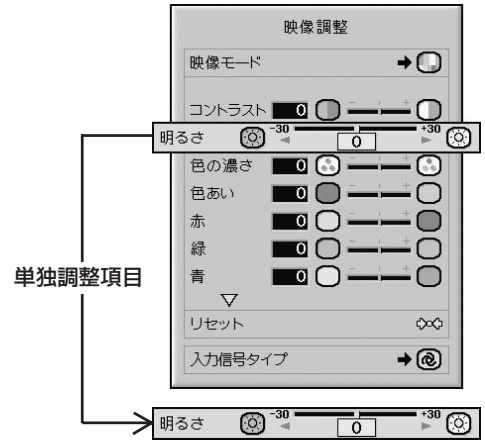
3 ▲または▼を押し、調整する項目を選ぶ

- 「映像調整」では「青」から▽を押すと残りの映像調整項目が表示されます。

投映している画像を見ながら調整したいとき

ENTERを押す

- 選んだ単独調整項目(例:「明るさ」など)だけが表示されます。
- この項目の状態で▲または▼を押すと次の項目(「明るさ」の次は「色の濃さ」)が表示されます。



メモ

- **UNDO**を押すと、前の画面に戻ります。

4 ◀または▶を押し、選んだ項目の調整(設定)をする

- 調整した内容が保存されます。

5 MENUを押す

- メニュー画面が消えます。

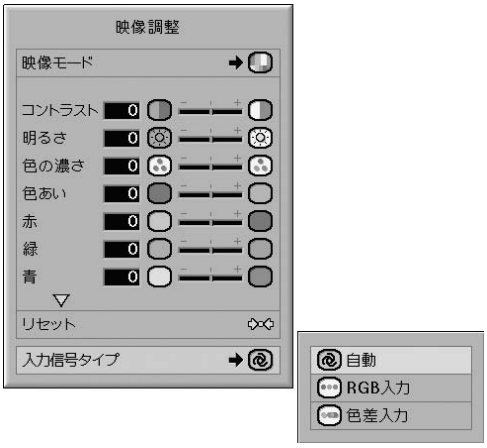
例2:「入力信号タイプ」を選択するとき

3 ▲または▼を押し、設定する項目を選びENTERを押す

4 ▲または▼を押し、選択したい項目を選びENTERを押す

5 MENUを押す

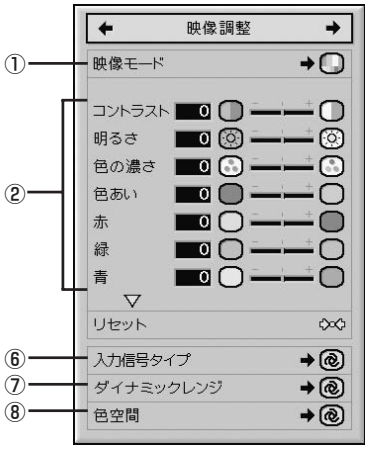
- メニュー画面が消えます。



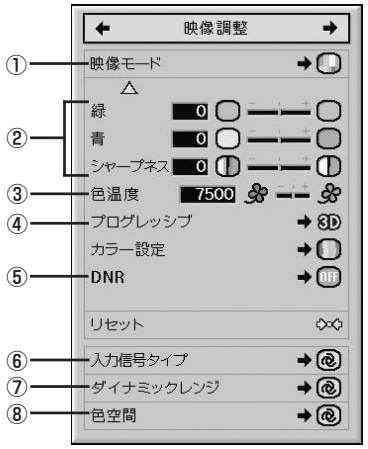
投映した映像を調整・設定する(映像調整メニュー)

操作方法 ➡51ページ参照

▶ページ1



▶ページ2



①映像モードを選ぶ

部屋の明るさや投映する画像の内容に合わせて映像モードを選ぶことができます。
また、映像モードごとに、お好みの映像に調整することができます。調整内容はそのまま記憶されます。

選択項目	内　容
標準	標準の設定です。
プレゼンテーション	明るくメリハリを効かせたいときに設定します。
シネマ	自然な色合いで投映したいときに設定します。
ユーザー設定	工場出荷状態では、「標準」と同じ映像調整値になります。 専用のソフトウェア「Sharp Gamma Manager」を使用することにより、ガンマカーブを調整することが可能です。専用ソフトウェアに関して詳しくは、弊社下記インターネットサイトを参照してください。 http://sharp-world.com/projector/

メモ

- リモコンの**PICTURE MODE**でも設定できます。（**42**ページ）

②見やすい映像に調整する

調整するときは、先に映像モードを選んでから行ってください。

調整項目	◀ボタン	▶ボタン
コントラスト	コントラストを弱くします。	コントラストを強くします。
明るさ	画像を暗くします。	画像を明るくします。
色の濃さ*1	うすい色にします。	濃い色にします。
色あい*1	紫がかった色あいにします。	緑がかった色あいにします。
赤*1	赤みを弱くします。	赤みを強くします。
緑*1	緑を弱くします。	緑を強くします。
青*1	青みを弱くします。	青みを強くします。
シャープネス*2	画像の輪郭をやわらかくします。	画像の輪郭をくっきりさせます。

*1 「C.M.S.」メニューの「カラー設定」が「sRGB」に設定されているときは、「色の濃さ」、「色あい」、「赤」、「緑」、「青」の調整は行えません。（**56**ページ）

*2 「シャープネス」は、COMPUTER1/2、DVI、HDMIに480I、480P、576I、576P、720P、1035I、1080I、1080P のいずれかのDTV信号が入力されているとき、またはVIDEOあるいはS-VIDEOを選択しているときに設定できる項目です。

メモ

- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「リセット」を選び**ENTER**を押します。

つづく

投映した映像を調整・設定する（映像調整メニュー）（つづき）

操作方法 ➡51ページ参照

③色味を変える（色温度設定）

選択項目	内　容
4500K ↕ 10500K	赤みがかった映像になります。 （温かい感じの色にしたいとき） ↕ 青みがかった映像になります。 （すっきりした感じの色にしたいとき）

メモ

- 「C.M.S.」メニューの「カラー設定」が「sRGB」に設定されているときは、色温度設定は行えません。（**56**ページ）

④プログレッシブモードを選択する

選択項目	内　容
2Dプログレッシブ	スポーツやアクション映画など、動きの速い映像を投映するのに適しています。
3Dプログレッシブ	ドラマやドキュメンタリーなど、比較的動きの遅い映像を投映するのに適しています。
フィルム	フィルムイメージ※ 映像ソフトを再生するのに適しています。

※ 24コマ/秒の映像フィルムをそのまま記録しているDVDソフトなどを再生するとき、60コマ/秒のプログレッシブ映像に変換し、高画質で再生します。

メモ

- 映像信号方式がNTSCまたはPAL60Hzの機器でフィルムイメージ映像ソフトを再生すると、「3Dプログレッシブ」に設定していても、自動的にフィルムモード機能が働きます。
- 映像がボケる、ノイズが発生するなどの場合は、最適なプログレッシブモードを選んでください。
- プログレッシブ信号を入力したときは選択できません。

⑤ドットのちらつきやノイズを軽減する（DNR）

デジタルノイズリダクション（DNR）を使うことで、微細なドットのチラツキやクロスカラーノイズを軽減できます。

選択項目	内　容
切	DNRを働かせないとき
レベル1～3	DNRのレベルを設定するとき

メモ

- 映像がもっとも見やすくなるようにレベルを設定してください。

次のような場合は「切」に設定します。

- 画像がぼやけて見えるとき
- 動きのある映像で輪郭や色が尾を引くように見えるとき
- 電波の弱いテレビ放送を投映しているとき

お知らせ

- VIDEOまたはS-VIDEOに信号が入力されているときに設定が行えます。
- COMPUTER1/2、DVI、HDMIを選んでいるときは、入力された信号が480I、480P、576I、576Pのときに DNRの設定が行えます。

操作方法 ➡51ページ参照

⑥入力信号タイプを設定する

入力がS-VIDEO入力、VIDEO入力以外の場合は、入力信号に合わせてRGBかコンポーネント（色差）を選択します。

■入力がCOMPUTER1/2入力の場合

選択項目	内　容
自動	入力されている信号がRGB信号かコンポーネント（色差）信号かを自動的に判別します。
RGB	RGB信号を入力したときに設定します。
色差	コンポーネント（色差）信号を入力したときに設定します。

■入力がDVI入力の場合

選択項目	内　容
D.PC RGB	デジタルPC RGB信号をコンピュータから入力したときに設定します。
D.PC 色差	デジタルＰＣコンポーネント（色差）信号をコンピュータから入力したときに設定します。
D.ビデオ RGB	デジタルビデオＲＧＢ信号を映像機器から入力したときに設定します。
D.ビデオ 色差	デジタルビデオコンポーネント（色差）信号を映像機器から入力したときに設定します。

■入力がHDMI入力の場合

HDMI対応機器から入力される映像信号の種類を設定します。

選択項目	内　容
D.ビデオ 自動	デジタルビデオ信号を映像機器から入力したときにRGB信号か色差（コンポーネント）信号かを自動的に判別します。
D.ビデオ RGB	デジタルビデオＲＧＢ信号を映像機器から入力したときに設定します。
D.ビデオ 色差	デジタルビデオコンポーネント（色差）信号を映像機器から入力したときに設定します。
D.PC RGB	デジタルPC RGB信号をコンピュータから入力したときに設定します。
D.PC 色差	デジタルＰＣコンポーネント（色差）信号をコンピュータから入力したときに設定します。

⑦ダイナミックレンジを設定する

DVI-DまたはHDMI映像出力機器の出力形式と、本機の入力信号形式が合っていないと最良な映像が投映されない場合があります。そのようなときにダイナミックレンジを切り換えます。

選択項目	内　容
自動	通常は自動の設定でご使用ください。
標準	映像の黒部がつぶれたり、黒部が浮き上がったりするときに、映像が最良になる方を選択します。
特殊	

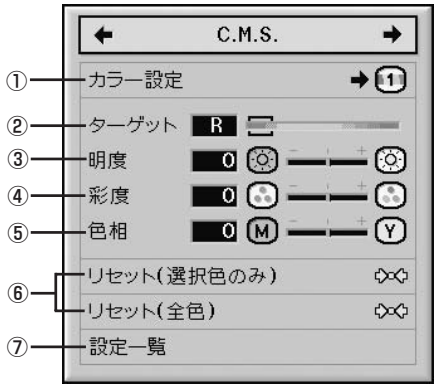
⑧色空間を設定する

DVI-DまたはHDMI対応機器から入力される信号の色空間を設定します。

選択項目	内　容
自動	通常は自動の設定でご使用ください。
ITU601	映像が最良になる方を選択します。
ITU709	

カラーマネージメント機能(C. M. S.メニュー)

操作方法 ➡51ページ参照



①カラー設定モードを選ぶ

投映画像の色あいを設定します。

選択項目	内　容
標準	標準の設定
ユーザー設定1～3	「明度」、「彩度」、「色相」を6色それぞれに調整可能
sRGB	原画像に基づいた自然な色あい

メモ

- sRGBはIEC(International Electrotechnical Commission)が規定した色再現性の国際規格です。一定の色の表現領域を定めたもので、「カラー設定」を「sRGB」に設定すると、原画像に基づいた自然な色合いで表示します。
- **「カラー設定」が「sRGB」に設定されているとき**
  - 「映像調整」メニューの「色の濃さ」、「色あい」、「赤」、「緑」、「青」、「色温度」は調整できません。
- sRGB機能についての詳しい情報は、http://www.srgb.com/を参照してください。

お知らせ

- 「カラー設定」を「sRGB」に設定すると投映画面が暗くなりますが、故障ではありません。

②ユーザー設定で6色それぞれの特性を個別に調整する対象の色を選ぶ

特性を調整する対象の色を選びます。

R	赤を選びます。	C	シアンを選びます。
Y	黄を選びます。	B	青を選びます。
G	緑を選びます。	M	マゼンタを選びます。

③対象色の明度を設定する

対象として選んだ色の明るさを設定します。

◀ボタン	▶ボタン
選んだ色を暗くします。	選んだ色を明るくします。

④対象色の彩度を設定する

対象として選んだ色の彩度を設定します。

◀ボタン	▶ボタン
選んだ色を淡くします。	選んだ色を濃くします。

⑤対象色の色相を設定する

対象として選んだ色の色相を設定します。

◀ボタン	▶ボタン
選んだ色の赤みを増します。	選んだ色の黄みを増します。

⑥色の設定をリセットする

色の設定をリセットします。

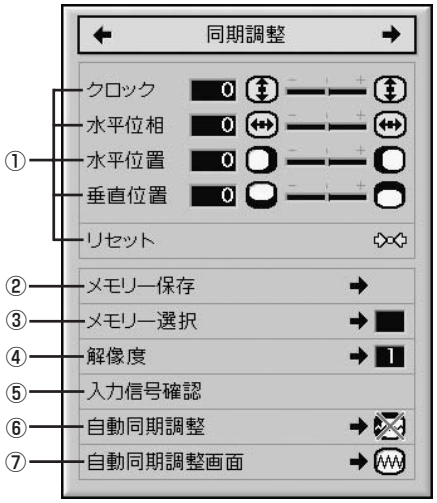
選択項目	説明
リセット(選択色のみ)	ターゲットで選択している色の「明度」、「彩度」、「色相」の設定がリセットされます。
リセット(全色)	すべての色の「明度」、「彩度」、「色相」の設定がリセットされます。

⑦色の設定値を確認する

色の設定値を確認します。

コンピュータの画面を調整・設定する（同期調整メニュー）

操作方法 ➡ 51ページ参照



①縦縞模様やチラツキを軽減する（同期調整）

縦縞模様やチラツキが気になるときは同期調整してください。

調整項目	調整内容
クロック	垂直ノイズを調整します。
水平位相	水平ノイズを調整します（トラッキング調整）。
水平位置	スクリーン上の映像を左右に移動させます。
垂直位置	スクリーン上の映像を上下に移動させます。

メモ

- コンピュータの映像は「同期調整」メニューの「自動同期調整」を「標準」または「高速」にするか、本体またはリモコンの**AUTO SYNC**を使うと、簡単に調整できます。詳細については**58**ページをご覧ください。
- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「リセット」を選び**ENTER**を押します。

②画面調整の内容を登録する

いろいろなコンピュータと接続して使用できるように、調整内容を7種類まで登録できます。

③登録した調整内容を呼び出す

プロジェクターに登録した画面調整の内容を呼び出して設定することができます。

メモ

- メモリー番号を設定しなければ、解像度と垂直周波数は表示されません。
- 「メモリー選択」項目で、すでに登録済みの調整内容を呼び出すと、プロジェクターを登録済みの調整内容に設定できます。

④入力信号に合わせた解像度を選ぶ

通常、入力信号の種類が判別されると、自動的に正しい解像度モードが選択されますが、信号の種類によっては、コンピュータの表示モードに合わせる設定を行う必要があります。

メモ

- コンピュータの1ラインおきに繰り返されるパターン（水平方向の縞模様）を表示させると、チラツキがおこり、画面が見にくくなる場合があります。
- 現在選択されている入力信号の情報を確認する場合は、「入力信号の情報を確認する（入力信号確認）」（**58**ページ）をご覧ください。

つづく

コンピュータの画面を調整・設定する（同期調整メニュー）（つづき）

操作方法 ➡51ページ参照

⑤入力信号の情報を確認する（入力信号確認）

現在設定されている入力信号の情報を確認できます。

⑥コンピュータの画面を自動調整する（自動同期調整機能）

選択項目	内　容
切	自動同期調整を行いません。
標準	プロジェクターがコンピュータに接続されている状態で、プロジェクターの電源を入れたときや、入力を切り換えたときに、自動的に同期調整を行います。「標準」は「高速」に比べて、正確に同期調整を行います。そのため、同期調整の時間が若干長くかかります。
高速	

メモ

- 自動同期調整は本体またはリモコンの**AUTO SYNC**を使って行うこともできます。
- 自動同期調整は投映するコンピュータの映像によっては時間がかかる場合があります。
- 自動同期調整を行っても、お客様の意図した映像にならない場合は、手動で同期調整（**57**ページ）を行ってください。
- 自動同期調整を「高速」または「切」に設定しているとき**AUTO SYNC**を押すと、高速モードで自動調整を行います。1 分以内に再度押すと、標準モードで自動調整を行います。

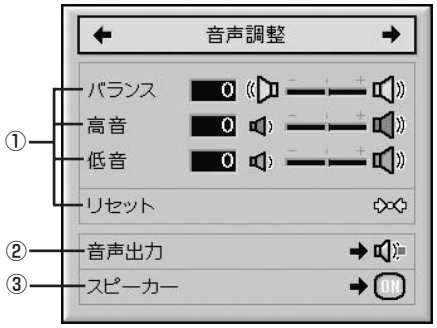
⑦自動同期調整時の画面表示機能

自動同期調整中に表示される画面を設定します。

選択項目	内　容
無信号時画面	無信号時画面で設定されている画面が投映されます。（**62**ページ参照）
調整中画面	調整中のコンピュータ画面が表示されます。

出力した音声を調整・設定する(音声調整メニュー)

操作方法 ➡51ページ参照



①音声を調整する

お好みの音声に調整することができます。

選択項目	◀ボタン	▶ボタン
バランス	左側のスピーカーからの音量が大きくなる。	右側のスピーカーからの音量が大きくなる。
高音	高音が弱くなる。	高音が強くなる。
低音	低音が弱くなる。	低音が強くなる。

メモ

- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「リセット」を選び**ENTER**を押します。

②音声出力を設定する(音声出力設定)

AUDIO OUTPUT(音声出力)端子から出力される音声レベルを固定するか、VOLUME(音声)に連動して可変させるかを設定します。

選択項目	内　容
音声出力固定	入力された音声信号をそのまま出力します。
音声出力可変	本機の音量調整に連動して、出力される音声信号が可変します。

お知らせ

- 音声出力を「音声出力可変」に設定したときは、本機の音量を最小にしてから、電源の入／切、入力切換を行ってください。

メモ

オーディオ機器と接続したとき

- オーディオ機器と本体を接続したときは、音声出力固定にすることをおすすめします。音声信号をそのまま出力しますので、より良い音質で楽しむことができます。
- 音声出力固定を選択したときは、音声と映像が多少ずれる場合があります。
  - ディレイタイム設定機能のあるオーディオ機器と接続したときは、最適になるようにディレイタイムを設定してください。
  - ディレイタイム設定機能のないオーディオ機器などに接続したとき、映像と音声のずれが気になる場合は、音声出力可変に設定してください。映像と音声のずれを自動補正します。
- スタンバイ状態のとき、HDMIの音声はMONITOR OUTのAUDIO端子から出力されません。

③内蔵スピーカーの入／切を設定する(スピーカー設定)

外部アンプと本機を接続した場合など、内蔵スピーカーの音声を「入」にするか、「切」にするかを設定します。

選択項目	内　容
入	内蔵スピーカーから音声が出ます。
切	内蔵スピーカーから音声が出なくなります。

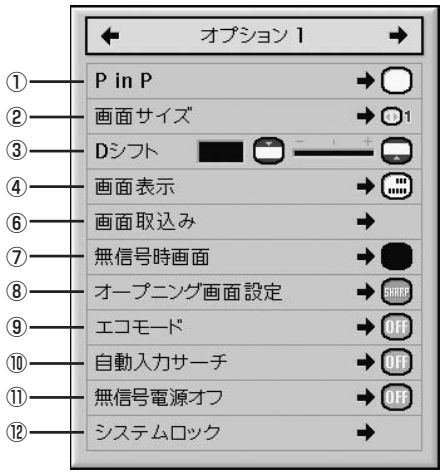
メモ

- スタンバイ状態のとき、HDMIの音声はMONITOR OUTのAUDIO端子から出力されません。

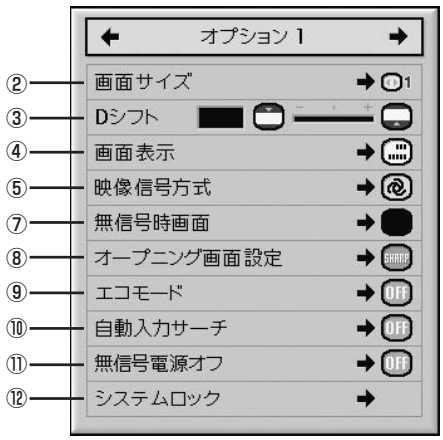
本機を楽しむための設定をする(オプション1メニュー)

操作方法 ➡51ページ参照

COMPUTER1/2、DVI、HDMI



VIDEO、S-VIDEO



①2つの画像を表示する(P in P)

同一の画面に2つの画像を表示することができます。COMPUTER1/2、DVI、HDMIから入力された画像の中に、VIDEOあるいはS-VIDEOから入力された画像を子画面として表示します。

メモ

- 子画面の位置は、本体またはリモコンの▲/▼/◀/▶で移動できます。
  (子画面表示枠が表示されますので、子画面を表示させたい位置まで枠を移動し、本体またはリモコンの**ENTER**を押してください。)
- P in Pが「入」のときは、本体の**INPUT**(▲/▼)および**VOL**(◀/▶)は子画面の位置移動ボタンになります。
- 子画面用の信号は、NTSC／PAL／SECAMのコンポジット信号とS映像信号です。
- 子画面の音声はプロジェクターのスピーカーから出力されます。
- P in P機能が働いている間は、静止画機能は子画面に対してのみ使用できます。
- 親画面に入力されている信号が次のような場合、P in P機能は働きません。
  - 入力信号がUXGA、SXGA+、WXGA(1360×768、1366×768)の場合
  - 入力信号が480I、480P、576I、576P、720P、1035I、1080I、1080Pの場合
  - 入力信号がRGB信号で、インターレースのモードになっている場合
  - 画面サイズがドットバイドットの場合
  - COMPUTER1/2、DVI、HDMIの信号が無信号になったときや、解像度、リフレッシュレート(垂直周波数)が変更された場合

②入力信号の種類によって、画像の表示を切り換える

(画面サイズ設定)

入力された信号の種類に合わせて、画面サイズを切り換えることができます。

コンピュータ信号入力時	DTV/ビデオ信号入力時	HDTV信号入力時
標準	ズーム	標準
フル	エリアズーム	エリアズーム
ドットバイドット	V-ストレッチ	V-ストレッチ
スクイーズ	スクイーズ	
	ワイド	

メモ

- 画面サイズについて詳しくは、**43**～**44**ページをご覧ください。
- 画面サイズはリモコンの**RESIZE**でも設定できます。(**43**ページ)

③映像を上下にシフトする（デジタルシフト）

映像全体を上下にシフトすることができます。DVDやデジタルテレビからの映像（16：9）を投映するときに便利です。

◀ボタン	▶ボタン
映像の位置が下がります。	映像の位置が上がります。

メモ

- 画面サイズの種類によっては、この機能は働きません。詳しくは**43**、**44**ページをご覧ください。

④画面に表示されている情報を消す（画面表示）

この機能を使うと、画面の表示を消すことができます。

選択項目	内　容
標準	画面表示のすべてが表示されます。
レベルA	入力モード表示、音量表示、ミュート表示、静止画表示、自動同期調整表示、拡大表示、「無効なボタンが押されました。」は表示されません。
レベルB	メニュー、H&Vレンズシフト、キーストーン、フォーカス、ズーム、「キーロック中です。」および警告用メッセージ以外は表示されません。

メモ

- 「キーロックレベル」が「レベルA」または「レベルB」に設定されている状態で**STANDBY**が押された場合は、「画面表示」の設定にかかわらず「キーロック中です。」が表示されます。

⑤VIDEO、S-VIDEO端子に接続した機器の映像信号方式を設定する（映像信号方式設定）

映像信号方式は工場出荷時、「自動」に設定されています。しかし「自動」では映像信号方式の違いにより、接続したAV機器の映像が鮮明に投映できない場合があります。そのようなときは、映像信号方式を切り換えてください。

選択項目	内　容
PAL (50/60 Hz)	PAL方式の映像機器を接続したとき
SECAM	SECAM方式の映像機器を接続したとき
NTSC4.43	PAL方式の機器でNTSCの方式の映像を再生したとき
NTSC3.58	NTSC方式の映像機器を接続したとき

メモ

- 映像信号方式は、COMPUTER1/2、DVI、HDMIモードでは設定できません。
- 「映像信号方式」が「自動」に設定されている場合は、信号の違いによって鮮明な映像が得られない場合があります。その場合は、「映像信号方式」をそれぞれの入力信号に切り換えてください。
- 「映像信号方式」が「自動」に設定されている場合は、PAL-M/PAL-N信号が入力されても、PAL表示になります。

⑥投映画像を取り込む（画像取込み）

COMPUTER1/2、DVI、HDMIに接続した機器の投映画像（RGB信号）を本機に取り込み、「ユーザー設定画面」として無信号時画面やオープニング画面として設定することができます。

メモ

- 取り込める画像は、COMPUTER1/2、DVI、HDMIモードのWXGA（1280×800）ノンインターレース信号で、「画面サイズ」が「標準」のときだけです。
- 取り込んだ画像は256色に減色処理されます。
- VIDEO、S-VIDEOに接続した機器の画像は取り込めません。
- 取り込める画像は1枚だけです。
- カラーマネージメント機能を使って調整された画像を取り込むと、保存の前と後で画像の色が変わることがあります。
- 取り込んだ画像を消去するときは、サブメニュー「消去」を選び、**ENTER**を押してください。

本機を楽しむための設定をする(オプション1 メニュー)(つづき)

操作方法 ➡51ページ参照

⑦無信号時に投映する画面を設定する(無信号時画面設定)

選択項目	内　容
ロゴ	ロゴ画面
ユーザー選択画面	ユーザー設定画面 (例:会社のシンボルマークなど)
ブルーバック	青い画面
無し	黒い画面

メモ

- 「ユーザー選択画面」を選ぶと、「画面取込み」で取り込んだ画像を無信号時画面として表示できます。

⑧オープニング時に投映する画面を設定する (オープニング画面設定)

選択項目	内　容
ロゴ	ロゴ画面
ユーザー選択画面	ユーザー設定画面 (例:会社のシンボルマークなど)
無し	入力信号

メモ

- 「ユーザー選択画面」を選ぶと、「画面取込み」で取り込んだ画像をオープニング画面として表示できます。

⑨消費電力を低減する (エコモード設定)

2灯同時点灯で使用している時

選択項目	輝度	消費電力(AC100Vのとき)	ランプ寿命
入	約77%	82%	約3,000時間
切	100%	100%	約2,000時間

メモ

- 「入」を選択すると、「切」と比べて、消費電力が低減すると同時にランプ寿命が長くなります。(投映画面の輝度も約23%低減します。)
- 本機のランプ寿命は使用状況によって変わることがあります。

⑩入力信号を自動的に検出する (自動入力サーチ)

選択項目	内　容
入	電源起動時に入力されている信号を自動的に検出し、画像を表示します。
切	電源起動時に自動入力サーチを行いません。

メモ

- 「自動入力サーチ」の実行中に本体やリモコンのボタンを押すと、サーチを中止します。サーチ動作が完全に終わってから、目的の操作ボタンを押してください。

⑪無信号状態が続くときに電源を自動的に待機状態にする (無信号電源オフ機能)

選択項目	内　容
入	15分以上入力信号が検出されないと、プロジェクターは自動的に待機状態になります。
切	無信号状態が15分以上続いても、電源「入」の状態を保持します。

メモ

- 無信号電源オフ機能が「入」に設定されているときは、待機状態になる5分前になると、1分ごとに「●分後に待機状態」の表示がでます。

⑫プロジェクターを不正に使用できないようにする (システムロック設定)

システムロックとは、キーコード(暗証ボタン)を設定することにより、本機を不正に使用できないようにするための機能です。システムロックを解除するには、設定したキーコードを入力します。**設定したキーコードは必ずメモしてください。**

お知らせ

- キーコードを忘れてしまった場合はお客様自身でのリセットができませんので、設定したキーコードは、必ずメモしてください。システムロックのリセットは保証期間内であっても有料修理となります。詳しくは修理相談センター(**84**ページ)にご相談ください。

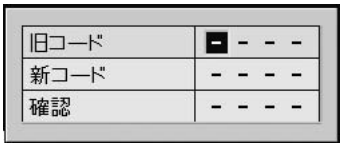
キーコードを設定する

1 「オプション1」メニューの「システムロック」を選び、▶を押す

- メッセージが表示されます。
- メッセージをお読みになり、**ENTER**を押してください。

2 本体またはリモコンのボタンを押し、「旧コード」の欄に設定済みの4つのキーコードを入力する

- はじめて設定するときは、本体の▼ボタンを4回押してください。



メモ

- 誤ったキーコードを入力すると、「旧コード」入力行のはじめに戻ります。
- 本機はあらかじめ本体の▼ボタン4つがキーコードとして設定されています。本体の▼ボタン4つは、電源を入れたときにキーコード入力画面を表示させないようにするキーコードです。

3 本体またはリモコンのボタンを押し、「新コード」の欄に新しい4つのキーコードを入力する

メモ

- 次のボタンはキーコードとして設定することができません。
  ON、STANDBY、ENTER、L-CLICK、R-CLICK/UNDO、MENU、ZOOM FOCUS、H&V LENS SHIFT
- リモコンと本体のボタンは、同じ名称のボタンでも別のボタンとして認識されます。本体のボタンをキーコードに設定した場合は、本体のボタンを押します。リモコンのボタンをキーコードに設定した場合は、リモコンのボタンを押します。

4 確認欄にもう一度同じキーコードを入力する

メモ

電源を入れたときにキーコード入力画面を表示させたくないとき

- 手順**3**と**4**で本体の▼を4回押してください。

システムロックが設定されているとき

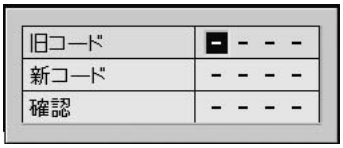
- 「システムロック」が設定されているときは、電源を入れた後にキーコード入力欄が表示されるので、正しいキーコードを入力してください。キーコードを入力しないと、プロジェクターに信号を入力しても画像は投映されません。

つづく

本機を楽しむための設定をする(オプション1 メニュー)(つづき)

キーコードを変更する

キーコードを変更したいときには、以下の手順で変更する



1 リモコンまたは本体のボタンを押して、「旧コード」の欄に設定済みの4つのキーコードを入力する

2 リモコンまたは本体のボタンを押して、新しいキーコードを入力する

3 確認欄にもう一度同じキーコードを入力する

システムロックを設定したとき

システムロックを設定したときは、キーコードを入力し、以下の手順で解除する

▼キーコード入力画面

メモ

- システムロックを設定したときは、電源を入れた後、キーコード入力画面が表示されます。
- キーコードを入力しないと、プロジェクターに信号を入力しても画像は投映されません。

1 リモコンまたは本体のONを押して、電源を入れる

2 キーコード入力画面が表示されたら、設定したキーコードを入力する

メモ

- キーコードは、本体のボタンとリモコンのボタンを区別して扱います。本体のボタンでシステムロックを設定した場合は本体のボタンで、リモコンのボタンで設定した場合はリモコンのボタンでキーコードを入力してください。

設置時に設定しておくと便利な機能（オプション2メニュー）

操作方法 ➡51ページ参照

①「オプション2」メニューを有効にするためにパスワードを設定する(パスワード設定)

- パスワードは、「オプション2」メニューを有効にするための4桁の数字です。
- 工場出荷時は、パスワードが未設定の状態のため、「オプション2」メニューは操作できるようになっています。
- 「オプション2」メニューを他の人に操作されたくないときは、パスワードの設定をしてください。

1 「オプション2」メニューの「パスワード」を選び、▶を押す

- パスワード入力画面になります。

2 ▲または▼を押し、パスワード番号の1桁目の数字を選び▶を押す

3 同様に残りの3桁を入力し、ENTERを押す

4 確認欄にもう一度同じ数字を入力し、ENTERを押す

お知らせ

- 「オプション2」メニューを使うときに、パスワードを設定している場合は、パスワードの入力が必要です。

パスワードを変更する

1 ▼、▲または▶を使って、「旧パスワード」の欄に設定済みのパスワードを4桁入力し、ENTERを押す

2 新しいパスワードを▼、▲または▶を使って入力し、ENTERを押す

3 確認欄にもう一度同じパスワード4桁を入力し、ENTERを押す

メモ

- パスワードを未設定状態にしたいときは、手順**2**と手順**3**でパスワードを入力しないで**ENTER**を押してください。
- 設定を途中で止めるときは、**UNDO**を押します。

パスワードを忘れてしまったら

もしパスワードを忘れてしまったら、次の方法でパスワードを解除してください。パスワードを解除した後、あらためてパスワードを設定してください。

本体のボタン

ON → ENTER → ON → ENTER → ON → ENTER → MENU

を順に押す

つづく

設置時に設定しておくと便利な機能（オプション2メニュー）（つづき）

操作方法 ➡51ページ参照

②ランプモードを設定する（ランプモード設定）

プロジェクターには2つのランプが搭載されています。これら2つのランプの使いかたを選ぶことができます。

選択項目	内　容
両ランプ使用	両方のランプを同時に使うことで、より明るい投映にします。
ランプ1のみ使用	ランプ1のみを使います。 ランプ1が切れたら、自動でランプ2に切り換えます。
ランプ2のみ使用	ランプ2のみを使います。 ランプ2が切れたら、ランプ1に自動で切り換えます。
両ランプ均等使用	両ランプを一定間隔で交互に一灯ずつ使います。

③レンズタイプを選択する（レンズタイプ設定）

レンズ交換をした場合、レンズタイプを設定する必要があります。下表に従い、装着レンズに応じてタイプを選択してください。

選択項目	装着レンズ
タイプ1	AN-P8EX
タイプ2	AN-P12EX
タイプ3	AN-P15EZ
タイプ4	AN-P18EZ
タイプ5	AN-P23EZ
タイプ6	AN-P30EZ
タイプ7	AN-P45EZ

お知らせ

- 正しいタイプを選択しないと、レンズシフト機能やキーストーン機能などが正しく動作しません。

メモ

- レンズタイプを変更したときは、キーストーン補正の「4点補正」、「H&Vキーストーン」、「イメージリサイズ」がリセットされます。

④投映環境に合わせた投映方式を選択する（投映方式設定）

本機は投映する環境に合わせて映像を左右／上下反転する機能を備えていますので、いろいろな対応が可能です。

選択項目	内　容
フロント	通常映像
天吊り	上下反転された映像
リア	左右反転された映像
天吊り+リア	左右／上下反転された映像

メモ

- この機能はプロジェクターをスクリーンの後ろから投映したり、天井に取り付けて投映する場合に設定します。（**27**ページ）

⑤複数のプロジェクターを一括制御する（スタック設定）

スタック投映やビデオウォール投映をするときに、1つのリモコンで複数のプロジェクターを一括コントロールすることができます。この機能を使用するときは、複数のプロジェクターをLANケーブルで接続し、1台をマスター（親機）、その他をスレーブ（子機）として割り当てます。LANケーブルの接続については**31**ページをご覧ください。

選択項目	内　容
標準	スタック設定を行いません。
マスター	マスター（親機）として設定します。
スレーブ	スレーブ（子機）として設定します。

メモ

- 複数のプロジェクターを一括コントロールするときは、上記の設定のほかにWebブラウザ経由での設定が必要です。設定や接続方法の詳細については、同梱のCD-ROMに収録の「セットアップ説明書」をご覧ください。
- 2台のみのプロジェクターを一括コントロールするときは、「簡単スタック」を使用することにより、Webブラウザ経由での設定が不要になります。（**67**ページ）
- スレーブ側に設定したプロジェクターはリモコンで操作できません。リモコン操作したいときは、ワイヤード接続で操作してください。（**21**ページ）

⑥ 2台のプロジェクターでスタック投映するための設定を簡単に行う(簡単スタック設定)

スタック投映を行うとき、通常はWebブラウザ経由でネットワークを設定する必要があります。2台のプロジェクターでスタック投映するときのみ、Webブラウザを利用せずに簡単に設定することができます。

メモ

- 「スタック設定」で「マスター」または「スレーブ」をあらかじめ設定してください。

1 「オプション2」メニューの「簡単スタック」を選び、ENTERを押す

- 確認画面が表示されます。

2 「OK」を選択し、ENTERを押す

- プロジェクターのネットワーク設定が以下のように変更されます。

	マスター	スレーブ
IPアドレス	192.168.150.2	192.168.150.3
サブネットマスク	255.255.255.0	255.255.255.0
DHCP クライアント	OFF	OFF
ゲートウェイ	0.0.0.0	0.0.0.0
ユーザー名	(クリアされます)	(クリアされます)
パスワード	(クリアされます)	(クリアされます)
データポート	10002	10002

⑦ プロジェクターの操作ボタンをロックする(キーロック)

本体のボタンをロックすることができます。

選択項目	内　容
標準	すべてのボタンが機能します。
レベルA	入力切換、音量以外のボタンがロックされます。
レベルB	すべてのボタンがロックされます。

⑧ 使わない入力モードをスキップする(入力設定)

使わない入力モードをスキップ設定することで、自動入力サーチを行ったときに、その入力モードを飛ばすことができます。

選択項目		内　容
COMPUTER 1 COMPUTER 2 DVI HDMI VIDEO S-VIDEO	ON	各入力の選択を有効にします。
	OFF	各入力の選択を無効にします。

⑨ ファンモードを設定する

ファンの回転速度を設定します。

選択項目	内　容
標準	標準的な環境に適しています。
高	標高約1500m以上でご使用になるときに設定します。

メモ

- 「ファンモード」を「高」に設定したときは、ファンの回転速度が速くなるためファン音が大きくなります。

⑩ 自動復帰モード

電源コードをコンセントに差し込む、ブレーカーをONにするなど、通電させたときに、自動的に本機の電源を入れることができます。

選択項目	内　容
入	プロジェクター電源オン状態で電源コードをコンセントから抜いたとき、あるいはブレーカーを切った場合、再び電源コードをコンセントに差し込む、またはブレーカーを入れたときにプロジェクターが自動的に起動します。
切	コンセントに電源コードを差し込んだりブレーカーを入れたりしても、プロジェクターが自動的に起動することはありません。

つづく

設置時に設定しておくと便利な機能（オプション2メニュー）（つづき）

操作方法 ➡51ページ参照

⑪RS-232Cの通信速度を設定する（RS-232C設定）

プロジェクターとコンピュータの通信速度は同じ速度に合わせてください。

選択項目	内　容
9600bps	通信速度が遅い ↕ 通信速度が速い
38400bps	
115200bps	

メモ

- 詳細については、同梱のCD-ROMに収録の「セットアップ説明書」をご覧ください。
- コンピュータの通信速度の設定はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

⑫電源が待機状態時の消費電力をおさえる（モニター出力設定）

モニター出力が「入」に設定されていると、電源が待機状態でもモニター出力が働き、電力を消費します。モニターを接続していないときは「切」に設定することをおすすめします。電源が待機状態のときの消費電力を減らすことができます。

選択項目	内　容
入	電源が待機状態時でも、モニター出力機能が働きます。
切	電源が待機状態時には、モニター出力機能をオフにします。

⑬電源が待機状態時の消費電力をおさえる（LAN/RS232C設定）

LAN/RS232Cが「入」に設定されていると、電源が待機状態でもLAN/RS232C機能が働き、電力を消費します。LAN/RS232Cを使用していないときは「切」に設定することをおすすめします。電源が待機状態のときの消費電力を減らすことができます。

選択項目	内　容
入	電源が待機状態時でも、LAN/RS232C機能が働きます。
切	電源が待機状態時には、LAN/RS232C機能をオフにします。

メモ

- LAN/RS232Cで本機を制御する場合には、「入」に設定してください。
- 「LAN/RS232C」設定は、「スタック設定」（**66**ページ）が「標準」のときに設定できる項目です。（「スタック設定」が「マスター」または「スレーブ」に設定されているときは、「入」に設定されます。）

⑭DHCPクライアント設定

プロジェクターの電源を入れる前にLANケーブルを接続しないと、この機能は働きません。

選択項目	内　容
ON	TCP/IPネットワークの設定パラメータを自動的に取得します。
OFF	TCP/IPを手動で設定します。

メモ

- 「DHCPクライアント」を「ON」にすると、「IPアドレス取得中」というメッセージが表示され、続いて「ネットワークの設定を変更しました。」のメッセージとIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを表示します。
- DHCPサーバーと接続できなかったときは、「IPアドレスを取得できませんでした。」というメッセージが表示されます。この場合、手動でTCP/IP設定を行ってください（次の項目「TCP/IP設定」を参照）。

設置時に設定しておくと便利な機能（オプション2メニュー）（つづき）／その他の機能（言語選択メニュー／一覧メニュー）

操作方法 ➡51ページ参照

⑮TCP/IP設定

TCP/IPを手動で設定します。

1 **「TCP/IP」を選択し、ENTERを押す**

2 **▲、または▼、◀、▶を使って「IPアドレス」を入力し、ENTERを押す**

TCP/IP

IPアドレス	192.168.150.002
サブネットマスク	255.255.255.000
ゲートウェイ	000.000.000.000

3 **▲、または▼、◀、▶を使って「サブネットマスク」を入力し、ENTERを押す**

4 **▲、または▼、◀、▶を使って「ゲートウェイ」を入力し、ENTERを押す**

選択項目	内　容
IPアドレス	出荷設定値:192.168.150.002 ネットワークに適したIPアドレスを入力します。
サブネットマスク	出荷設定値:255.255.255.000 コンピュータやネットワーク上の機器と同じサブネットマスクを設定します。
ゲートウェイ	出荷設定値:000.000.000.000 *使用しない場合は「000.000.000.000」に設定してください。

メモ

- TCP/IPを設定する前に、「DHCPクライアント」を「OFF」にしてください。
- 使用しているネットワークのセグメント（IPアドレスのグループ）をご確認の上、他のネットワーク機器やコンピュータのIPアドレスと重複しないように設定してください。IPアドレス「192.168.150.XXX」のネットワークにて、「192.168.150.2」が未使用の場合は、本機のIPアドレスを変更する必要はありません。
- 各設定値について詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。

⑯プロジェクター修理時に使う設定（サービスモード）

サービスモードは、サービスマンまたは設置業者が使用するメニューです。お客様は、選択しないでください。

⑰設定値を工場出荷状態に戻す

この機能を使って、設定内容を初期化することができます。

メモ

ネットワーク設定について

「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」、その他のネットワーク設定項目も初期化されます。

次の項目は初期化されません。

- **「C.M.S.」（カラーマネージメント）メニュー**
  - 「C.M.S.」メニューのユーザー設定1～3に個別に保存された「明度」、「彩度」、「色相」
- **「同期調整」メニュー**
  - 解像度
- **「オプション1」メニュー**
  - システムロック
- **「オプション2」メニュー**
  - レンズタイプ
- **「言語選択」メニュー**
- **画像取り込みした画像**
- **ランプ時間（残率）**

画面に表示する言語を選択する（言語選択）

本機は表示画面の言語として16言語を切り換えることができます。

調整内容やランプ残時間を一覧で確認する（一覧）

調整した設定内容すべてを一覧で確認することができます。

メモ

- ランプは、ランプ残率が5%（エコモード「入」時:約150時間／エコモード「切」時:約100時間）で交換することをおすすめします。
- 本機のランプ寿命は、使用状況によって変わることがあります。

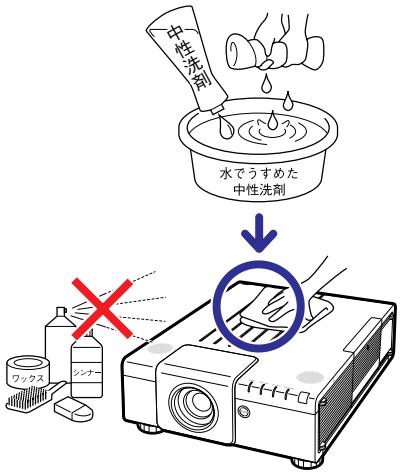
お手入れのしかた

キャビネットのお手入れのしかた

■ キャビネットをお手入れするときは、必ず電源コードを抜いて行ってください。

■ キャビネットや操作パネル部分はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふくと変質したり、塗料がはげることがありますのでご使用にならないでください。

■ 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
プラスチックのなかに含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。



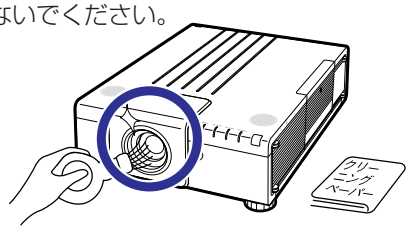
■ 汚れはネルなど柔らかい布で軽くふきとってください。

■ 汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
強力な洗剤を使用した場合、変色、変質、塗料がはげる場合があります。目立たない場所で試してから、お手入れすることをおすすめします。

レンズのお手入れのしかた

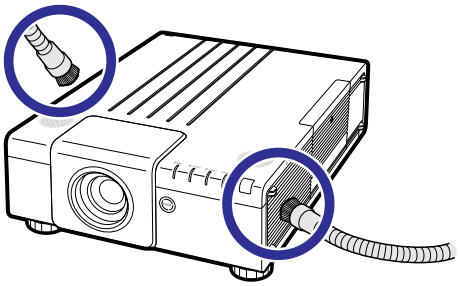
■ レンズの清掃は、市販のブロワーやレンズクリーニングペーパー(メガネやカメラなどの清掃に使用)で行ってください。この際、液状のクリーニング剤は使用しないでください。表面のコーティング膜がはがれる原因となります。

■ 表面は傷つきやすいのでこすったり、たたいたりしないでください。



排気孔や吸気孔のお手入れのしかた

■ 排気孔や吸気孔の清掃は、掃除機でゴミ、ホコリを吸い取ってください。



お知らせ

- プロジェクターの動作中に通風孔の掃除を行う場合は、本体またはリモコンの**STANDBY**を押して電源を待機状態にした後、冷却ファンが止まってから、電源プラグを本機から抜いて行ってください。

ダストフィルターのお手入れと交換について

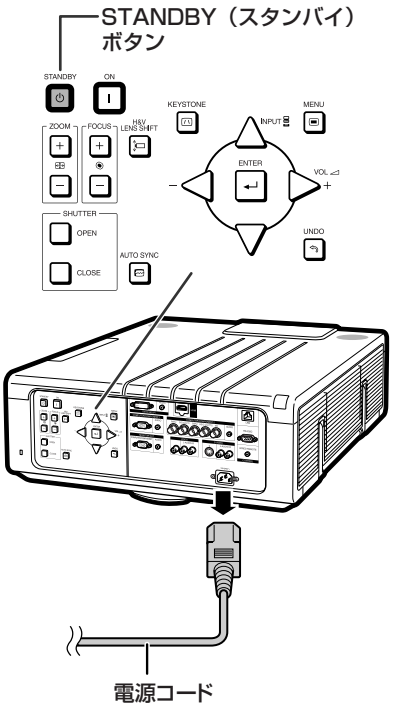
ダストフィルターのお手入れ

お知らせ

- ダストフィルターの清掃は、100時間ごとに行ってください。ホコリ、煙が多いところでご使用になるときは、それ以上に清掃を行ってください。

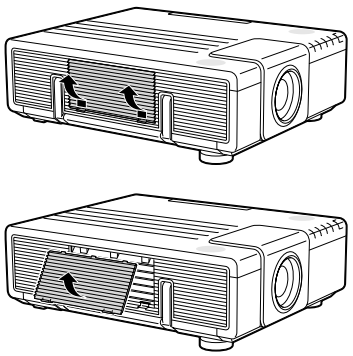
1 本体またはリモコンのSTANDBYを押し、プロジェクターを待機状態にする

- 冷却ファンが止まってから電源コードをAC電源ソケットから外します。

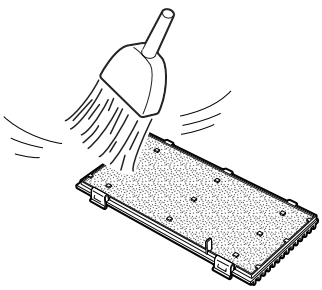


2 フィルターカバーを取り外す

- ツメを押しながらフィルターカバーを図のように、取り外します。



3 小さいハケなどでダストフィルターのホコリを清掃する

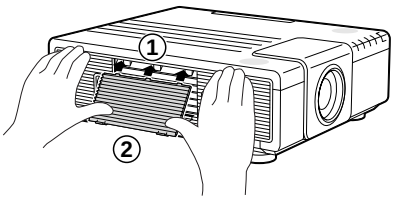


つづく

ダストフィルターのお手入れと交換について(つづき)

4 フィルターカバーを取り付ける

- 図のようにフィルターカバーを入れ、「カチッ」と音がするまで両側のツメを押し込みます。



メモ

- フィルターカバーがしっかり取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けられていないと、電源が入りません。

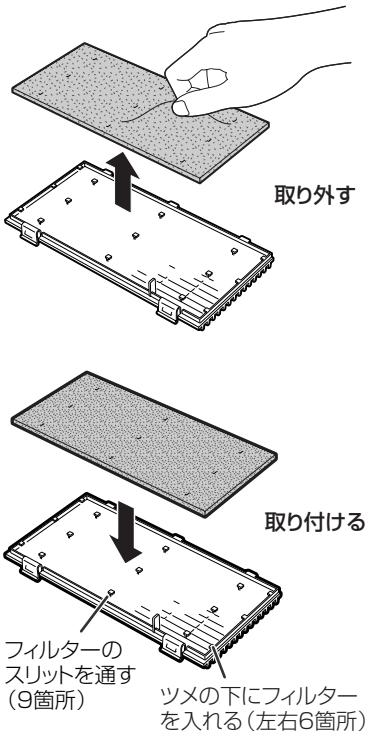
ダストフィルターを交換する

お知らせ

- ダストフィルターを清掃してもきれいにならないときは、お買いあげの販売店で新しいダストフィルター「9NK3243101400」をご購入ください。

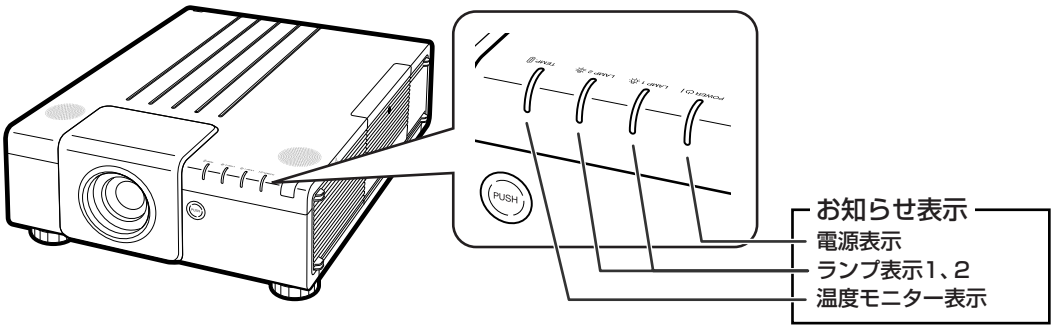
フィルターカバーを取り外し(「ダストフィルターのお手入れ」の手順2を参照)、ダストフィルターを交換する

- 指でダストフィルターをつまみ、フィルターカバーから取り外します。
- 取り付けるときは、ダストフィルターを左右のツメの下に入れると同時に、フィルターのスリットを確実に通してください。



お知らせ表示について

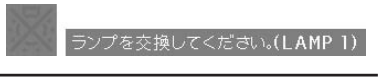
■本機では、内部の異常をお知らせ表示が点灯してお知らせします。
■内部に異常が生じると、その異常の現象によって、温度モニターもしくはランプ表示が赤色に点灯し電源が待機状態になります。以下の処置を行ってください。



温度モニター機能について

設置状況や通風孔の目づまり等により内部温度が高温になると、画面左下に「温度」が表示されます。さらに温度が上昇すると、ランプが消灯し温度モニター表示が点滅、90秒のファン冷却後、待機状態になります。画面左下に「温度」の表示が出た時点で**74**ページの表の内容に従い処置をしてください。

ランプ交換お知らせ機能について



ランプ2の場合は、「ランプを交換してください。(LAMP 2)」のメッセージが表示されます。

■ ランプ残率が5%以下になると、「(黄色)」と「ランプを交換してください。(LAMP 1/2)」が画面に表示されます。
■ ランプ残率が0%になると、「(赤色)」と「ランプを交換してください。」が画面に表示され、自動的にランプ(光源)が消灯し、ランプ表示が赤色点灯します。
ランプを交換せずに電源を入れ直すと、**4回目からは残率が0%になったランプは点灯しなくなります**のでご注意ください。

本体のランプ表示について

電源表示	赤色点灯	スタンバイ中です
	緑色点灯	電源「入」の状態です
	赤色点滅	異常があります(**74**ページ)
	緑色点滅	冷却中です
ランプ表示1、2	緑色点灯	正常
	緑色点滅	光源起動中
	赤色点灯	ランプが正常に起動(点灯)しなかったとき、 ランプの交換時期となったときです(**74**ページ)
温度モニター表示	消灯	正常
	赤色点灯	内部温度が上昇しています(**74**ページ)

つづく

お知らせ表示について(つづき)

お知らせ表示			現　象	考えられる原因	処置のしかた
	正　常	異　常			
温度モニター表示	消　灯	赤色点灯 待機状態	内部温度が高温になっている	●通風孔がふさがれている	●正しい設置場所に設置してください。(**15**ページ)
				●冷却ファンの故障 ●内部回路の故障 ●内部通風孔の目づまり ●ダストフィルターの目づまり	●販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口(**84**ページ)に修理を依頼してください。 ●排気孔やダストフィルターのお手入れをしてください。(**71**ページ)
ランプ表示 1、2	緑色点灯 (緑色点滅は光源起動中)	赤色点灯	ランプが正常に起動(点灯)しない	――	●電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んで電源を入れてください。
			ランプ交換時期	●ランプ残率が5%以下になった	●ランプを交換してください。(**76**ページ) ●ランプの交換または修理は販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口(**84**ページ)にお問い合わせください。 ●ランプを交換するときは、注意して行ってください。
		赤色点灯 待機状態	ランプ(光源)が点灯しない	●ランプ(光源)が切れた ●ランプ(光源)点灯回路故障	
電源表示	赤／緑色点灯	赤色点滅	プロジェクターの電源を入れると、電源表示が赤色点滅する	●フィルターカバーが外れている(確実に取り付けられていない) ●レンズカバーが外れている	●フィルターカバーまたはレンズカバーをしっかりと取り付けてください。 ●フィルターカバーまたはレンズカバーをしっかり取り付けても電源表示が点滅する場合は、もよりのシャープお客様ご相談窓口(**84**ページ)にお問い合わせください。

お知らせ

- 温度モニター表示が点滅し、電源が待機状態になったときは、温度モニター表示が点灯します。排気孔や吸気孔がふさがれていないことを確認(**15**ページ)し、再度電源を入れてください。再度電源を入れる場合は、内部温度が十分に下がるまで(10分以上)待ち、電源プラグをいったんコンセントから抜いて電源を入れ直してください。
- プロジェクターを使用しているときに、停電などで一瞬電源が切れた直後に電源が復旧した場合、ランプ表示が赤色点灯し、ランプが点灯しなくなることがあります。このときは、電源プラグをいったんコンセントから抜いて、再度電源を入れ直してください。
- 冷却ファンは内部温度を一定にしますが、その機能は自動制御されています。冷却ファンの音がプロジェクターの操作中に変化することがありますが、ファンの速さを変えているためで、故障ではありません。

ランプを交換する

ランプについて

■ 光源として使われているランプは消耗品です。「ランプ時間（残率）」のランプ残率が5%以下になったときは、早めに新しいランプユニット（別売）と交換してください。5%以上のランプ残率でも、使用中にランプが切れることがありますので、映像が暗くなったり、色あいが悪くなってきた場合は早めに新しいランプユニットと交換してください。ランプ残率（パーセント表示）は、画面表示で確認できます。（69ページ参照）

■ ランプの保証期間は、6ヵ月1,000時間以内（エコモード入：ランプ残率約66% / エコモード切：ランプ残率約50%）です。6ヵ月以内でも1,000時間を超えたり、1,000時間以内でも6ヵ月を過ぎたときは、保証の対象となりませんのでご注意ください。

■ 別売のランプユニット（形名：AN-P610LP）は、お買いあげの販売店でご購入ください。

⚠警告

- ランプの強い光は視力障害などの原因となります。プロジェクターが動作しているときは、プロジェクターのレンズや強い光が出ているすき間をのぞきこまないでください。

ランプ使用上のご注意

■ プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。当ランプは衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。
また、当ランプは、個体差や使用条件によって破裂や不点灯にいたるまでの時間に大きな差があります。

■ 「ランプ表示」が点灯した場合は、ランプが正常に点灯している状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。

■ 当ランプが破裂したときは、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性がありますので、サービスマンまたは販売店にランプの交換と内部の点検を依頼してください。

⚠警告

- 当ランプが破裂したとき、ランプハウスにガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスがプロジェクターの排気孔から出たりすることがあります。当ランプ内部のガスには水銀が含まれていますので破裂した場合は十分な換気をしてください。万一吸い込んだり、目に入ったり口に入った場合には、すみやかに医師にご相談ください。

ランプ交換時のご注意

⚠警告

- ランプユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプが高温になっていることがあり、やけどの原因となります。
- ランプユニットを取り外すときは、電源コードを抜いて少なくとも1時間以上放置し、ランプユニットの表面が完全に冷めたことを確認してから行ってください。

ランプ交換は、次ページで説明している操作手順に従い注意して行ってください。
*なおランプ交換は、お客様のご希望によりお近くの販売店で行うことも可能です。

* 新しいランプユニットに交換後、ランプが点灯しない場合には、お近くの販売店にご連絡ください。

つづく

ランプを交換する(つづき)

ランプ交換のしかた

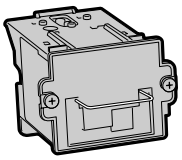
警告

- ランプユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプおよびその周辺が高温になっていることがあり、やけどの原因となります。

お知らせ

- 取っ手をつかんで、ランプユニットを取り外してください。ランプユニットのガラス表面やプロジェクター本体の内部には触れないでください。
- けがやランプの破損を防ぐため、手順にそって作業を行ってください。
- ランプユニットカバーとランプユニットの指定されたネジ以外は絶対に外さないでください。

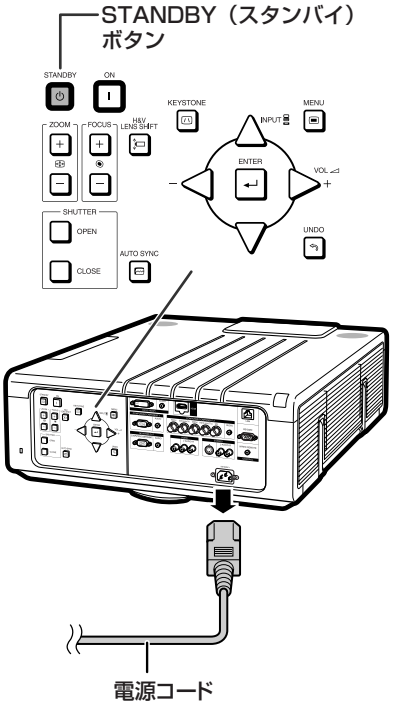
別売品



ランプユニット
形名
AN-P610LP

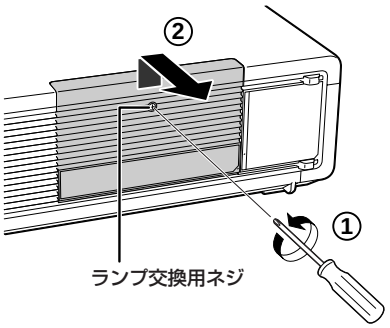
1 本体またはリモコンのSTANDBYを押し、プロジェクターを待機状態にする

- 冷却ファンが止まってから電源コードをAC電源ソケットから外します。
- 電源コードをAC電源ソケットから外します。
- 電源コードを取り外した後も、冷却ファンが回転する場合があります。
- ランプユニットが十分冷えるまで(約1時間)放置します。



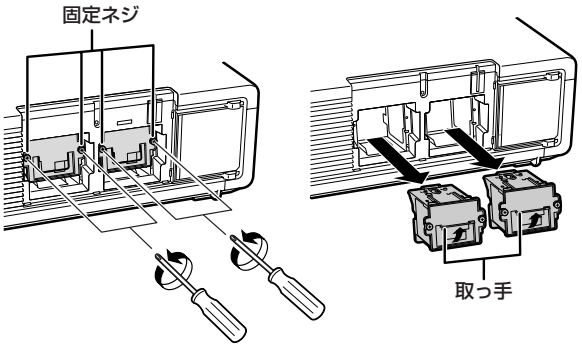
2 ランプユニットカバーを取り外す

- ランプユニットカバーを固定しているランプ交換用ネジをゆるめます(①)。矢印の方向にスライドさせてランプユニットカバーを取り外します(②)。



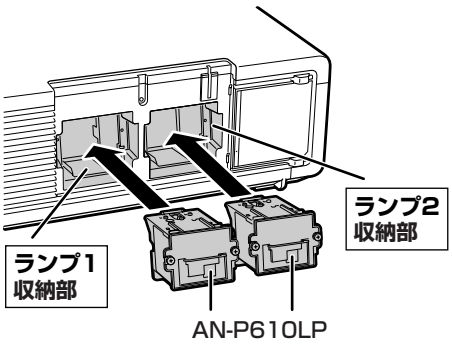
3 ランプユニットを取り外す

- ランプユニットの固定ネジ（それぞれ2ヶ所）をゆるめ、取っ手をつかんでランプユニットを水平に保ちながら傾けないようにして矢印の方向に引き出します。



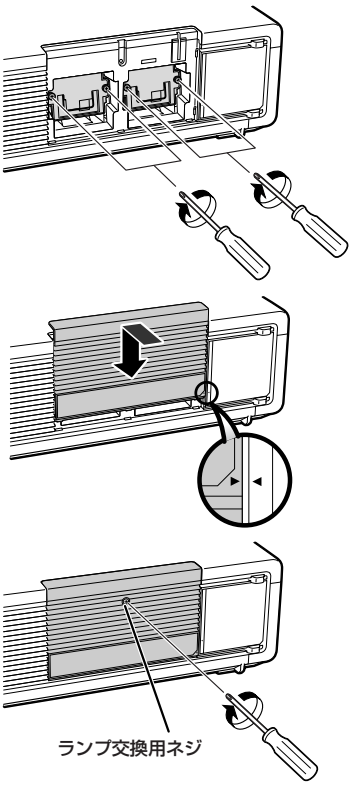
4 新しいランプユニットを挿入する

- ランプユニットをしっかりとランプユニット収納部に押し込みます。取っ手を戻し、固定ネジをしめます。



5 ランプユニットカバーを取り付ける

- ランプユニットカバーの“▶”マークと本体の“◀”マークを合わせてからスライドさせランプユニットカバーを取り付けます。ランプ交換用ネジを閉め、ランプユニットカバーを固定します。



お知らせ

- 電源コードが接続されていてもランプユニットとランプユニットカバーが正しく取り付けられていないと、電源が入りません。

つづく

ランプを交換する(つづき)

ランプ使用時間をリセットする

ランプ交換を行ったときは、ランプ使用時間をリセットしてください。

お知らせ

- ランプ使用時間のリセットは、ランプ交換時以外は行わないでください。ランプ使用時間をリセットして、規定以上ランプを使用すると破裂や故障の原因になります。

1 電源コードをプロジェクターに接続する

- 電源コードをプロジェクターのＡＣ電源ソケットに接続します。

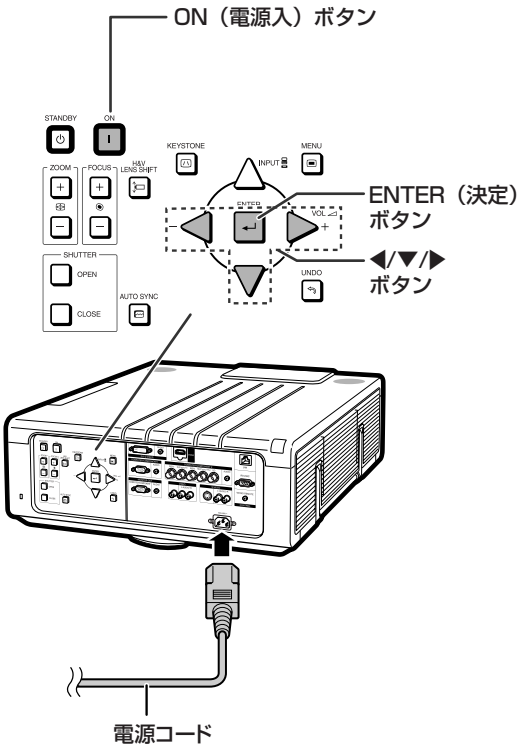
2 ランプ使用時間をリセットする

ランプ1

- リセットするときは、本体の◀、▼、**ENTER**を同時に押しながら、**ON**を押します。
- ランプ使用時間がリセットされ、「ランプ1 0000H」が表示されます。

ランプ2

- リセットするときは、本体の▶、▼、**ENTER**を同時に押しながら、**ON**を押します。
- ランプ使用時間がリセットされ、「ランプ2 0000H」が表示されます。



入力信号(推奨信号)一覧表

下表は本機が対応している信号モード一覧です。映像が乱れる、映らない等の問題がある場合は、下表を参考にコンピュータなどの出力信号を調整してください。

コンピュータ

- 幅広い信号に対応
  水平周波数：15kHz～126kHz
  垂直周波数：43Hz～200Hz
  ドットクロック：12MHz～230MHz
  同期信号：TTLレベルに対応。
- シンクオングリーン信号に対応。

下表はVESA準拠モード一覧です。ただし本機はVESA規格以外の信号にも対応しています。

PC/MAC/WS	解像度		水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	VESA規格	DVIサポート信号	HDMIサポート信号	ディスプレイ
PC	VGA	640×350	27.0	60				拡大表示
			31.5	70				
			37.9	85	✓			
		720×350	27.0	60				
			31.5	70				
		640×400	27.0	60				
			31.5	70		✓	✓	
			37.9	85	✓	✓	✓	
		720×400	27.0	60				
			31.5	70		✓	✓	
			37.9	85	✓	✓	✓	
		640×480	26.2	50		✓	✓	
			31.5	60	✓	✓	✓	
			34.7	70		✓	✓	
			37.9	72	✓	✓	✓	
			37.5	75	✓	✓	✓	
			43.3	85	✓	✓	✓	
			48.0	90				
			53.0	100				
			63.6	120				
			79.5	150				
			81.3	160				
			100.4	200				
	SVGA	800×600	31.3	50		✓	✓	
			35.2	56	✓	✓	✓	
			37.9	60	✓	✓	✓	
			46.6	70		✓	✓	
			48.1	72	✓	✓	✓	
			46.9	75	✓	✓	✓	
			53.7	85	✓	✓	✓	
			57.0	90				
			64.5	101				
			76.2	120				
			95.6	150				
			101.9	160				
			127.4	200				
	XGA	1024×768	35.5	43		✓	✓	
			40.3	50		✓	✓	
			48.4	60	✓	✓	✓	
			56.5	70	✓	✓	✓	
			58.1	72		✓	✓	
			60.0	75	✓	✓	✓	
			68.7	85	✓	✓	✓	
			72.9	90				
			77.0	95				
			80.8	100				
			96.8	120				
			113.3	140				

PC/MAC/WS	解像度		水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	VESA規格	DVIサポート信号	HDMIサポート信号	ディスプレイ
PC	WXGA	1280×720	45.0	60		✓	✓	リアル表示
		1280×768	47.8	60	✓	✓	✓	
		1280×800	49.7	60	✓	✓	✓	
		1280×800	62.8	75	✓	✓	✓	
		1360×768	47.7	60	✓	✓	✓	
		1366×768	47.8	60		✓	✓	高品位圧縮表示
	SXGA	1152×864	55.0	60		✓	✓	
			66.2	70				
			64.9	72				
			67.5	75	✓	✓	✓	
			76.6	80				
			77.1	85				
			90.2	100				
		1152×882	54.5	60				
			65.9	72				
			67.4	74				
		1280×1024	64.0	60	✓	✓	✓	
			74.6	70				
			78.9	74				
			80.0	75	✓			
			91.1	85	✓			
			107.2	100				
	SXGA+	1400×1050	64.0	60		✓	✓	
			65.3	60	✓	✓	✓	
	UXGA	1600×1200	75.0	60	✓			
			81.3	65	✓			圧縮表示
			87.5	70	✓			
			90.0	72				
			93.8	75	✓			
			106.3	85	✓			
MAC 13"	VGA	640×480	35.0	67				拡大表示
MAC 16"	SVGA	832×624	49.7	75				
MAC 19"	XGA	1024×768	60.2	75				
MAC 21"	SXGA	1152×870	68.7	75				高品位圧縮表示
HP (WS)	SXGA	1280×1024	78.1	72				
PC (WS)		1280×960	60.0	60	✓			
WS			85.9	85				
SUN (WS)		1152×900	61.8	66				
			71.7	76				

つづく

入力信号(推奨信号)一覧表(つづき)

メモ

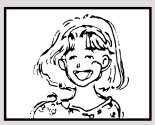
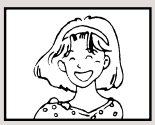
- ノート型コンピュータによっては、同時(CRT/LCD)モードで映像を表示できない場合があります。この場合は、ノート型コンピュータの画面表示をオフにし、表示データを「CRTのみ」モードで出力するようにしてください。表示モードの切り換えかたについての詳しくは、お使いのノート型コンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- 本機は640×350 VESA 形式のVGA信号を入力した場合、スクリーン上では"640×400"と表示されます。
- RGB形式のインターレース映像信号を本機のCOMPUTER1または2に入力して投映するとき、「入力信号タイプ」を「自動」または「RGB」に設定していると、映像信号によってはお客様が意図した映像にならない場合があります。そのような場合は、S映像入力、ビデオ入力をご使用ください。
- コンピュータの「画面解像度」とプロジェクターで表示される入力解像度が違っているときは:
  - プロジェクターの「同期調整メニュー」の「解像度」(57ページ)でコンピュータの「画面解像度」と同じ解像度を選んでください。
  - お使いのコンピュータの仕様によっては「画面解像度」と同じ信号が出力されない場合があります。その場合は、コンピュータの出力設定をご確認ください。出力設定が変更できない場合は、「入力信号(推奨信号)一覧表」(79ページ)の「ディスプレイ欄」の「リアル表示」に対応する解像度に変更することをおすすめします。

DTV

入力信号(有効走査線数)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	DVI/HDMIサポート信号 (HDCP対応)
480I	15.7	60	✓
480P	31.5	60	✓
576I	15.6	50	✓
576P	31.3	50	✓
720P	45.0	60	✓
	37.5	50	✓
1035I	33.8	60	✓
1080I	33.8	60	✓
	28.1	50	✓
1080P*	67.5	60	✓
	56.3	50	✓

*本機は1080P信号を入力した場合、圧縮処理されてスクリーン上に表示されます。

故障かな？と思ったら

こんなとき	ここをお調べください	ページ
 映像も音声も出ない、またはプロジェクターが始動しない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	32
	●接続した外部機器の電源が「切」の状態になっていませんか。	-
	●表示させる画面の選択（入力モード）がまちがっていませんか。	40
	●プロジェクター後面の配線は、正しく接続されていますか。	28～31
	●リモコンの乾電池が消耗していませんか。	20
	●ノート型コンピュータを接続しているとき、外部出力状態に設定されていますか。 ●DVIデジタル機器を接続し、電源を入れた後にプロジェクター側で「DVI」入力を選択すると、映像が出ない場合や正しく映像が投映されない場合があります。接続した機器は、必ずプロジェクターで入力選択し、入力信号タイプを設定した後に電源を入れてください。	28
	●レンズカバーは正しく取り付けられていますか。	86
	●フィルターカバーは正しく取り付けられていますか。	72
	●ランプユニットカバーは正しく取り付けられていますか。	77
 音声は出るが映像が出ない	●プロジェクター後面の配線は、正しく接続されていますか。	28～31
	●映像調整の「明るさ」が「−(マイナス)」側いっぱいになっていませんか。	53
	●シャッターが閉じていませんか。	45
 色がうすい、色あいが悪い	●映像調整は、正しく調整されていますか。	53
	〈COMPUTER1/2、DVI、HDMI入力のとき〉 ●入力信号タイプのRGB/色差（コンポーネント）が正しく設定されていますか。 〈VIDEO、S-VIDEOのとき〉 ●ビデオの映像信号方式は正しく設定されていますか。	55 61
 映像がボヤける ノイズが発生する	●レンズのフォーカス（ピント）は合っていますか。	35
	●投映距離が、フォーカスの合う範囲を超えていませんか。 別売レンズを取り付けているときは、別売レンズの取扱説明書をご覧ください。	25、26
	●レンズが結露していませんか。寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり、急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。ご使用になる1時間くらい前に使用する部屋に設置するようにします。結露してしまったときは、電源コードをコンセントから抜いてしばらくそのまま放置してください。	-
	〈コンピュータ入力のとき〉 ●同期調整(クロック調整)を行ってください。 ●同期調整(水平位相調整)を行ってください。 ●ノート型コンピュータの画面表示をオフにしてください。 ●コンピュータによってはノイズが発生することがあります。	 57 57 80 -
	●デジタルノイズリダクション（DNR）の設定は適切ですか?	54
 映像は出るが音声が出ない	●プロジェクター後面の配線は、正しく接続されていますか。	28～31
	●音量が最小になっていませんか。	40
	●ミュートの機能が働いていませんか。	41
	●メニューの音声調整項目のスピーカーが「切」になっていませんか。	59
キャビネットから時々「ピシッ」と音がする	●画面に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットが、わずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	-

つづく

故障かな？と思ったら(つづき)

こんなとき	ここをお調べください	ページ
お知らせ表示が点灯する	●「お知らせ表示について」をご覧ください。	73
本体ボタンで電源を入／待機状態にできない	●キーロックが設定されていませんか。 レベルAまたはBに設定されている場合、すべてのボタンまたは特定のボタンが働きません。リモコンで操作してください。	67
プロジェクター本体とリモコンのボタンがすべて使えない	●スタック設定でスレーブに設定し、さらにキーロックレベルをBに設定した場合、プロジェクター本体とリモコンのすべてのボタンは働きません。 リモコンをワイヤード接続して操作してください。	21、66、67
COMPUTER1/2色差（コンポーネント）モードで画面が緑がかる	●入力信号タイプが正しく設定されていますか。	55
COMPUTER1/2、DVIのRGBモードで画面がピンクがかる		
DVIデジタルまたはHDMIに接続しているとき、映像の黒部がつぶれたり、黒部が浮き上がったりする	●ダイナミックレンジ設定で映像が最良になるよう設定してください。	55
映像が明るすぎて白っぽくなる	●映像調整は、正しく調整されていますか。	53
ファンの音が大きくなる	●内部温度が上昇し、冷却するためファンの回転が早くなるためです。	15、67
電源を入れてもランプが点灯しない	●ランプ表示が赤色点灯していませんか。 赤色点灯しているときは、ランプを交換してください。	73 76
使用中に突然ランプが消灯した		
映像が時々ちらつくことがある	●接続状態や接続機器に問題はありませんか。 ●頻繁に起こるときは、ランプが故障している場合があります。ランプを交換してください。	28～31 76
電源を入れるとき、ランプが点灯するまで時間がかかる	●ランプは消耗品です。 寿命が近づくと点灯しにくくなることや映像が暗くなることがあります。 ランプを交換してください。	76
映像が暗い		
リモコンで操作できない	●リモコンの発信部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作していますか。リモコン受光部に向かって操作してください。 ●プロジェクターから離れすぎていませんか。 ●リモコンの受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか。 強い光などがリモコン受光部にあたる場所を避けて設置してください。 ●WIRED REMOTE端子にφ3.5mmミニジャックケーブルが接続されていませんか。	20 21
	●リモコンの乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか。新しい乾電池を正しい向きでセットしてください。	20

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの妨害ノイズや誤った操作により、正常に動作しない事があります。
正常に動作しないときは、一度、電源プラグをコンセントから抜き、約5分おいてから再びコンセントに差し込んで電源を入れ直してください。

アフターサービスについて

保証書（別添）

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

- **保証期間**
  - 光源(ランプ)以外の部品代および修理工料は、お買いあげの日から1年間は無料です。
  - 光源(ランプ)およびその修理工料は、お買いあげの日から6ヵ月は無料です。
    （6ヵ月以内でも使用時間が1,000時間を超えているときは、保証の対象となりません。）

使い方や修理のご相談など

- 修理･使い方･お手入れ･お買い物などのご相談･ご依頼､及び万一､製品による事故が発生した場合は､**お買いあげの販売店**､または**シャープお客様ご相談窓口(84ページ)**にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、プロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは　出張修理

- 「故障かな？と思ったら」（**81**ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	：データプロジェクター
形　　名	：XG-P560W（標準ズームレンズ付き） XG-P560W-N（レンズ別売）
お買いあげ日	：(年月日)
故障の状況	：(できるだけ具体的に)
ご　住　所	：(付近の目印も合わせてお知らせください。)
お　名　前	：
電話番号	：
ご訪問希望日	：

保証期間中
修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

便利メモ お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販　売　店　名
年　月　日	電話（　）　—

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

お願い

ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

愛情点検

長年ご使用のプロジェクターの点検を！
こんな症状はありませんか？
●電源コードやプラグが異常に熱い。●電源を入れても映像や音が出ない、また出るまでに時間がかかる。●画面が映ったり、消えたりする。●映像が乱れたり、色がきれいに出ない。●その他の異常や故障がある。

このような症状のときは本体の電源を切り、プラグをコンセントから抜き、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使い方・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。
電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
FAX送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

■よくあるご質問などはパソコンから検索できます。 ▶▶▶ パソコン シャープ　お問い合わせ 検索

http://www.sharp.co.jp/support/

使用方法・お買い物相談など

【お客様相談センター】

0120 - 078 - 178
携帯PHS OK
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

受付時間
●月曜～土曜: 9:00～18:00
●日曜・祝日: 9:00～17:00
（年末年始を除く）

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

東日本相談室	〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
電話：043 - 351 - 1821	FAX：043 - 299 - 8280
西日本相談室	〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3-1-72
電話：06 - 6792 - 1582	FAX：06 - 6792 - 5993

修理のご相談など

※「持込修理」「部品購入」「修理品引き取りサービス」をご希望の方は、枠外の補足をご覧ください。

【修理相談センター】（沖縄・奄美地区を除く）

0570 - 02 - 4649
携帯OK
全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
携帯電話からもご利用いただけます。

受付時間
●月曜～土曜: 9:00～20:00
●日曜・祝日: 9:00～18:00
（年末年始を除く）

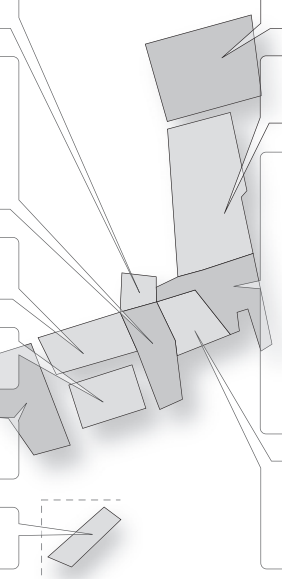
■〈PHS・IP電話やファクシミリをご利用〉または〈沖縄・奄美地区の方〉は…

	PHS／IP電話	ファックス
東日本地区	043 - 299 - 3863	043 - 299 - 3865
西日本地区	06 - 6792 - 5511	06 - 6792 - 3221
沖縄・奄美地区	「那覇サービスセンター」098 - 861 - 0866（月～金 9:00～17:30）	

補足　持込修理および部品購入のご相談は、下記地区別窓口でも承っております。

地区別窓口

■受付時間　＊月曜～土曜:9:00～17:40（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄・奄美地区〕は……＊月曜～金曜:9:00～17:40（祝日など弊社休日を除く）



北陸地区
● 金　沢サービスセンター：076 - 249 - 2434
〒921-8801　石川郡野々市町御経塚4-103

近畿地区
● 京　都サービスセンター：075 - 672 - 2378
〒601-8102　京都市南区上鳥羽管田町48
● 大　阪テクニカルセンター：06 - 6794 - 5611
〒547-8510　大阪市平野区加美南3-7-19
● 阪　神サービスセンター：06 - 6422 - 0455
〒661-0981　兵庫県尼崎市猪名寺3-2-10

中国地区
● 広　島サービスセンター：082 - 874 - 8149
〒731-0113　広島市安佐南区西原2-13-4

四国地区
● 高　松サービスセンター：087 - 823 - 4901
〒760-0065　高松市朝日町6-2-8

九州地区
● 福　岡サービスセンター：092 - 572 - 4652
〒812-0881 福岡市博多区井相田2-12-1

沖縄・奄美地区
● 那　覇サービスセンター：098 - 861 - 0866
〒900-0002　那覇市曙2-10-1

北海道地区
● 札　幌サービスセンター：011 - 641 - 4685
〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条7-3-17

東北地区
● 仙　台サービスセンター：022 - 288 - 9142
〒984-0002 仙台市若林区卸町東3-1-27

関東地区
● 宇都宮サービスセンター：028 - 637 - 1179
〒320-0833　宇都宮市不動前4-2-41
● さいたまサービスセンター：048 - 666 - 7987
〒331-0812　さいたま市北区宮原町2-107-2
● 東東京サービスセンター：03 - 5692 - 7765
〒114-0013　東京都北区東田端2-13-17
● 多　摩サービスセンター：042 - 586 - 6059
〒191-0003　日野市日野台5-5-4
● 千　葉サービスセンター：047 - 368 - 4766
〒270-2231　松戸市稔台6-6-1
● 横　浜サービスセンター：045 - 753 - 4647
〒235-0036　横浜市磯子区中原1-2-23

東海地区
● 静　岡サービスセンター：054 - 344 - 5781
〒424-0067　静岡市清水鳥坂1170-1
● 名古屋サービスセンター：052 - 332 - 2623
〒454-8721　名古屋市中川区山王3-5-5

●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2008.05）

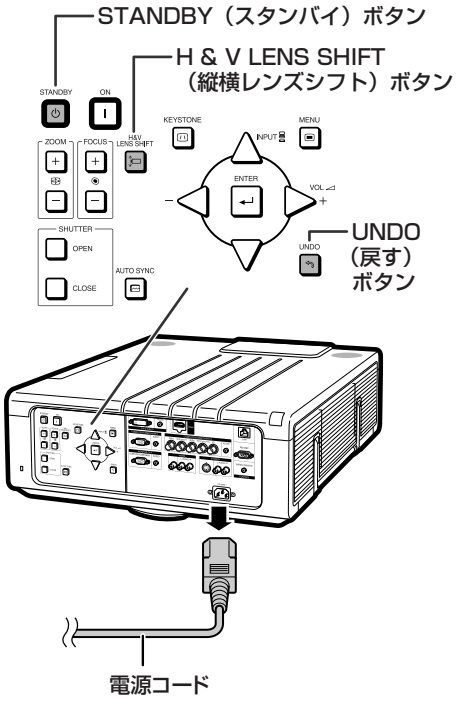
別売レンズの取り付けかた

プロジェクターを天井に設置した状態で、レンズの交換は行わないでください。レンズカバーやレンズが落下し、ケガをすることがあります。

レンズを交換する前にレンズシフトを中央の位置に戻してください。(工場出荷時にレンズシフトは中央の位置に調整されています。)
レンズシフトを中央に戻すときは、**H&V LENS SHFT**を押し、**UNDO**を押します。
- レンズシフトリセット画面が表示されますので、「はい」を選び、戻します。

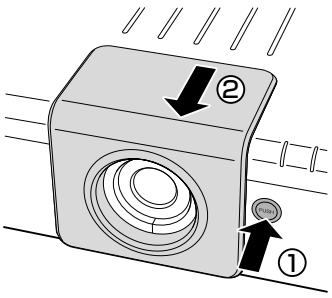
1 本体またはリモコンのSTANDBYを押し、プロジェクターを待機状態にする

- 冷却ファンが止まってから電源コードをAC電源ソケットから外します。

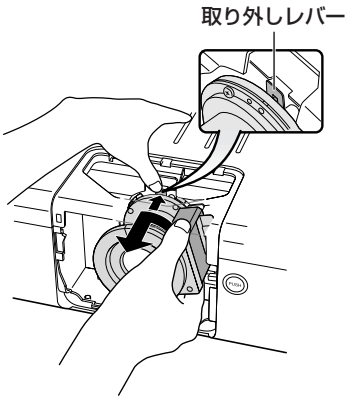


2 レンズカバーを取り外す

- レンズカバー取り外しボタンを押す(①)。レンズカバーを前方へスライドさせます(②)。



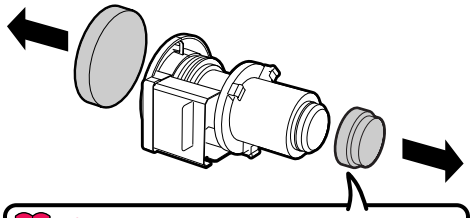
3 レンズ取り外しレバーを押しながら、レンズを矢印の方向に回転させ、レンズを前方に引き出す



つづく

別売レンズの取り付けかた(つづき)

4 交換レンズのレンズキャップを取り外す

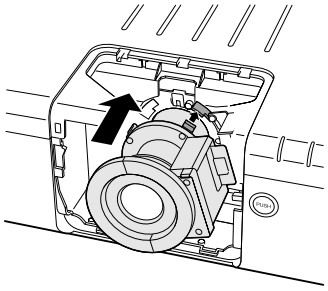


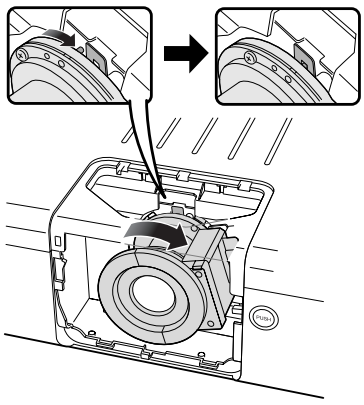
お知らせ

このキャップを取り外さずに本機へ取り付けようとしたときは、オプションレンズ取り付け部を傷つけたり、破損する場合があります。

5 交換レンズのフック部分をレンズマウントの切り欠き部分に合わせて挿入し、矢印の方向に回転させる

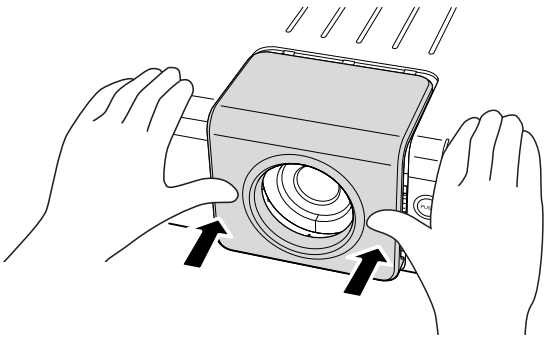
- 「カチッ」と音がした事、レンズ取り外しレバーでロックされた事を確認します。





6 レンズカバーをスライドさせて取り付ける

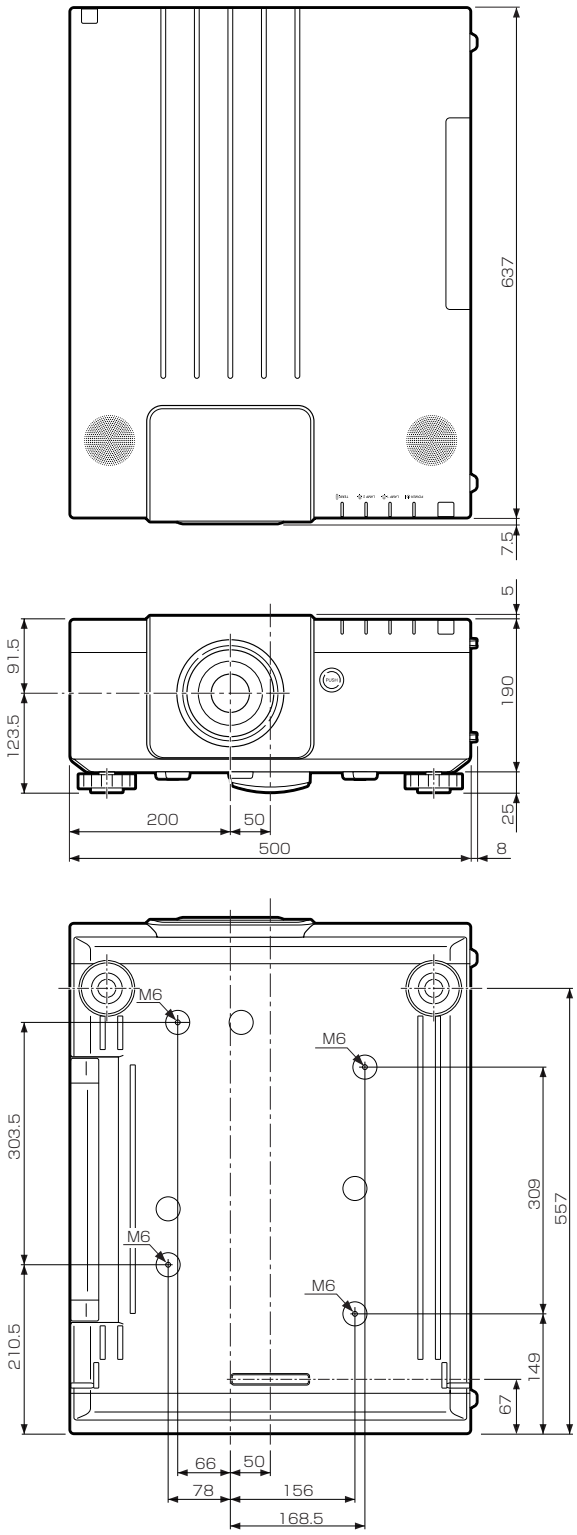
- レンズカバーをしっかり取り付けないと、プロジェクターの電源が入りません。



7 レンズを交換(装着)したときは、正しいレンズタイプを設定する(66ページ)

寸法図

単位 : mm

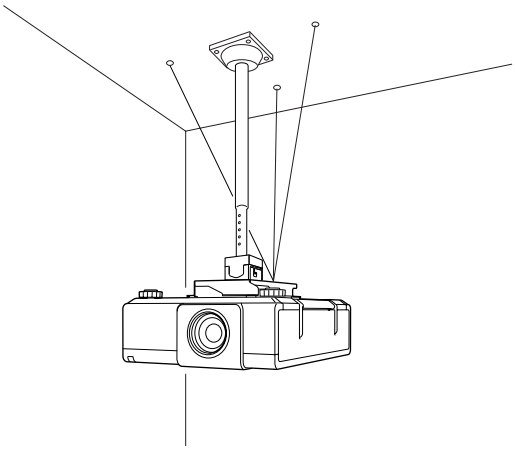

637
7.5
5
91.5
123.5
190
25
200
50
500
8
M6
M6
M6
M6
303.5
210.5
309
557
149
67
66
50
78
156
168.5

つづく

寸法図(つづき)

天吊り

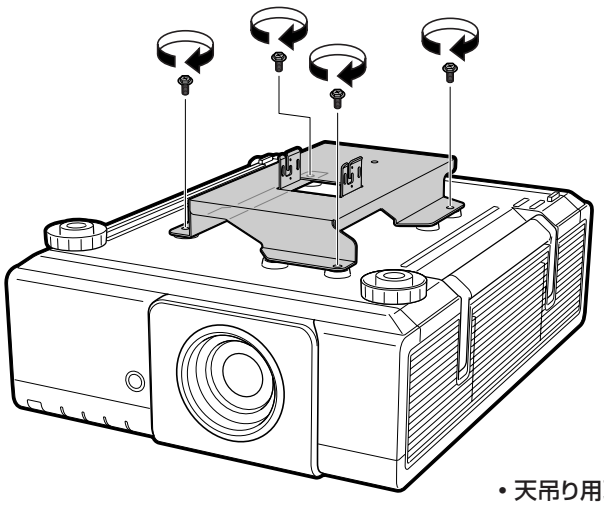
プロジェクターを天井に設置するときは、26ページの画面下端からレンズセンターまでの距離に合わせて設置位置を決めてください。



AN-TK201をご使用の際は、上図のようにワイヤー等でゆれ防止されることをおすすめします。

天吊り用取付アダプター(別売品)の取り付けかた

天吊り用取付アダプター
(AN-P610T)



・天吊り用取付アダプターに付属のボルト(M6)を使用してください。

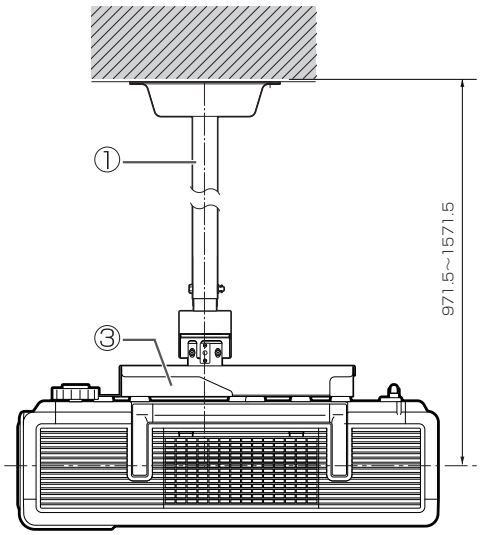
お願い

- 取付け工事は、販売店または工事店にご依頼ください。取付け強度不足による落下などにつきましては、当社は一切の責任を負いません。
- ねじ類の締め付けの際は、トルクドライバーやトルクレンチなどを使用し、電動ドライバーやインパクトドライバーなどは使用しないでください。(詳しくは、天吊り用取付アダプター「AN-P610T」の設置調整説明書をご覧ください。)

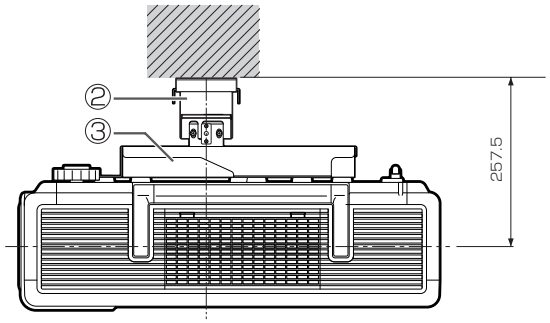
単位：mm

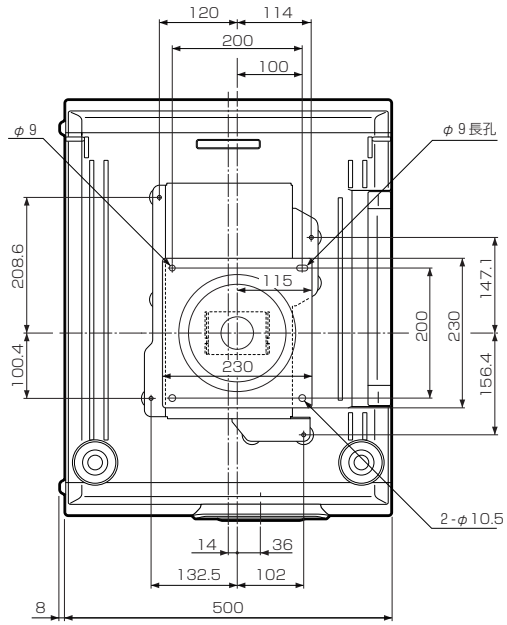
	品名	形名
①	高天井用取付ユニット	AN-TK201
②	低天井用取付ユニット	AN-TK202
③	天吊り用取付アダプター	AN-P610T

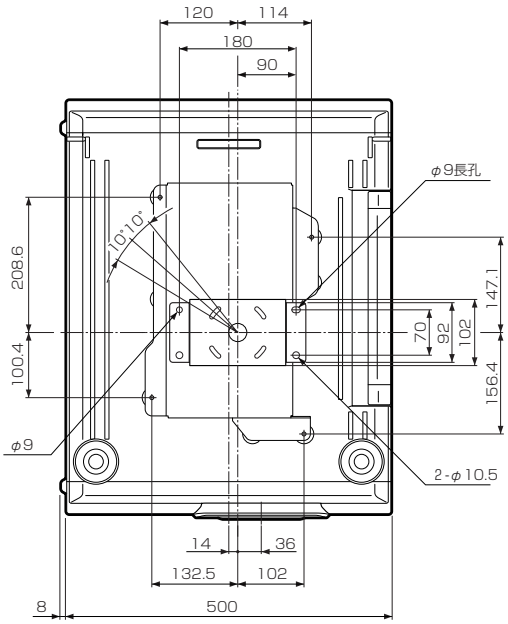
AN-TK201取付時



AN-TK202取付時







仕様

形名		XG-P560W (標準ズームレンズ付き) / XG-P560W-N (レンズ別売)
表示デバイス		0.65型 DLP®チップ ×3
解像度		WXGA（1280×800）
レンズ (標準ズームレンズ)	F 値	F 2.5
	ズーム	電動、1.25倍（f=25.5～32.0 mm）
	フォーカス	電動
レンズシフト		電動（上下 66% / 左右 35%）
入力端子	HDMI	1系統
	DVI-D（HDCP対応）	1系統
	コンピュータ / コンポーネント (5BNC)	1系統
	コンピュータ/コンポーネント（ミニD-sub15ピン）	1系統
	S映像（ミニDIN4ピン）	1系統
	映像（RCA）	1系統
	音声（φ3.5 mmステレオミニジャック）	3系統
	音声（RCA）	2系統（左/右）
出力端子	コンピュータ/コンポーネント（ミニD-sub15ピン）	1系統
	音声（φ3.5 mmステレオミニジャック）	1系統（可変音声出力）
制御、 その他	LAN端子（RJ-45）	1系統
	RS-232C端子(ミニ DIN9 ピン)	1系統
	ワイヤードリモート端子 (φ3.5mm ステレオミニジャック)	1系統
内蔵スピーカー		3 W + 3 W（ステレオ）
ランプ		280 W × 2 灯
定格電圧		AC 100～240 V
定格周波数		50/60 Hz
入力電流		7.7 A
消費電力（待機時消費電力）（AC 100 V時）		755 W（16.7 W）
使用温度範囲		5℃～40℃
キャビネット		プラスチック
外形寸法（突起部除く）幅×奥行×高さ（mm）		500 × 637 × 190
質量		XG-P560W : 約 26.5 kg XG-P560W-N : 約 25.0 kg

お願い

- **DLP®チップは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素がいくらかある場合があります。また、見る角度によって色むらや明るさむらが見える場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。**
- **ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。**

索引

記号英数

4点補正 ..... 36、37
AC電源ソケット 32
ADJ./MOUSE（調整 / マウス）切換スイッチ 21
AUTO SYNC（自動同期調整）ボタン 58
BREAK TIMER(休憩時間)ボタン 45
C.M.S.(カラーマネージメント)(メインメニュー) 56
COMPUTER1/2 ボタン 40
COMPUTER/COMPONENT1/2 端子 28
DHCP クライアント 68
DNR 54
DVI-D端子 28
DVI ボタン 40
D シフト(デジタルシフト) 61
ENTER（決定）ボタン 51
FOCUS（フォーカス）ボタン 35
FREEZE（静止画）ボタン 42
H & V LENS SHIFT（縦横レンズシフト）ボタン 34
H & V キーストーン ..... 36、38
HDMI 端子 28
HDMI ボタン 40
INPUT（入力切換）ボタン 40
IPアドレス 69
KEYSTONE（キーストーン補正）ボタン 36
LAN/RS232C 68
LAN端子 31
L-CLICK（左クリック）ボタン 22
MAGNIFY（拡大／縮小）ボタン 41
MENU（メニュー）ボタン 51
MONITOR OUT 端子 30
MUTE（ミュート）ボタン 41
ON（電源入）ボタン 32
P in P（ピクチャーインピクチャー） 60
PICTURE MODE（映像モード）ボタン 42
RESIZE（画面サイズ切換）ボタン 43
R-CLICK（右クリック）ボタン 22
RGBケーブル 28
RS-232C 68
RS-232C端子 31
SHUTTER（OPEN/CLOSE）ボタン 45
sRGB 56
STANDBY（スタンバイ）ボタン 32
S-VIDEO端子 30
S-VIDEOボタン 40
TCP/IP 69
UNDO(戻す)ボタン 51
V-ストレッチ（画面サイズ） 44
VIDEO 端子 30
VIDEO ボタン 40
VOLUME（音量）ボタン 40
WIRED R/C JACK（ワイヤードリモコン端子） 21
WIRED REMOTE（ワイヤードリモコン）端子 21
ZOOM（ズーム）ボタン 35

ア行

アジャスター 34
一覧（メインメニュー） 69
イメージリサイズ ..... 36、38
色温度 54
映像信号方式 61
映像調整（メインメニュー） 53
映像モード 53
エコモード 62
エリアズーム（画面サイズ） 44
オープニング画面設定 62
オプション1（メインメニュー） 60
オプション2（メインメニュー） 65
音声出力 59
音声調整（メインメニュー） 59
温度モニター表示 73

カ行

カーソルボタン 51
解像度 57
画面サイズ ..... 43、60
画像取込み 61
画面表示 61
カラー設定 56
簡単スタック 67
キーストーン補正 36
キーロックレベル 67
キャリングハンドル 18
クロック 57
ゲートウェイ 69
言語選択（メインメニュー） 69
ケンジントンセキュリティースロット 18
高品位圧縮表示 / 拡大表示 79

サ行

サービスモード 69
サブネットマスク 69
システムロック 62
自動同期調整 58
自動入力サーチ 62
自動復帰モード 67
垂直位置 57
水平位相 57
水平位置 57
ズーム（画面サイズ） 44
スクイーズ（画面サイズ） 43
スタック設定 66
スピーカー 59
設定値初期化 69

タ行

通風孔 70
デジタルシフト 61
電源コード 32
電源表示 73
投映方式 66
同期調整（メインメニュー） 57
ドットバイドット（画面サイズ） 43

ナ行

入力信号確認 58
入力信号タイプ 55
入力設定 67
ネットワーク 68

ハ行

パスワード 65
標準（画面サイズ） 43
ファンモード 67
フィルターカバー 72
フル（画面サイズ） 43
プログレッシブ 54
防塵キャップ 17

マ行

マウスボタン 22
無信号時画面 62
無信号電源オフ 62
メモリー選択 57
メモリー保存 57
モニター出力 68

ラ行

ランプ 75
ランプ交換 76
ランプ時間（残率） 69
ランプ表示1、2 73
ランプモード 66
ランプユニットカバー 76
リモートレシーバ 22
リモコン 19
リモコン受信部 20
レンズカバー 85
レンズシフト 33
レンズタイプ 66
レンズ用キャップ 17

ワ行

ワイド（画面サイズ） 44

■よくあるご質問などはパソコンから検索できます。 ▶▶▶ パソコン

シャープ　お問い合わせ　検索

http://www.sharp.co.jp/support/

使用方法・お買い物相談など

【お客様相談センター】

0120 - 078 - 178

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

	電　話	ファックス
東日本相談室→	043 - 351 - 1821	043 - 299 - 8280
西日本相談室→	06 - 6792 - 1582	06 - 6792 - 5993

受付時間　●月曜～土曜:9:00～18:00　●日曜・祝日:9:00～17:00　（年末年始を除く）

修理のご相談など

【修理相談センター】(沖縄・奄美地区を除く)

0570 - 02 - 4649

全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
携帯電話からもご利用いただけます。

■〈PHS・IP電話やファクシミリをご利用〉または〈沖縄・奄美地区の方〉は…

	PHS／IP電話	ファックス
東日本地区→	043 - 299 - 3863	043 - 299 - 3865
西日本地区→	06 - 6792 - 5511	06 - 6792 - 3221
沖縄・奄美地区→	「那覇サービスセンター」098 - 861 - 0866(月～金 9:00～17:30)	

受付時間　●月曜～土曜:9:00～20:00　●日曜・祝日:9:00～18:00　（年末年始を除く）

●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2008.5)

シャープ株式会社

本　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地